

第4期横浜市障害者プラン

令和6年度 振り返り

※ 第4期横浜市障害者プラン改定版の第3章(23頁～179頁)を基に作成しています。

<評価欄の説明>

○：想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。

△：一定程度の効果が得られた。

×：想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

もくじ 目次

さまざま せいかつ ばめん ささ 様々な生活の場面を支えるもの

- 1 ふきゅうけいはつ 普及啓発
- 2 じんざいかくほ いくせい 人材確保・育成
- 3 けんりようご 権利擁護
- 4 そうだんしえん 相談支援

せいかつ ばめん す く 生活の場面1 住む・暮らす

- 1-1 す 住まい
 - 1-2 く 暮らし
 - 1-3 いどうしえん 移動支援
 - 1-4 まちづくり
-

せいかつ ばめん 安全・安心
生活の場面2

2-1 健康・医療

2-2 防災・減災

せいかつ ばめん はぐく まな
生活の場面3 育む・学ぶ

3-1 療育

3-2 教育

せいかつ ばめん はたら たの
生活の場面4 働く・楽しむ

4-1 就労

4-2 日中活動

4-3 スポーツ・文化芸術

と り く み 取組

さまざまな生活の場面を支えるもの 1 普及啓発

(1) 互いの存在に気づき、身近に感じる仕組みづくり

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
29	「地域共生社会」 の実現に向けた 取組等の推進	地域のあらゆる方が、「支 え手」と「受け手」に分か れるのではなく、地域、暮 らし、生きがいとともに 作り、高め合うことがで きる「地域共生社会」の 実現に向けた「障害者	○	障害者週間において、新都市プラザや 市庁舎アトリウム等でイベントを実施し、 さまざまな機関と連携しながら、広く 市民に対して障害理解の普及・啓発を 行いました。	引き続き障害者週間におけるイ ベント等を行い、共生社会の 実現に向けた取組を行います。

		<p>しゅうかん とりくみ 週間」などの取組を</p> <p>じっし すいしん 実施・推進していきます。</p>			
29	<p>かくく ふきゅう けい 各区の普及・啓</p> <p>はつかつどう そくしん 発活動の促進</p>	<p>かくく じゅうみん たい 各区の住民に対して、</p> <p>しっぺい しょうがいどう たい 疾病や障害等に対する</p> <p>りかい ふか 理解を深めるための</p> <p>けんしゅう けいはつかつどう しえん 研修や啓発活動の支援</p> <p>おこな を行います。</p>	○	<p>かくく しょうがいりかい もくてき こうほうぶつ 各区で障害理解を目的とした広報物の</p> <p>さくせい どう じっし しょうがいりかい 作成やイベント等を実施し、障害理解の</p> <p>ふきゅう けいはつ じっし 普及・啓発を実施しました。</p>	<p>ひ つづ しょうがいしゃしゅうかん ちゅうしん 引き続き障害者週間を中心</p> <p>けいはつぶびん に、啓発物品やパンフレット、</p> <p>どうが さくせい じっしどう 動画の作成、イベント実施等を</p> <p>おこな かくく ふきゅう けいはつ 行い、各区における普及・啓発</p> <p>かつどう そくしん 活動を促進します。</p>

(2) 障害に対する理解促進

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
30	当事者や障害 福祉関連施設、 市民団体等による 普及・啓発 活動への支援	セーフティーネットプロジェクト横浜(S-net横浜) や障害福祉関連施設、 市民団体等による障害 理解のための研修や 講演、地域活動を支援・ 協働するなど、様々な 普及・啓発を推進します。 ※セーフティーネットプロジェクト横浜は、横浜市内 の15の障害福祉関係	○	セーフティーネットプロジェクト横浜(S-net横浜)等の障害理解に係る普及・啓発活動(コミュニケーションボード等の普及啓発、研修会、地域防災拠点での当事者による講演等)を通じ、障害理解の推進に取り組みました。	セーフティーネットプロジェクト横浜(S-net横浜)と連携し、災害用コミュニケーションボードを活用した研修会や地域防災拠点での当事者による講演等について周知を図ります。地域に障害理解の必要性を身近な課題として捉えてもらえるように取組を推進します。

		<p>だんたい きかん そしき 団体と期間で組織されて</p> <p>とうじしゃかぞく います。当事者家族が</p> <p>しゅたい じぶん 主体となって、自分たち</p> <p>のできることから活動し ていくことを大切にしな がら、地域の人々へ様々</p> <p>しょうがい りかい な障害についての理解</p> <p>ふか しょうがい を深めてもらい、障害の</p> <p>ひと ちいき あんしん ある人が地域で安心して</p> <p>く かつどう 暮らしていけるよう、活動 しています。</p>			
30	<p>しょうがいしゃほんにんおよ 障害者本人及び</p> <p>かぞく ふ 家族による普</p>	<p>しゃかいさんかすいしん 社会参加推進センターが</p> <p>ちゅうしん しょうがいしゃ 中心となり、障害者</p> <p>ほんにん かぞくおよ かくだんたい 本人、家族及び各団体と</p>	○	<p>しゃかいさんかすいしん どう きょうどう 社会参加推進センター等と協働して、リ</p> <p>ーフレットの配布や講座の実施など、</p> <p>ふきゅう けいはつ とりくみ けいぞく じっし 普及・啓発の取組を継続して実施しまし た。</p>	<p>しゃかいさんかすいしん どう きょうどう 社会参加推進センター等と協働</p> <p>して、リーフレットの配布や講座</p>

	<p>きゅう けいはつかつどう 及・啓発活動の</p> <p>すいしん 推進</p>	<p>れんけい きょうどう さまざま ば 連携・協働し、様々な場</p> <p>ばいたい かつよう しょうがい や媒体を活用した障害</p> <p>りかいそくしん む ふきゅう 理解促進に向けた普及・</p> <p>けいはつかつどう すいしん 啓発活動を推進します。</p>			<p>じっし ふきゅう けいはつ とりくみ の実施など、普及・啓発の取組を</p> <p>けいぞく 継続していきます。</p>
31	<p>しっぺい しょうがい かん 疾病や障害に関</p> <p>しょうほう はっしん する情報の発信</p>	<p>ホームページなどの媒体</p> <p>かつよう しっぺい しょうがい を活用して、疾病や障害</p> <p>かん しょうほう しえん かが に関する情報や支援に関</p> <p>かつどう しょうがい しみん わる活動を紹介し、市民</p> <p>とうじしゃ かんけいしゃ りかい や当事者・関係者の理解</p> <p>そくしん つと 促進に努めます。</p>	○	<p>しょうがいふくし こうしん しょうほう 「障害福祉のあんない」を更新し、情報</p> <p>はっしん を発信しました。</p> <p>また、令和4年度にリリースしたアプリの</p> <p>つうちきのう かつよう りようしゃ プッシュ通知機能を活用し、利用者の</p> <p>たちば おう さいしんしょうほう はっしん あ 立場に応じた最新情報の発信も合わせ</p> <p>おこな て行いました。</p> <p>さっしやくせいすう ぶ ・冊子作成数:37,000部</p> <p>るいけい すう けん ・アプリ累計ダウンロード数:15,446件</p> <p>れいわ ねん がつげんざい (令和7年3月現在)</p>	<p>しょうがいふくし およ どう 「障害福祉のあんない」及び同ア</p> <p>ぷりばん しょうほうはっしん ひ つづ プリ版で情報発信を引き続き</p> <p>おこな くわ ばん 行うことに加え、アプリ版にお</p> <p>しせつしょうほうけんさく じゅうじつ ほか ける施設情報検索の充実を図</p> <p>ります。</p> <p>さっしやくせいすう ぶ ・冊子作成数:38,000部</p> <p>るいけい すう ・アプリ累計ダウンロード数:</p> <p>20,000件(令和8年3月時点</p> <p>もくひょう (目標))</p>

(3) 学齢期への重点的な普及・啓発

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
32	がくれいきじどうおよび 学齢期児童及び ほごしゃ 保護者への障害 りか 理解啓発	がくれいきじどう ほごしゃ 学齢期児童と保護者が、 しょうがいじしゃ こうりゆう 障害児・者と交流したり、 しょうがい 障害について理解を深 めたりする機会の確保に つと 努めます。	○	しょうがいしょうがっこう 市内の小学校にて、児童向けにヘルプ マークについての普及講座を実施し、 ふくしきょういく 福祉教育としての取り組みを実施しまし た。・内閣府主催の「心の輪を広げる体験 ざくぶん 作文」「障害者週間のポスター」の周知を しょうがいしょうがっこう 市内小中学校に行い、入賞作品の ひょうしょうしき 表彰式を障害者週間イベントで実施し、 しょうがいりかい 障害理解を広げる機会としました。・区域 の自立支援協議会等の部会で学校と連携 がくれいき し、学齢期を対象とした障害理解啓発を おこな 行いました。	ひきつづ 引き続き、学齢期児童と保護者 が、しょうがい 障害について理解を深める きかい 機会の確保に努めます。

<p>32</p>	<p>副学籍による 交流教育及び 共同学習</p>	<p>特別支援学校に在籍する 児童生徒が、居住地の 小・中学校の児童生徒と 一緒に学ぶ機会の拡大を 図るなど、共同学習を進 めます。</p>	<p>○</p>	<p>201名の児童生徒が副学籍交流を利用 し、居住地の小・中学校での授業や校外 活動において一緒に学ぶ機会を設けまし た。今後も引き続き、小・中学校と 本事業の意義や重要性を共有し、特別 支援学校に通う児童生徒と、地域の学校 に通う子どもたちとの交流及び共同 学習をより一層推進します。</p>	<p>特別支援学校に通う児童生徒 と、地域の学校に通う子どもた ちとの交流及び共同学習をよ り一層推進します。</p>
-----------	-----------------------------------	--	----------	--	---

さまざまな生活の場面を支えるもの 2 人材確保・育成

(1) 障害福祉従事者の確保と育成

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
35	障害福祉人材の確保(魅力発信)	障害福祉の仕事の魅力を発信し、求人や雇用の支援を行うことで障害福祉人材の確保につなげていきます。	○	障害福祉分野の魅力発信の取組として、市内専門学校との共創事業によるPRツールの検討・制作や、市内大学への出前講座、公共交通機関等を活用したPR動画の放映を行いました。	引き続き、障害福祉分野で働くことの魅力発信や、事業所の求人・継続雇用の支援を通じて、より効果的な障害福祉分野の人材確保につなげます。また、学生等を対象に、障害福祉分野の仕事内容ややりがいを知ってもらい、将来の就職先候補となるよう、

					<p>しょうがいしゃせつ しょうぼけんがつかいとう 障害者施設での職場見学会等</p> <p>かいさい を開催します。</p>
35	<p>しょうがいふくしじんざい 障害福祉人材の かくほ さいようしえん 確保(採用支援)</p>	<p>しょうがいふくし じんざいかくほ 障害福祉の人材確保の ため、障害福祉サービス じぎょうしょ 事業所とともに、障害 ふくしじんざいかくほ ぐたいさく 福祉人材確保の具体策の けんとう おこな 検討を行います。また、 げんば いけん さんこう 現場の意見を参考にしな がら、ぎょうせい じぎょうしょ 民間 企業等様々な主体とも きょうどう しょうがいふくし ぶんや 協働して障害福祉分野 じんざいがそくかいしょう の人材不足解消のため に、じぎょうしょ たい きゅうじん 事業所に対する求人 しえん の支援をします。</p>	○	<p>しょうがいふくし じぎょうしょ しょうがい 障害福祉サービス事業所とともに、障害 ふくしじんざいかくほ ぐたいさく けんとう おこな 福祉人材確保の具体策の検討を行いました。 また、ちやくせつしゅうしょく むす とりくみ 直接就職に結びつく取組として、 しごと じっし お仕事フェアを実施しました。</p>	<p>ひ つづ しょうがいふくし 引き続き、障害福祉サービス じぎょうしょ しょうがいふくしじんざい 事業所とともに、障害福祉人材 かくほ ぐたいさく けんとう おこな 確保の具体策の検討を行います。 また、ちやくせつしゅうしょく むす 直接就職に結びつく とりくみ しごと じっし 取組として、お仕事フェアを実施 します。</p>

<p>36</p>	<p>しょうがいふくしじんざい 障害福祉人材の かくほ しょくいん 確保(職員の ていちゃく 定着)</p>	<p>しょうがいふくし じぎょうしょ 障害福祉サービス事業所 とう たい けんしゅう おこな 等に対し、研修を行うな ど、人材定着に向けた じんざいていちゃく む 支援を実施します。</p>	<p>△</p>	<p>しょうがいふくし ばんや じぎょうしょ じんざい 障害福祉分野の事業所における人材の ていちゃくとう かん かだいとう あき 定着等に関する課題等を明らかにするこ とを目的に、市内障害福祉サービス もくてき しな いしょうがいふくし 事業所・施設の障害福祉人材に係る じぎょうしょ しせつ しょうがいふくしじんざい かか 状況調査を行いました。</p>	<p>じょうきょうちょうさ けっか ぶん 状況調査の結果を踏まえなが ら、事業所の求人ノウハウや けいえいせんりやく こうじょう もくてき 経営戦略の向上を目的として、 じぎょうしょしょくいんとう たいしゅう 事業所職員等を対象とした じんざいかくほ じっし 人材確保セミナーを実施します</p>
<p>36</p>	<p>しょうがいとくせい おう 障害特性に応じ た支援のための けんしゅう 研修</p>	<p>はったつしょうがい こうどうしょうがい 発達障害や行動障害を ゆう かた いりょうてき 有する方、医療的ケアが ひつよう かたとう たい 必要な方等に対し、 せんもんてき しえん おこな 専門的な支援を行うこと のできる人材を育成する ための研修を実施しま す。</p>	<p>○</p>	<p>はったつしょうがいしゃ そうだんえんじょぎじゅつこうじょう 発達障害者への相談援助技術向上のた めのけんしゅう こうどうしょうがい かか しえんりよく 研修や、行動障害に係る支援力 こうじょう はか けんしゅうとう じっし 向上を図るための研修等を実施しまし た。</p>	<p>はったつしょうがいしゃ そうだんえんじょぎじゅつ 発達障害者への相談援助技術 こうじょう けんしゅう こうどう 向上のための研修や、行動 しょうがい かか しえんりよくこうじょう はかる 障害に係る支援力向上を図る ためのけんしゅうとう じっし 研修等を実施します。</p>

<p>36</p>	<p>相談支援従事者の人材育成</p>	<p>市域と区域での人材育成に関する取組を整理し、相互に連動させた効果的・効率的な人材育成体系を整備します。</p>	<p>○</p>	<p>市自立支援協議会にて、意思決定支援の取組ヒント集の作成や人材育成ビジョンの改定について検討をしました。</p>	<p>意思決定支援や人材育成ビジョンを活用した相談支援従事者の人材育成について、市自立支援協議会にて協議・検討した内容をより具体的に展開できるように区域と市域で連動した取組を進めていきます。</p>
<p>37</p>	<p>障害福祉施設職員等への支援</p>	<p>障害者のQOLの向上を目指して、障害特性やライフステージに応じた障害の重度化の緩和、生活習慣病の予防等の普及啓発を図るため、障害福祉施設における</p>	<p>○</p>	<p>障害福祉施設の職員を対象とした食品衛生講習会(動画)や摂食嚥下研修、栄養ケアマネジメント研修を実施しました。また障害福祉施設の管理栄養士・栄養士を対象に栄養管理に関する連絡会を開催しました。</p>	<p>障害者のQOLの向上を目指して、障害特性やライフステージに応じた障害の重度化の緩和、生活習慣病の予防等の普及啓発を図るため、障害福祉施設における衛生管理、栄養管理に</p>

		<p>えいせい かんり えいよう かんり かん 衛生管理、栄養管理に関</p> <p>する けんしゅう れんらくかいとう する研修、連絡会等を</p> <p>じっし 実施します。</p>			<p>かん けんしゅう れんらくかいとう じっし 関する研修、連絡会等を実施し</p> <p>ます。</p>
37	<p>しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く</p> <p>かんごし ていちゃく む 看護師の定着に向けた</p> <p>しょうがいふくししせつとう 障害福祉施設等</p> <p>はたら かんごし で働く看護師の</p> <p>しえん かくほ 支援・確保</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く</p> <p>かんごし ていちゃく む 看護師の定着に向けた</p> <p>しえん おこな 支援を行うとともに、</p> <p>じんざい かくほ ほうさく 人材確保の方策について</p> <p>けんとう 検討します。</p>	○	<p>しょうがいふくししせつ はたら かんごしとう しょうくいんむ 障害福祉施設で働く看護師等の職員向</p> <p>けに、こうくうきのう かんり たしよくしゅれんけい に、口腔機能管理や多職種連携をテー</p> <p>マとした けんしゅう じっし 研修を実施しました。また、歯科</p> <p>いし かくしせつ ほうもん ぎじゅつてき じよげん 医師が各施設を訪問し、技術的な助言・</p> <p>しどう 指導をしました。併せて、求職中の</p> <p>かんごし たいしょう しょうがいふくししせつ けんがく 看護師を対象に、障害福祉施設の見学</p> <p>かい じっし しせつ はたら みりよく つた 会を実施し、施設で働くことの魅力を伝</p> <p>えました。</p>	<p>ひ つづ しょうがいふくししせつ はたら 引き続き障害福祉施設で働く</p> <p>かんごしとうむ けんしゅう じゅんかい 看護師等向けに、研修や巡回</p> <p>ほうもん じよげん しどう けいぞく 訪問による助言・指導を継続し</p> <p>ます。また、施設見学会を実施</p> <p>し、各施設での雇用につながる</p> <p>よう 支援します。</p>
37	<p>しゅうろうしえん 就労支援センタ</p> <p>しょうくいん じんざい 一職員の人材</p> <p>いくせい 育成</p>	<p>たよう しゅうろう たいおう 多様な就労ニーズに対応</p> <p>できるよう、しゅうろうしえん できるよう、就労支援ス</p> <p>キルを こうじょう 向上させるため、</p>	○	<p>しょうがいしゃこようそくしんほうかいせい しゅうごう 障害者雇用促進法改正についての集合</p> <p>けんしゅう けいしき と い 研修、グループワーク形式を取り入れた</p> <p>じぎょうぬししえん かん けんしゅう じっし 事業主支援に関する研修を実施しまし</p>	<p>たよう しゅうろう たいおう 多様な就労ニーズに対応できる</p> <p>よう、しゅうろうしえん ちしき よう、就労支援の知識をアップ</p> <p>デートできる しょうごうけんしゅう おこな デートできる集合研修を行い</p>

		<p>けんしゅう じっし じんざい 研修の実施など、人材</p> <p>いくせい すす 育成を進めます。</p>		<p>じんじこうりゅう か じれいけんとうかい た。また人事交流を兼ねた事例検討会を</p> <p>じっし ぐたいてきしえん まな あ 実施し、具体的支援を学び合いました。こ</p> <p>ちしき ぎじゆつ こうじょう はか れにより知識と技術の向上を図りました。</p>	<p>しえんぎじゆつ こうじょう ます。また、支援技術の向上を</p> <p>もくてき けいしき 目的に、グループワーク形式を</p> <p>い けんしゅう じっし 取り入れた研修を実施すること</p> <p>じんざいいくせい そくしん により、人材育成を促進します。</p>
38	<p>しゅうろうそくしん もくてき 就労促進を目的</p> <p>じぎょうしょ とした事業所</p> <p>しよくいん む けんしゅう 職員向け研修</p>	<p>しょうがいしゃこよう おこな 障害者雇用を行って</p> <p>きぎょう しゅうぎょうたいけん る企業での「就業体験」</p> <p>けんしゅう つう じぎょうしょ の研修を通じて、事業所</p> <p>しよくいん しゅうろうしえん 職員の就労支援スキル</p> <p>こうじょう しゅうろう む の向上、就労に向けた</p> <p>いしきづ 意識付けにつなげます。</p>	○	<p>れいわ ねんど 令和5年度のヒアリングを踏まえ、対象</p> <p>りようしゃ ひろ しゅうろうしえんじぎょうしょ を利用者へ広げました。就労支援事業所</p> <p>しえんいんおよ りようしゃ たいしょう しょうがいしゃ の支援員及び利用者を対象に、障害者</p> <p>こよう きぎょう だんたい たいけん けん を雇用している企業・団体での体験・見</p> <p>がくかい じっし しえんいん しゅうろう 学会を実施しました。支援員には就労</p> <p>しえん こうじょう りようしゃ しゅうろう む 支援スキルの向上、利用者には就労に向</p> <p>けた意識づけにつながりました。</p>	<p>しゅうろうしえんじぎょうしょ しえんしゃ 就労支援事業所の支援者が、</p> <p>りようしゃ たい いっぱんしゅうろう うなが 利用者に対し一般就労を促す</p> <p>しえん おこな きぎょう だんたい 支援が行えるよう、企業・団体</p> <p>とう りようしゃ とも おとず けんがく 等を利用者と共に訪れ、見学・</p> <p>たいけん じっしゅう おこな きかい ていきょう 体験・実習を行う機会を提供</p> <p>します。</p>
38	<p>いりょうじゆうじしゃけんしゅう 医療従事者研修</p> <p>じぎょう 事業</p>	<p>びょうき しょうがい しょうに 病気や障害のある小児</p> <p>およ じゅうしょうしんしんしょうがいじ 及び重症心身障害児・</p> <p>しゃ しえん ひつよう ちしき 者の支援に必要な知識・</p>	○	<p>いりょうきかん ふくしせつとう きんむ かんご し 医療機関や福祉施設等に勤務する看護師</p> <p>たいしょう しょうにほうもんかんご じゅうしょうしんしん を対象にした「小児訪問看護・重症心身</p>	<p>けんしゅうたいけい みなお はか さら 研修体系の見直しを図り、更な</p> <p>けんしゅう じゅうじつ はか る研修の充実を図ります。</p>

		<p>ぎじゆつ こうじょう はか しょうがい 技術の向上を図り、障害</p> <p>とくせい りかい いりょう 特性を理解した医療</p> <p>じゅうじしゃ いくせい 従事者を育成するための</p> <p>けんしゅう じっし 研修を実施します。</p>		<p>しょうがいじしゃかんごけんしゅうかい じっし 障害児者看護研修会」の実施をしまし</p> <p>た。</p>	
39	<p>ガイドヘルパー とうけんしゅうじゅうこうりょう 等研修受講料</p> <p>じよせい 助成</p>	<p>ガイドヘルパー とう しかく 等の資格</p> <p>しゅとく けんしゅう 取得のための研修</p> <p>じゅうこうりょう いちぶ じよせい 受講料の一部を助成しま</p> <p>す。また、助成制度の</p> <p>せっきよくてき しゅうち とく 積極的な周知にも取り組</p> <p>み、人材確保を図ります。</p>	○	<p>じよせいにんずう にな 助成人数:129人</p> <p>そうじよせいがく えん 総助成額:2,545,000円</p>	<p>すいしん 推進</p>
39	<p>ガイドヘルパース キルアップ研修</p>	<p>より質の高いサービスが</p> <p>ていきょう 提供できるよう、移動</p> <p>しえんじぎょう じゅうぎょうしゃ 支援事業の従業者を</p>	○	<p>いどうしえんじぎょうしょ じゅうぎょうしゃ たいしゅう 移動支援事業所の従業者を対象にガイ</p> <p>ドヘルパーの基礎知識・技術や障害特性</p> <p>に応じた支援方法に関する研修を行</p> <p>いました。また、サービス提供責任者を</p>	<p>サービス提供責任者及び従</p> <p>業者の質を更に高めるため、</p> <p>研修テーマを選定し、受講者の</p> <p>増加を目指します。</p>

		<p>たいしやう けんしやう じっし 対象に研修を実施しま す。</p>		<p>たいしやう ていきやうせきにんしやとう やくわり 対象に、サービス提供責任者等の役割 とサービス提供の基本視点、プロセス等 かん けんしやう おこな に関する研修を行いました。</p>	
39	<p>しゃかいさんかすいしん 社会参加推進セ ンターによる だんたいかつどうしえん 団体活動支援 きのう じゆうじつ 機能の充実</p>	<p>しょうがいしゃほんにん かつどう ささ 障害者本人の活動を支援 じんざい いくせい すす る人材の育成を進めると おな しょうがい ともに、同じ障害がある ひと こうりゆう 人たちの交流やコミュニ ケーションの機会を拡充 かくだんたいかつどう そくしん し、各団体活動を促進す とりくみ すいしん る取組を推進します。</p>	○	<p>しょうがいしゃ じりつ しゃかいさんかとう そくしん 障害者の自立や社会参加等を促進する にちじやうせいかつ おく うえ ひつやう ための日常生活を送る上での必要な せいかつくねん しゃかいさんかくねん あいていこうしゆう 生活訓練(社会参加訓練やIT講習)な どうじしゃ じぎやう じっし ど当事者による事業を実施しました。</p>	<p>ひ つづ しょうがいしゃ じりつ しゃかい 引き続き、障害者の自立や社会 さんかとう そくしん どうじしゃ 参加等を促進するための当事者 による事業を実施していきま す。</p>

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
40	しょうがいふくし 障害福祉サービス等に係る しきゅうけつていきょうむけんしゅう さんが 支給決定業務研修の参加 にんずう 人数	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	300人 (実績189人)	300人	300人
40	けいかくてき じんざいようせい すいしん 計画的な人材養成の推進 そうだんし えんじゅうじしゃけんしゅう (相談支援従事者研修の しゅうりょうしゃ 修了者)	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	280人 (実績305人)	280人	280人
40	しょうがいしゃじりつしえんしんさしはらいとう 障害者自立支援審査支払等 しんさけっか システムによる審査結果の きょうゆう 共有	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	ねん かい 年1回 (実績年1回)	ねん かい 年1回	ねん かい 年1回

(2) 業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
42	業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討	煩雑な事務作業などの業務効率化や介護業務の負担軽減などを進めるため、ロボット・AI・ICTなどの導入の検討を進めます。	○	ロボット等の導入促進を図る為、事業者向けのオンラインセミナー及び体験会を開催しました。併せて、市内事業者のヒアリング調査を行い、機器の普及に向けた調査分析等を行いました。	市内事業者のロボット等導入に向けた伴走支援等を行うとともに、機器等の購入費用を助成します。

さまざまな生活の場面を支えるもの 3 権利擁護

(1) 障害福祉従事者の確保と育成

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
44	障害者虐待防止事業(普及・啓発)	市民向けのリーフレット作成等により広報を行います。また、障害福祉サービスの事業者等を対象とした研修については、障害者虐待の調査や統計等の根拠を踏まえ、見直しを図りながら実施します。	○	市民向けには、ホームページ等での広報を行いました。区自立支援協議会の要請を受け、事業者等向けに講座を実施しました【10区】。障害福祉施設サービスの管理者およびサービス管理責任者を対象とした研修を、年2回実施しました。【研修参加者合計216名、うち事業所での伝達研修実施者132名、伝達研修受講者計172名】	市民向けには、ホームページ等での広報を行うとともに、区や区自立支援協議会主催の障害者虐待防止研修を通じて、施設従事者等、啓発を行います。施設の管理者やサービス管理責任者向けの研修を行います。区域で、地域の事業

					しゃむ けんしゅう とく 者向け研修に取り組みま す。
44	せいしんかびょういん 精神科病院にお けるぎゃくたいぼうし 虐待防止に む ぞち 向けた措置	せいしんかびょういんない ぎゃくたい はっけん 精神科病院内で虐待を発見 ばあい つうほうじゅりたいせい した場合の通報受理体制を とどの つうほうないよう じじつかくにん とどの 整備、通報内容の事実確認 どう じっし 等を実施します。	○	せいしんかびょういん ぎゃくたいたいおう 精神科病院における虐待対応につ くに じ む どりあつかいようりょう もと いて、国の事務取扱要領に基づき、 つうほううけつけまどぐち せっち つうほう じゅり 通報受付窓口を設置し、通報の受理、 つうほう じ ひょうか じっし ほうこくちようしゅう じっし 通報時評価の実施、報告徴収の実施 くに じ む どりあつかいようりょう もと など、国の事務取扱要領に基づき じっし 実施することができた。	くに じむとりあつかいようりょう もと 国の事務取扱要領に基づ けいぞく てきせつ たいおう き、継続して適切に対応して まいります。

(2) 成年後見制度の利用促進

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
46	よこはまし市民 後見人養成・ 活動支援事業	地域における権利擁護を 市民参画で進めるため、よこ はま成年後見推進センターが 市民後見人の養成を実施し、 区役所、市・区社会福祉協 議会、専門職団体等が連携し た活動支援の体制を構築しま す。	○	令和6年度は第7期市民後見人養成 講座を実施しました。バンク登録者は 新たに計29名増となりました。また、 市民後見人受任の要件を見直し、受任 促進を行っています。 【バンク登録者数】(令和6年度末現在) 101人	令和8年度に実施予定の第 8期市民後見人養成講座に ついて、民法(成年後見等 関係)改正も見据えながら 検討していきます。また、区 サポートネットのしくみ見直 しによる、市民後見人と地域 との関わり支援を一層進め ていきます。
46	法人後見支援 事業	よこはま成年後見推進センタ ーが、これまでの法人後見	○	令和6年度は2回の法人後見連絡会を 開催し、情報共有や意見交換を行い	引き続き法人後見連絡会を 開催し、法人後見団体の

		<p>じゆにんじっせき ふ しな い 受任実績を踏まえて、市内の</p> <p>しゃかい ふくし ほうじんとう ほうじん 社会福祉法人等への法人</p> <p>こうけんじっし む しえん おこな 後見実施に向けた支援を行</p> <p>います。</p>		<p>ほうじんこうけんだんたい ちょうせい じゆにん ました。法人後見団体への調整も受任</p> <p>ちょうせい と い じゆにんちょうせい 調整のしくみに取り入れ、受任調整の</p> <p>そくしん 促進をはかりました。</p>	<p>じょうほうきょうゆう いけんこうかん おこな 情報共有や意見交換を行</p> <p>うとともに、あら ほうじんこうけん 新たな法人後見</p> <p>せつりつ め ざ だんたいどう 設立を目指している団体等</p> <p>む じょうほう きょうゆう に向けても情報の共有を</p> <p>おこな 行っていきます。</p>
46	<p>せいねんこうけんせいど 成年後見制度の</p> <p>ふきゅうけいはつ 普及啓発</p>	<p>せいねんこうけんせいど りよう 成年後見制度がより利用しや</p> <p>かんけい すいものとなるよう、関係</p> <p>きかん ちょうせい とうじしゃおよ 機関と調整して当事者及び</p> <p>かぞく しえんだんたいどう せつめいかい 家族、支援団体等への説明会</p> <p>じっし などを実施します。</p>	○	<p>かくくいき せいねんこうけんせいど 各区域における成年後見制度の</p> <p>がくしゅうかいおよ おや じゆんび かんが 学習会及び親あるうちの準備を考え</p> <p>れんぞくこうざ かいさい る連続講座の開催をしました。また、</p> <p>しいきおよ かくくいき かいさい 市域及び各区域で開催されるサポート</p> <p>ネットにおいて、しえんしゃかん れんけい 支援者間の連携を</p> <p>きょうか 強化しました。</p>	<p>せいねんこうけんせいど りよう 成年後見制度がより利用し</p> <p>かんけい やすいものとなるよう、関係</p> <p>きかん ちょうせい とうじしゃおよ 機関と調整して当事者及び</p> <p>かぞく しえんだんたいどう 家族、支援団体等への</p> <p>せつめいかい じっし 説明会などを実施します。</p>

<p>43</p>	<p>けんりようごじぎょう 権利擁護事業</p>	<p>けんり まも そうだん 権利を守るための相談や</p> <p>けいやく もと きんせんかんり 契約に基づく金銭管理サービ</p> <p>にちじょうせいいかつ しえん スなどの日常生活の支援</p> <p>を、く あんしんセンターが、</p> <p>けいやく もと じっし 契約に基づいて実施します。</p>	<p>○</p>	<p>たんしんしょうがいしゃどう そうか きんせんかんり 単身障害者等の増加により金銭管理</p> <p>サービスなど にちじょうせいいかつ しえん 日常生活の支援への</p> <p>じゅよう たか そうだんけんすう けい 需要が高まっています。相談件数や契</p> <p>やくしゃすう そうげん く かん えん 約者数は増減を繰り返しながらほぼ横</p> <p>ばいです。相談内容の複雑多様化か</p> <p>ら、より おお たいおう もと 多くの対応が求められていま</p> <p>す。</p> <p>そうだんけんすう けん 【相談件数】89,576件</p> <p>のべけいやくしゃすう にん 【延契約者数】1,384人</p> <p>れいわ ねんど がつまつげんざい (令和6年度3月末現在)</p>	<p>しみん しえんしゃ せいどしゅうち 市民や支援者への制度周知</p> <p>およ けいはつ おこな 及び啓発を行っていきま</p> <p>す。また、ひつよう かた せいねん 必要な方へ成年</p> <p>こうけんせいどりよう いこう 後見制度利用へ移行ができ</p> <p>るよう支援を行っていきま</p> <p>す。</p>
-----------	------------------------------	--	----------	--	--

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
44	せいねんこうけんせいどくちょうもうした 成年後見制度区長申立て けんすう 件数	30 <small>けん</small> (じっせき けん 実績29件)	30 <small>けん</small> (じっせき けん 実績18件)	30 <small>けん</small> (じっせき けん 実績30件)	30 <small>けん</small> (じっせき けん 実績25件)	30 <small>けん</small>	30 <small>けん</small>
47	せいねんこうけんにんどうほうしゅうじょせいけんすう 成年後見人等報酬助成件数	210 <small>けん</small> (じっせき けん 実績237件)	240 <small>けん</small> (じっせき けん 実績284件)	270 <small>けん</small> (じっせき けん 実績285件)	300 <small>けん</small> (じっせき けん 実績391件)	330 <small>けん</small>	360 <small>けん</small>

(3)しょうがいしゃさべつかいしょうほうもととりくみ
障害者差別解消法に基づく取組

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かせ 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
49	しみんどう 市民等への ふきゅう けいはつ 普及・啓発	しょうがい りゆうとする さべつ 障害を理由とする差別の かいしょう あ 解消に当たっては、市民等の かたがた かんしん りかい ふか 方々に関心と理解を深めて いただくことが何よりも大切	○	へいせい ねん ぼしゅう しょうがいしゃさべつ かん 平成28年に募集した障害者差別に関 する事例を誰でも簡単に調べることが できる検索サイトをホームページで	ひ つづ さべつかいしょう 引き続き、差別解消のため けいはつどうが しえい の啓発動画を市営バス・ ちかてつしゃない えき 地下鉄車内や駅のデジタル サイネージ、本市ウェブサイ

		<p>であることから、市民等^{しみんどう む}に向 けた広報^{こうほうおよ}及び啓発^{けいはつかつどう}活動を 効果的^{こうかてき}に実施^{じっし}します。 また、事業所^{じぎょうしょどう}等^{さべつてき}への差別的 取扱い^{とりあつか}の禁止^{きんし}や合理的^{ごうりてきはいりよ}配慮 の提供^{ていきょう}についても、周知^{しゅうち}・ 啓発^{けいはつ}に取り組み^{とく}ます。</p>		<p>運用^{うんよう}しています。 また、差別^{さべつかいしょう}解消^{けいはつどうが}のための啓発^{けいはつ}動画を 市営^{しえい}バス・地下鉄^{ちかてつしゃない}車内^{えき}や駅のデジタル サイネージ^{ほんし}、本市^{ほんし}ウェブサイト^{けいしゆつ}に掲出^{けいしゆつ} し、障害者^{しょうがいしゃ}差別^{さべつ}に関する啓発^{かん けいはつかつどう}活動を 実施^{じっし}しました。</p>	<p>ト^{けいしゆつ}に掲出^{しょうがいしゃさべつ}し、障害者^{しょうがいしゃ}差別^{さべつ}に 関する啓発^{かん けいはつかつどう}活動^{じっし}を実施^{じっし}しま す。</p>
49	<p>相談^{そうだんたいせいどう}体制^{たいせい}等の 周知^{しゅうち}</p>	<p>障害者^{しょうがいしゃ}差別^{さべつ}に関する相談^{かん そうだん}、 紛争^{ふんそう}の防止^{ぼうしどう}等^{たいせい}のための体制^{たいせい} を周知^{しゅうち}します。また、相談^{そうだん}及 び紛争^{ふんそう}の防止^{ぼうしどう}等を地域^{ちいき}にお いて推進^{すいしん}するための地域^{ちいききょう}協 議会^{ぎかい}を開催^{かいさい}します。</p>	○	<p>当事者^{とうじしゃ}サポート^{じぎょう}事業^{よこはましんたい}を横浜市^{よこはましんたい}身体 障害者^{しょうがいしゃ}団体^{だんたい}連合会^{れんごうかい}に委託^{いたく}して、ピア 相談^{そうだん}を実施^{じっし}し、障害者^{しょうがいしゃ}差別^{さべつ}解消^{かいしょうほう}法^{かん}に関 するパンフレット^{さくせい}の作成^{はいふ}・配布^{こうつうじ}、交通事 業者^{ぎょうしゃ}等^{とうむ}向けに障害^{しょうがい}当事者^{とうじしゃ}との意見^{いけん} 交換^{こうかん}の場^ばを含^{ふく}めた障害者^{しょうがいしゃ}差別^{さべつ}解消^{かいしょうほう}法^{ほう} に関する出前^{かん}講座^{でまえこうざ}を実施^{じっし}しました。ま</p>	<p>ピア^{そうだん}相談^{なか}の中で差別^{さべつ}の相談^{そうだん} があつた場合^{ばあい}、当事者^{とうじしゃ}の 気持ち^{きもち}に寄り添^よい、対応^{たいおう} まどぐち ちょうせいいいんかいとうしょうかい 窓口^{まどぐち}や調整^{ちようせい}委員会^{いいんかい}等^{とうしょうかい}紹介^{しょうかい}、 周知^{しゅうち}・啓発^{けいはつ}等^{おこな}を行う^{とうじしゃ}当事者^{とうじしゃ} サポート^{じぎょう}事業^{よこはましんたい}を横浜市^{よこはましんたい}身体 障害者^{しょうがいしゃ}団体^{だんたい}連合会^{れんごうかい}に委託^{いたく}し</p>

				<p>しょうがいしゃさべつかいしょうしえんちいききょうぎかいた、障害者差別解消支援地域協議会</p> <p>にて相談事例の共有を図るとともに、</p> <p>相談対応に関する検討等を行いました。</p>	<p>て実施します。また、障害者</p> <p>差別解消支援地域協議会の</p> <p>各分野の委員を通じて、</p> <p>障害当事者相談体制等の</p> <p>周知を図ります。</p>
50	<p>市職員対応</p> <p>要領の周知</p>	<p>本市職員が適切な対応を行</p> <p>っていくための指針として</p> <p>策定した市職員対応要領を</p> <p>周知し、差別的取扱いとなり</p> <p>得る事例や、合理的な配慮の</p> <p>好事例等の浸透を図ります。</p>	○	<p>全職員を対象に、資料配付による</p> <p>研修を実施しました。さらに、横浜市</p> <p>身体障害者団体連合会と連携し、</p> <p>各区局の人権啓発研修にて出前講座</p> <p>を行いました。全区局の代表が集ま</p> <p>る会議にて、取組状況等を周知する</p> <p>とともに課題を検討しました。</p>	<p>引き続き、全職員を対象と</p> <p>した研修や各区局の人権</p> <p>啓発研修、階層別研修、</p> <p>異動等に伴う研修等にお</p> <p>ける出前講座を実施するほ</p> <p>か、全区局の代表が集まる</p> <p>会議にて本市の取組状況</p> <p>等を周知します。</p>

(4) 情報保障の取組

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
51	情報発信時の 合理的配慮の 提供	行政情報発信時の視覚 障害者、聴覚障害者及び 知的障害者等に対して、一人 ひとりの障害特性に応じた 合理的配慮を行います。	○	視覚障害のある人への情報保障の 取組として、希望する人に対して本市 から発出する通知を、点字化して発送 する仕組みを運用しています(登録1 5名)。 聴覚障害のある人等への情報保障の 取組として、タブレット端末を活用した 手話通訳サービスの情報提供を運用 しています。さらに、本市が開催するイ ベントや講演会等において情報保障を 行うため、本市各課に音声認識機能を	視覚障害のある方で希望す る方に対して、本市から発行 する通知の通知名等を 点字化した通知を発送する 仕組みの運用を継続します。 また、聴覚障害のある方等 への情報保障の取組とし て、タブレット端末を活用し た手話通訳サービスの情報 提供を行います。本市が 開催するイベント・講演会・

				<p>とうさい たんまつかしだし うんよう 搭載したタブレット端末貸出の運用を</p> <p>かいし 開始しました。</p> <p>ぎょうせい はっこう こうほうぶつ ちてき 行政が発行する広報物について、知的</p> <p>しょうがい ひととう はん 障害のある人等にもわかりやすい版</p> <p>さくせい けん ししよくいんむ を作成しました(6件)。また、市職員向</p> <p>ちてきしょうがいしゃとう わ けの知的障害者等にも分かりやすい</p> <p>しりょうさくせいけんしゅうどうが しよくいんようえが 資料作成研修動画を職員用WEBペー</p> <p>じにて公開しています。</p>	<p>かいぎとう ほんしかくか おんせい 会議等の本市各課への音声</p> <p>にんしききのう とうさい 認識機能を搭載したタブレ</p> <p>たんまつかしだし うんよう けい ット端末貸出の運用を継</p> <p>ぞく 続します。</p> <p>ぎょうせい はっこう こうほうぶつ 行政が発行する広報物につ</p> <p>ちてきしょうがい ひと いて、知的障害のある人に</p> <p>もわかりやすい版の作成に</p> <p>とく 取り組みます。</p>
51	<p>だいひつ だいでく 代筆・代読サービ ス</p>	<p>しかくとう しょうがい ひと 視覚等に障害のある人が</p> <p>にちじょうせいかつ なか だいひつ 日常生活の中で代筆または</p> <p>だいでく ひつよう しえんしゃ 代読が必要なときに支援者</p> <p>によるサービス提供を行います。</p>	○	<p>だいひつ だいでく か じ えんじょ しきゅうけつてい 代筆・代読のみの家事援助の支給決定</p> <p>じょうきょう はあく うんよう 状況を把握するなど、サービス運用</p> <p>が適切に行われているか確認しまし た。</p>	<p>か じ えんじょ だいひつ だいでく 家事援助での代筆・代読の</p> <p>サービスが適切に運用され</p> <p>るよう、事業所に対して</p> <p>しゅうだんしどうとう きかい かつよう 集団指導等の機会を活用し</p> <p>ながら、周知や指導等を</p> <p>けいぞくてき おこな 継続的に行っていきます。</p>

<p>51</p>	<p>しょうがい ひと 障害のある人に</p> <p>たい じょうほうほしょう 対する情報保障</p> <p>のためのガイド ライン</p>	<p>しょうがいじょうほう 障害者情報アクセシビリティ</p> <p>い・コミュニケーション しさく 施策</p> <p>すいしんほう りねんおよ しょうがい 推進法の理念及び障害</p> <p>とうじしや いけん ふ じょうほう 当事者の意見を踏まえ、情報</p> <p>ほしょう かんが かた しゅほうとう 保障の考え方や手法等をま</p> <p>とめたガイドラインを かつよう 活用し</p> <p>たコミュニケーション かんきょう 環境の</p> <p>こうじょうおよ しょうがいりかい ふぎゅう 向上及び障害理解の普及</p> <p>けいはつ と く 啓発に取り組みます。</p>	<p>○</p>	<p>れいわ ねん かいせいしょうがいしやさべつかいしょうほう 令和6年の改正障害者差別解消法</p> <p>しこう ふ ぎょうせいきかんじょうほうほしょう 施行を踏まえ、行政機関情報保障の</p> <p>とりくみ しえん じょうほうほしょう 取組を支援するため、情報保障ガイド</p> <p>ラインを ざくせい し こうかい 作成し、市ホームページに公開</p> <p>しました。</p>	<p>れいわ ねんど さくせい 令和6年度に作成をした</p> <p>じょうほうほしょう ひろ 情報保障ガイドラインを 広</p> <p>かつよう く活用できるよう、さらに</p> <p>しゅうち ほんしかくか かつよう 周知し、本市各課で活用を</p> <p>はか 図ります。</p>
-----------	--	---	----------	---	---

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
52	しゅわつうやくしゃ はけん 手話通訳者の派遣 は けん にん ずう (派遣人数)	11,000人 じっせき (実績9,630 人)	11,000人 じっせき (実績10,376人)	11,000人 じっせき (実績10,517人)	11,000人 じっせき (実績10,011人)	11,000人	11,000人
52	ようやくひつきしゃ はけん 要約筆記者の派遣 は けん にん ずう (派遣人数)	1,900人 じっせき (実績934人)	1,900人 じっせき (実績1,024人)	1,900人 じっせき (実績1,143人)	1,200人 じっせき (実績1,173人)	1,350人	1,500人
52	しゅわ ほうししいん ようせいけんしゅうじぎょう 手話奉仕員養成研修事業 ようせい にん ずう (養成人数)	172人 じっせき (実績102人)	172人 じっせき (実績138人)	172人 じっせき (実績156人)	172人 じっせき (実績174人)	172人	172人
52	しゅわつうやくしゃ ひつきしゃ ようせいけんしゅう 手話通訳者・筆記者養成研修 じぎょう ようせい にん ずう 事業(養成人数)	90人 じっせき (実績46人)	90人 じっせき (実績60人)	90人 じっせき (実績47人)	90人 じっせき (実績56人)	90人	90人
52	もう しゃむ つうやく かいじょいん 盲ろう者向け通訳・介助員 ようせいけんしゅうじぎょう ようせい にん ずう 養成研修事業(養成人数)	30人 じっせき (実績17人)	30人 じっせき (実績20人)	30人 じっせき (実績26人)	37人 じっせき (実績26人)	37人	37人

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
55	障害者相談支援 事業の周知及び 普及啓発	区福祉保健センター、基幹 相談支援センター、精神 障害者生活支援センターの3 機関を中心に地域生活支援 拠点の機能を充足させなが ら、相談支援事業の周知、 啓発を図ります。	○	相談支援事業の周知・啓発を図るた め、「相談支援事業所開設説明会」 「事業別集団指導」を実施しました。 また、3機関が連携し、計画相談支援の 推進に向けた後方支援を行うなど、 地域の相談支援体制の強化に取り組み ました。	相談支援事業の周知・啓発 を図るため、「相談支援 事業所開設説明会」「事業別 集団指導」を実施します。 また、3機関が連携し、計画 相談支援の推進に向けた 後方支援を行うなど、地域 の相談支援体制の強化に取 り組みます。

<p>56</p>	<p>相談支援従事者の人材育成【再掲】</p>	<p>市域と区域での人材育成に関する取組を整理し、相互に連動させた効果的・効率的な人材育成体系を整備します。</p>	<p>○</p>	<p>市自立支援協議会にて、意思決定支援の取組ヒント集の作成や人材育成ビジョンの改定について検討をしました。</p>	<p>意思決定支援や人材育成ビジョンを活用した相談支援従事者の人材育成について、市自立支援協議会にて協議・検討した内容をより具体的に展開できるように区域と市域で連動した取組を進めていきます。</p>
<p>56</p>	<p>市自立支援協議会と区協議会との支援協議会の連携・連動</p>	<p>市自立支援協議会、ブロック連絡会、区自立支援協議会を連携・連動させ、地域づくりに効果的に取り組める体制を整備します。</p>	<p>○</p>	<p>各区より挙げられた課題や取組について、市及び区協議会で共有しました。区協議会の意見を得ながら意思決定支援の「支援のヒント集」を作成しました。</p>	<p>市協議会が作成した研修動画や意思決定支援の支援のヒント集を配布するなど、情報共有を積極的にを行い、市及び区協議会の</p>

					れんけい れんどう たか とりくみ 連携・連動を高める取組を すいしん 推進します。
56	とうじしゃ 当事者による そうだん じゅうじつ 相談の充実	しゃかいさんかすいしん 社会参加推進センターに設置 するピア相談センターでの とうじしゃそうだん しゅうち はか 当事者相談の周知を図り、 とうじしゃ そうだんしえん 当事者による相談支援を すいしん 推進します。	○	ウェブサイトへの掲載等により、ピア そうだん とりくみ しゅうち 相談センターでの取組を周知し、 とうじしゃそうだん かつよう 当事者相談の活用につなげました。ま た、ピア相談員のスキルアップを図る ため、ピア相談員研修を実施しました。	ひ つづ 引き続き、ピア相談センター とりくみ しゅうち きょうか の取組の周知を強化し、 とうじしゃそうだん かつよう 当事者相談の活用につなげ ていきます。また、ピア そうだんいんけんしゅう じっし 相談員研修を実施し、ピア そうだんいんけんしゅう じっし 相談員のスキルアップを図 ります。
56	きそん そうだんまどぐち 既存の相談窓口 ちいき (地域ケアプラザ とう 等)による連携	みじか そうだんしゃ ひごろ 身近な相談者として、日頃の かか なか なにげ かいわ 関わりの中で、何気ない会話 ふく に含まれている相談に気付 き ひつよう おう てき そうだん き、必要に応じて適した相談 しえんきかん 支援機関につなげます。	○	ちいき 地域ケアプラザ等における相談対応を きっかけとした事案を、必要に応じて そうだんしえんきかん 相談支援機関につなぎました。	ひ つづ みぢか そうだんしゃ 引き続き、身近な相談者と ひごろ かか なか して、日頃の関わりの中で、 なにげ かいわ ふく 何気ない会話に含まれてい る相談に気づき、必要に応 じて適した相談支援機関に つなげます。

<p>57</p>	<p>難病患者等への 必要な情報 提供</p>	<p>難病患者等に対して必要な 情報提供を行うこと等によ り、難病患者等の障害福祉 サービス等の活用が促され るよう検討します。</p>	<p>○</p>	<p>講演会・交流会について、オンライン 開催を引き続き実施するとともに、 最新情報が得られるよう案内チラシに 本市Webサイトの二次元バーコードを 掲載しました。</p>	<p>講演会・交流会を引き続き 実施するとともに、横浜市の ホームページやメールマガ ジン等を活用して、最新 情報を提供できるよう努 めていきます。</p>
<p>57</p>	<p>発達障害者支援 センター運営 事業</p>	<p>発達障害者支援センターと、 地域の支援機関との連携の 仕組みを整理し、相談支援 体制の強化を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>発達障害者支援センターの職員が各 区に出向き、地域の相談支援機関との 連携の取組を18区で実施するととも に、市内の障害福祉サービス事業所 等を訪問し技術的支援を行いました。 また、相談支援機関の援助力向上のた めの研修を実施しました。</p>	<p>引き続き関係機関への技術 支援や研修実施による 支援者の援助力向上を図り ながら、連携のあり方を 検討していきます。</p>

<p>57</p>	<p>こうじのうきのうしょうがい 高次脳機能障害</p> <p>かか かんけい に関わる関係</p> <p>きかん れんけいそくしん 機関の連携促進</p>	<p>こうじのうきのうしょうがいしえん 高次脳機能障害支援センタ</p> <p>ちいき かんけいきかん 一と地域の関係機関との</p> <p>れんけい そくしん みぢか ちいき 連携を促進し、身近な地域に</p> <p>こうじのうきのうしょうがい たい おける高次脳機能障害に対</p> <p>しえんたいせい きょうか する支援体制を強化します。</p>	<p>○</p>	<p>よこはましこうじのうきのうしょうがいしえん 横浜市高次脳機能障害支援センター</p> <p>ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう において、中途障害者地域活動センタ</p> <p>せんもんそうだんおよ し えんしゃ む 一での専門相談及び支援者向け</p> <p>べんきょうかい じっし こうじのうきのうしょうがいしゃ 勉強会の実施、高次脳機能障害者が</p> <p>おお りよう ちいきさぎょうじょ れんらくかい 多く利用する地域作業所との連絡会</p> <p>ねん かい けいぞく しな い こうじのうきのう (年2回)を継続し、市内の高次脳機能</p> <p>しょうがいしゃしえん れんけい はか 障害者支援における連携を図りまし</p> <p>た。</p>	<p>ひ つづ よこはましこうじのうきのう 引き続き横浜市高次脳機能</p> <p>しょうがいしえん れんけい 障害支援センターと連携</p> <p>せんもんそうだん し えんしゃ む し、専門相談、支援者向け</p> <p>べんきょうかい ちいきさぎょうじょ 勉強会、地域作業所との</p> <p>れんらくかい けいぞく じっし 連絡会を継続して実施しま</p> <p>す。また、けんいき けんしゅう す。また、県域の研修や</p> <p>れんらくかい きょうりよく さんかく 連絡会に協力・参画し、</p> <p>こうじのうきのうしょうがいしゃしえん 高次脳機能障害者支援にお</p> <p>けるれんけい ネットワークのこうちく 構築</p> <p>そくしん を促進します。</p>
<p>57</p>	<p>いりょうてき し しや 医療的ケア児・者</p> <p>とう そうだんたいせい 等の相談体制の</p> <p>じゅうじつ 充実</p>	<p>いりょうてき し しやとう 医療的ケア児・者等とその</p> <p>かぞく みぢか ちいき そうだん 家族が、身近な地域で相談で</p> <p>ばしょ じゅうじつ はか きる場所の充実を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>かながわけん だい じ いりょうけいかく 神奈川県第8次医療計画により、</p> <p>ざいたくいりょうれんけいきよてん ざいたくいりょう ひつよう 在宅医療連携拠点が「在宅医療に必要</p> <p>れんけい にな きよてん い ち な連携を担う拠点」に位置づけらるこ</p> <p>ともな ざいたくいりょうれんけいきよてん しょうがい とに伴い、在宅医療連携拠点と障害</p>	<p>かながわけん だい じ いりょうけいかく 神奈川県第8次医療計画</p> <p>により、ざいたくいりょうれんけいきよてん により、在宅医療連携拠点</p> <p>ざいたくいりょう ひつよう れんけい が「在宅医療に必要な連携</p> <p>にな きよてん い ち を担う拠点」に位置づけられ</p>

				<p>相談支援機関の連携強化を推進して いたための研修を実施しました。</p>	<p>たことに伴い、在宅医療 連携拠点と障害相談支援 機関の連携強化を推進して いきます。</p>
58	<p>ヤングケアラー の支援に向けた 取り組み 取組</p>	<p>本来大人が担うと想定され ている家事や、幼いきょうだ いや高齢の祖父母、障害の ある家族の世話などを 日常的に行っている子ども も、いわゆる「ヤングケアラ ー」について、地域全体で子 どもたちを見守り、支える環 境づくりを進めます。</p>	○	<p>地域全体で子どもたちを見守り、支え る環境づくりのため、支援団体への 補助(4団体)、SNS相談(相談件数 38件)、広報啓発(映画上映イベント 52名)、市民向け研修(全6回428人 参加)等の取組を実施しました。</p>	<p>ヤングケアラーの負担軽減 やその家族を見守り・支える 環境づくりを進めるため、 新たに「横浜市子ども・若者 支援協議会」においてヤング ケアラー支援の充実に向け た議論推進します。 また、早期発見・把握、支援 に繋げるため、アンケートに よる実態調査をモデル実施 します。</p>

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
59	きかんそうだんしえん 基幹相談支援センターの設置	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	せっちず 設置済み (実績設置済み)	せっちず 設置済み	せっちず 設置済み
59	ちいき そうだんしえんたいせい きょうか 地域の相談支援体制の強化 せんもんてき しどう じよげん ・専門的な指導・助言	400件 (実績401件)	440件 (実績1,483件)	480件 (実績1,025件)	840件 (実績1,255件)	840件	840件
59	ちいき そうだんしえん じぎょうしゃ 地域の相談支援事業者の じんざいいくせい じっし 人材育成の実施	72回 (実績73回)	72回 (実績75回)	72回 (実績71回)	72回 (実績71回)	72回	72回
59	ちいき そうだんきかん れんけい 地域の相談機関との連携 きょうか とりくみ 強化の取組	36回 (実績103回)	36回 (実績158回)	36回 (実績105回)	130回 (実績140回)	130回	130回
59	こべつじれい けんとう つう ちいき 個別事例の検討を通じた地域 サービス基盤の開発・改善等 おこな とりくみ おこな を行う取組を行うために	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	せっちず 設置済み (実績設置済み)	せっちず 設置済み	せっちず 設置済み

	ひつよう きょうぎかい じりつしえんきょう 必要な協議会(自立支援協 ぎかい せっち 議会)の設置						
59	しょうがい しゅべつ かくしゅ 障害の種別や各種のニーズ たいおう そうごうてき せんもんてき に対応できる総合的・専門的 そうだんしえん な相談支援	48,000 ^{けん} 件 じっせき (実績59,109 けん) けん)	49,000 ^{けん} 件 じっせき (実績55,022 けん) けん)	50,000 ^{けん} 件 じっせき (実績52,234 けん) けん)	55,000 ^{けん} 件 じっせき (実績54,905 ^{けん} 件) けん)	55,000 ^{けん} 件 けん)	55,000 ^{けん} 件 けん)
59	けいかくそうだんしえんりようしやすう 計画相談支援利用者数 ねんかん (年間)	16,322 ^{にん} 人 じっせき (実績14,235 にん) にん)	18,805 ^{にん} 人 じっせき (実績15,086 ^{にん} 人) にん)	21,453 ^{にん} 人 じっせき (実績15,624 ^{にん} 人) にん)	19,860 ^{にん} 人 じっせき (実績16,228 ^{にん} 人) にん)	22,485 ^{にん} 人 にん)	25,279 ^{にん} 人 にん)
60	はったつしょうがいしやしえんちいききょうぎかい 発達障害者支援地域協議会 かいさいけんすう の開催件数	3 ^{けん} 件 じっせき (実績1 ^{けん} 件) けん)	3 ^{けん} 件 じっせき (実績2 ^{けん} 件) けん)	3 ^{けん} 件 じっせき (実績2 ^{けん} 件) けん)	3 ^{けん} 件 じっせき (実績2 ^{けん} 件) けん)	3 ^{けん} 件 けん)	3 ^{けん} 件 けん)
60	はったつしょうがいしやしえん 発達障害者支援センターによ そうだんけんすう がくれいこうきしょうがいじ る相談件数(学齢後期障害児 しえんじぎょうぶん のぞ 支援事業分を除く)	3,500 ^{けん} 件 じっせき (実績1,528 ^{けん} 件) けん)	3,500 ^{けん} 件 じっせき (実績1,688 ^{けん} 件) けん)	3,500 ^{けん} 件 じっせき (実績1,893 ^{けん} 件) けん)	3,500 ^{けん} 件 じっせき (実績2,291 ^{けん} 件) けん)	3,500 ^{けん} 件 けん)	3,500 ^{けん} 件 けん)

60	<p>はったつしょうがいしゃしえん およ 発達障害者支援センター及び</p> <p>はったつしょうがいしゃちいきしえん 発達障害者地域支援マネジャ</p> <p>がいぶきかん ちいきじゅうみん 一の外部機関や地域住民へ</p> <p>けんしゅう けいはつ がくれいこうき の研修、啓発(学齢後期</p> <p>しょうがいじしえんじぎょうぶんのぞ 障害児支援事業分を除く)</p>	<p>55<small>けん</small>件</p> <p>じっせき <small>けん</small> (実績41件)</p>	<p>55<small>けん</small>件</p> <p>じっせき <small>けん</small> (実績43件)</p>	<p>55<small>けん</small>件</p> <p>じっせき <small>けん</small> (実績40件)</p>	<p>55<small>けん</small>件</p> <p>じっせき <small>けん</small> (実績26件)</p>	<p>55<small>けん</small>件</p>	<p>55<small>けん</small>件</p>
60	<p>いりょうてき じしやとう たい 医療的ケア児・者等に対する</p> <p>かんれんぶんや しえん ちょうせい 関連分野の支援を調整する</p> <p>はいち コーディネーターの配置</p>	<p>6<small>にん</small>人</p> <p>じっせき <small>にん</small> (実績6人)</p>	<p>6<small>にん</small>人</p> <p>じっせき <small>にん</small> (実績6人)</p>	<p>6<small>にん</small>人</p> <p>じっせき <small>にん</small> (実績10人)</p>	<p>10<small>にん</small>人</p> <p>じっせき <small>にん</small> (実績8人)</p>	<p>12<small>にん</small>人</p>	<p>12<small>にん</small>人</p>

生活の場面1 住む・暮らす 1-1 住まい

(1) 障害状況に合わせた住まいの選択肢の充実

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
68	民間住宅入居の促進	障害者が民間賃貸住宅への入居をしやすい仕組みとして「住宅セーフティネット制度」を活用していきます。 また、障害者等の住宅確保要配慮者の居住支援を充実させるため、横浜市居住支援協議会と不動産事業者や福祉支援団体、区局の連携	○	横浜市居住支援協議会と福祉支援団体が中心となって、障害者の住まい探しを考える勉強会を実施しました。	引き続き居住支援協議会を通じて、不動産事業者への障害理解の推進と福祉支援者との関係づくりを進めます。

		<p>きょうか せいど けんとう すす を強化する制度の検討を進 めます。</p>			
68	<p>サポートホーム 事業</p>	<p>はったつしょうがい にゆうきょしゃ たい 発達障害のある入居者に対 し、ちいきせいかつ む じゅんび 地域生活に向けた準備の ため、せいかつめん 生活面のアセスメント と支援を実施する「サポート ホーム」の効果を検証すると ともに、しえんほうほう ちいき 支援方法を地域の じぎょうしょとう かくだい 事業所等へ拡大させていき ます。</p>	○	<p>アセスメントツールの運用を継続し、 はったつしょうがい かた せいかつしえんおよ 発達障害のある方の生活支援及び ちいきいこう む しえん おこな 地域移行に向けた支援を行いました。 また、しえんほうほう ちいき じぎょうしょとう 支援方法を地域の事業所等へ かくだい しないしえんしゃ む 拡大させるため、市内支援者向けに けんしゅう おこな さんかしゃ めい 研修を行いました(参加者41名)。</p>	<p>ひ つづ つか 引き続き、これまでに培っ たしえんしゅほう ちいき じぎょうしょ 支援手法が地域の事業所 とう かくだい とりくみ 等に拡大されるよう、取組 すいしん を推進していきます。</p>
69	<p>しょうがいじしせつ 障害児施設の さいせいび 再整備</p>	<p>ろうきゅうか すす しょうがいじ 老朽化が進んでいる障害児 にゆうしょせつ さいせいび すす 入所施設の再整備を進めま す。</p>	○	<p>さいせいび ほうしん くだい せいり おこな 再整備の方針や課題の整理を行うた め、ちようせい おこな めの調整を行いました。</p>	<p>ひ つづ うんえいほうじん れんけい 引き続き運営法人と連携を と さいせいび すす 取りながら再整備を進めま す。</p>

<p>69</p>	<p>まつかぜがくえんさいせいび 松風学園再整備 じぎょう 事業</p>	<p>にゅうきよしゃ きよじゅうかんきょうかいぜん 入居者の居住環境改善のため、 こしつ かとう すす 個室化等を進めます。また、 どうえんしきち いちぶ かつよう 同園敷地の一部を活用して みんせつしんにゆうしょしせつ せいび 民設新入所施設を整備します。 ちゅうかんき こしつ かとう きよじゅう ・中間期：個室化等の居住 かんきょう せつび かいぜんおよ みんせつ 環境や設備の改善及び民設 しんにゆうしょしせつ こうじじっし 新入所施設の工事实施 けいかくきかんちゅう こしつ かとう ・計画期間中：個室化等の きよじゅうかんきょう せつび かいぜんおよ 居住環境や設備の改善及び みんせつしんにゆうしょしせつ こうじじっし 民設新入所施設の工事实施 かんりよう 完了</p>	<p>○</p>	<p>につちゅうかつどうとうしんせつこうじ たいいくとうとくてい 日中活動棟新設工事と体育棟特定 てんじょうかいしゅうこうじ かんりよう 天井改修工事を完了しました。また、 えーとうかいしゅうこうじ ちゃくしゅ A棟改修工事に着手しています。</p>	<p>えーとうかいしゅうこうじ かんりよう A棟改修工事を完了します。 す。</p>
-----------	---	--	----------	---	--

69	しょうがいふくししせつとう 障害福祉施設等 で働く看護師の 支援 【再掲】	しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ていちゃく む しえん 看護師の定着に向けた支援 おこな じんざいかくほ を行うとともに、人材確保の ほうさく けんどう 方策について検討します。	○	しょうがいふくししせつ はたら かんごしどう しょういん 障害福祉施設で働く看護師等の職員 む こうくうきのうかんり たしよくしゆれんけい 向けに、口腔機能管理や他職種連携を テーマとした研修を実施しました。ま た、しかいしがかくしせつ ほうもん た、歯科医師が各施設を訪問し、 ぎじゆつてき じよげん しどう あわ 技術的な助言・指導をしました。併せ て、きゆうしよくちゆう かんごし たいしやう しょうがい 求職中の看護師を対象に、障害 ふくししせつ けんがくかい じっし しせつ はたら 福祉施設の見学会を実施し、施設で働 くことの魅力 ^{みりよく} を ^{つた} 伝えました。	ひ つづ しょうがいふくししせつ 引き続き障害福祉施設で はたら かんごし どうむ けんしゆう 働く看護師等向けに、研修 や巡回訪問による助言・ 指導 ^{じゆんかいほうもん} を ^{じよげん} 継続します。また、 指導 ^{しだおう} を ^{けいぞく} 継続します。また、 施設見学会 ^{しせつけんがっかい} を実施し、 各施設での雇 用 ^{よう} につな ^{しえん} がるよう支援しま す。
----	---	--	---	---	--

さっし 冊子ページ 数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
70	きやうどうせいかつえんじよ 共同生活援助 (グループホーム) りやうしゃすう しんせつていいんすう ねん 利用者数(新設定員数/年)	200人 (実績 ^{じっせき} 221人)	200人 (実績 ^{じっせき} 263人)	200人 (実績 ^{じっせき} 264人)	200人 (実績 ^{じっせき} 238人)	200人	200人

70	きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助(グループホーム) りようしゃすう りようにんずう ねん 利用者数(利用人数/年)	5,000人 (実績5,164人)	5,200人 (実績5,452人)	5,400人 (実績5,652人)	5,800人 (実績5,997人)	6,000人	6,200人
70	きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助(グループホーム) りようしゃすう りようにんずう ねん 利用者数(利用人数/年) うち、じゅうどしやうがいしや うち、重度障害者	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	1,288人 (実績1,386人)	1,407人	1,538人
70	しせつにゆうしよしえん 施設入所支援 りようにんずう つき (利用人数/月)	1,426人 (実績1,385人)	1,420人 (実績1,364人)	1,414人 (実績1,380人)	1,330人 (実績1,356人)	1,313人	1,295人
70	ふくしがたしやうがいじにゆうしよしえん 福祉型障害児入所支援 りようじどうすう つき (利用児童数/月)	190人 (実績160人)	190人 (実績158人)	190人 (実績152人)	190人 (実績147人)	190人	190人
71	いりやうがたしやうがいじにゆうしよしえん 医療型障害児入所支援 りようじどうすう つき (利用児童数/月)	90人 (実績77人)	90人 (実績83人)	90人 (実績77人)	98人 (実績68人)	98人	98人
71	しやうがいじにゆうしよしせつ 障害児入所施設における18歳以上の入所者数	0人 (実績13人)	0人 (実績7人)	0人 (実績0人)	0人 (実績0人)	0人	0人

71	しゅくはくがたじりつくんれん りようにんずう 宿泊型自立訓練(利用人数/ つき月)	87人分 じっせき にんぶん (実績65人分)	87人分 じっせき にんぶん (実績62人分)	87人分 じっせき にんぶん (実績70人分)	87人分 じっせき にんぶん (実績67人分)	87人分 じっせき にんぶん	87人分 じっせき にんぶん
		2,364人日 じっせき にん (実績1,709人 ひ)	2,364人日 じっせき にん (実績1,647人 ひ)	2,364人日 じっせき にん (実績1,916人 ひ)	2,364人日 じっせき にん (実績1,788人 ひ)	2,364人日 じっせき にん	2,364人日 じっせき にん
71	りょうようかいご りようにんずう つき 療養介護(利用人数/月)	279人 じっせき にん (実績283人)	279人 じっせき にん (実績308人)	284人 じっせき にん (実績308人)	308人 じっせき にん (実績309人)	308人 じっせき にん	308人 じっせき にん

(2) 高齢化・重度化を踏まえた住まいの構築

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
74	身体障害者・ 高齢者の住宅 改造及び模様替 え	市営住宅に入居している 障害者等の要望に対し、トイレや浴室への手すりの取付けなどの住宅改造を実施します。	○	令和6年度実績住宅改造14件 (障害者対応9件・高齢者対応5件) 模様替承認79件	現行の仕組みでの対応を維持していきます。
74	高齢化・重度化 対応のグループ ホームの検討・ 拡充	現在、実施している高齢化・ 重度化対応グループホーム 事業を踏まえ、持続的に実現 可能な制度の検討を行って いきます。今後も進んでいく ことが見込まれる障害者の	○	事業者や関係団体と協議を行い、 利用者のニーズを踏まえたグループホームの設置の仕組みを検討しました。	引き続き、事業者や関係 団体と協議のうえ、重度化・ 高齢化対応のグループホームの設置について検討していきます。

		<p>こうれいか じゅうどか たいおう 高齡化・重度化に対応してい</p> <p>くため、こうれいか じゅうどか たいおう 高齡化・重度化対応</p> <p>グループホームをかくじゅう 拡充して</p> <p>いきます。</p> <p>また、きょうどこうどうしょうがいおよ 強度行動障害及び</p> <p>いりょうてき ひつよう かたとう 医療的ケアを必要とする方等</p> <p>にもたいおう に対応したグループホーム</p> <p>について、じゅうじつ む けんとう 充実に向けた検討</p> <p>すす を進めていきます。</p>			
75	<p>こうれいか じゅうどか 高齡化・重度化</p> <p>たいおう 対応バリアフリー</p> <p>かいしゅうじぎょう 改修事業</p>	<p>グループホームをりよう 利用する</p> <p>しょうがいしゃ こうれい 障害者が高齡になり、それに</p> <p>ともな しんたいきのう ていかとう 伴う身体機能の低下等によ</p> <p>り、じゅうらい 従来のホームの設備で</p> <p>せいかつ 生活することがこんなん 困難となる</p>	△	<p>3ホームにエレベーターやスロープ等を 設置しました。</p>	<p>ひきつづき、バリアフリー等 改修に係る経費の補助を 行い、制度の利用周知をすす めていきます。</p>

		<p>ばあい きょじゅう 場合でも、居住しているホー</p> <p>あんしん せいかつ つづ ムで安心して生活し続けるこ</p> <p>とができるよう、バリアフリー</p> <p>とうかいしゅう かか けいひ ほじょ 等改修に係る経費を補助し</p> <p>ます。</p>		
--	--	--	--	--

せいかつ ばめん す く らす 1-2 く らし
 生活の場面1 住む・暮らす 1-2 暮らし

ちいき せいかつ ささ しく じゅうじつ
 (1)地域での生活を支える仕組みの充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かえ 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
77	しょうがいしゃちいきかつどう 障害者地域活動 じぎょう ホーム事業	ざいたく しょうがいじ しゃ かぞく 在宅の障害児・者とその家族 ちいきせいかつ しえん きよてん の地域生活を支援する拠点 しせつ よこはまし どくじ 施設として、横浜市が独自に せっち おも 設置しているものです。主な サービスとして、生活介護や ちいきかつどうしえん じぎょう 地域活動支援センター事業デ がたどう にちゅうかつどう イサービス型等の日中活動 のほか、ショートステイや一時 とう せいかつしえんじぎょう ケア等の生活支援事業を じっし しせつ き ぼとう 実施しています。施設規模等	○	かつどう れんらくかいとう ば 活動ホーム連絡会等の場において、 どくじ とりくみ げんば かだい きょうゆう 独自の取組や現場の課題を共有し、 ちいきせいかつしえんきよてん なか やくわり 地域生活支援拠点の中での役割の めいかくか しせつうんえい かた 明確化や、施設運営のあり方について いけんこうかん しせつかん れんけい 意見交換を行うなど、施設間の連携を きょうか 強化しました。 あわ しょうがいしゃ い しけていしえん 併せて、障害者の意思決定支援につい ぐたいてき とりくみ きょうゆう いけんこうかん て、具体的な取組の共有や意見交換を おこな しえん しつ こうじょう はか 行い、支援の質の向上を図りました。	ひ つづ かつどう れんらくかい 引き続き活動ホーム連絡会 とう ば げんば 等の場において、現場の かだい きょうゆう しせつ 課題を共有し、施設として うんえい かた の運営のあり方について いけんこうかん おこな しえん しつ 意見交換を行い、支援の質 こうじょう しせつかん れんけい きょう 向上や施設間の連携を強 か 化していきます。 あわ 併せて、ショートステイや いちじ とう せいかつしえんじぎょう 一時ケア等の生活支援事業

		<p>により、社会福祉法人型地活ホームと機能強化型地活ホームの2種類に分類されています。</p>			<p>の充実を図ってまいります。</p>
78	<p>精神障害者生活支援センター 事業</p>	<p>統合失調症をはじめとした精神障害者の社会復帰、自立及び社会参加を支援するため各区に1か所設置している精神障害者の地域生活支援における本市の拠点施設です。</p> <p>精神保健福祉士を配置し、日常生活に関する相談や助言、情報提供のほか、</p>	○	<p>令和6年度は各生活支援センターの所長で構成する会議を年5回行い、日々の運営に関する課題を共有し、解決策を一緒に考えました。</p> <p>また、職員で構成する会議も4回開催し、職員が抱える現場の課題を共有し、グループワーク等を通じて課題解決に向けた意見を出し合いました。</p> <p>令和6年度も1回は、基幹相談支援セン</p>	<p>引き続き各生活支援センターとの意見交換を通じて課題を抽出し、課題解決に向けた取り組みを考える検討会や会議を行い、連携を強化していきます。</p> <p>併せて、生活支援センター事業の充実を図ってまいります。</p>

		<p>せんもんい せうだん せいかつ 専門医による相談や生活</p> <p>いじ 維持のためのサービス</p> <p>しょくじ にゅうよく せんたくとう どう てい (食事、入浴、洗濯等)等を提</p> <p>きょう 供しています。区や基幹相談</p> <p>しえん 支援センターとともに、本市</p> <p>ちいきせいかつしえんきよてん の「地域生活支援拠点」や</p> <p>せいしんしょうがい たいおう ちいき 「精神障害にも対応した地域</p> <p>ほうかつ 包括ケアシステム」の中核に</p> <p>いあづ 位置付けられています。</p>		<p>ごうどう かいさい かんけいきかん ターと合同で開催し、関係機関との</p> <p>れんけい きょうか 連携を強化しました。</p>	
79	<p>たきのうがたきよてん 多機能型拠点の</p> <p>せいび うんえい 整備・運営</p>	<p>つね いりようてき ひつよう 常に医療的ケアを必要とする</p> <p>じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃとう 重症心身障害児・者等とそ</p> <p>かぞく ちいきせいかつ しえん の家族の地域生活を支援す</p> <p>そうだんしえん たんき るため、相談支援、短期</p> <p>にゅうしょ せいかつ かいご しんりょう ほうもん 入所、生活介護、診療、訪問</p>	○	<p>しない かんめ ほくとうがほうめんたきのうがた 市内4館目となる北東部方面多機能型</p> <p>きよてん 拠点「び・すけつと菊名」が令和6年4月</p> <p>かいしょ に開所しました。</p>	<p>しない かんめ ちゅうおうぶ 市内5館目となる中央部</p> <p>ほうめんたきのうがたきよてん かしよう 方面多機能型拠点(仮称)の</p> <p>れいわ ねんど かいしょ む 令和10年度の開所に向け</p> <p>れいわ ねんどちゆう うんえいほうじん て、令和7年度中に運営法人</p> <p>けつてい きほんせつけい ちゃくしゅ を決定し、基本設計に着手</p>

		<p>かんご きょたくかいご 看護や居宅介護などを</p> <p>いったいてき ていきょう たきのうがた 一体的に提供する多機能型</p> <p>きょてん せいび しな い ほうめん すす 拠点の整備を市内6方面に進 めます。</p>			<p>します。</p> <p>のこ かん せいび 残り1館の整備についても、</p> <p>ひ つづ せいびようち かくほ 引き続き、整備用地の確保・</p> <p>そうき せいび すす しな い 早期の整備を進め、市内6</p> <p>かん せいびかんりよう め ざ 館の整備完了を目指してい</p> <p>きます。あわ うんえい かか ます。併せて、運営に係る</p> <p>かだいかけつ む とりくみ すす 課題解決に向けた取組を進 めます。</p>
79	<p>こうどうしょうがい 行動障害のある</p> <p>かた ちいきいこう 方の地域移行や</p> <p>ちいきせいかつ ささ 地域生活を支え</p> <p>る仕組みづくり</p>	<p>こうどうしょうがい かた ひつよう 行動障害のある方に必要と</p> <p>されるしえんたいせい とく される支援体制について、特</p> <p>ちいきいこう ちいきせいかつ ささ に地域移行や地域生活を支</p> <p>えるきのう けんどう すす える機能の検討を進めます。</p>	○	<p>れいわ ねんどほうしゅうかいてい そうせつ きょう 令和6年度報酬改定で創設された強</p> <p>どこうどうしょうがい かた しゅうちゅうてきしえん 度行動障害のある方の集中的支援</p> <p>せんもんか およ かんきょう (専門家によるアセスメント及び環境</p> <p>ちようせいとう けんどう 調整等)について、検討しました。</p>	<p>きょうどこうどうしょうがい かた 強度行動障害のある方の</p> <p>ちいき しえんたいせいこうちく む 地域での支援体制構築に向</p> <p>けて、ひ つづ けんどう すす 引き続き検討を進め</p> <p>ます。</p>
79	<p>ちいきしえん 地域支援マネジ</p> <p>ャーによる障害</p> <p>ふくしサービス</p>	<p>はつたつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センターに</p> <p>ちいきしえん はいち 「地域支援マネジャー」を配置</p> <p>しょうがいふくし じぎょうしょ し、障害福祉サービス事業所</p>	○	<p>ちいきしえん しょうがい 「地域支援マネジャー」による、障害</p> <p>ふくし じぎょうしょどう たい こうどう 福祉サービス事業所等に対する、行動</p>	<p>ちいきしえん 「地域支援マネジャー」によ</p> <p>る、しょうがいふくし 障害福祉サービス</p> <p>じぎょうしょどう たい こうどう 事業所等に対する、行動</p>

	<p>じぎょうしょうとう 事業所等への</p> <p>しえん 支援</p>	<p>どう たい こうどうしょうがい はったつ 等に対し、行動障害・発達</p> <p>しょうがい かか 障害に係るコンサルテーショ</p> <p>んを ンを実施します。</p>		<p>しょうがい はったつしょうがい かか 障害・発達障害に係るコンサルテーシ</p> <p>ョンを ョンを実施しました。</p>	<p>しょうがい はったつしょうがい かか 障害・発達障害に係るコン</p> <p>サルテーシ サルテーションを実施しま</p> <p>す。</p>
<p>80</p>	<p>ちいきせいかつしえん 地域生活支援</p> <p>きよてんきのう じゅうじつ 拠点機能の充実</p>	<p>しょうがい かた こうれい か 障害のある方の高齢化・</p> <p>じゅうどか おや あと そな 重度化、親なき後に備えると</p> <p>ともに、ちいきいこう すす ともに、地域移行を進めるた</p> <p>め、きかんそうだんしえん め、基幹相談支援センター・</p> <p>せいかつしえん くふくし 生活支援センター・区福祉</p> <p>ほけん きかんいつたい 保健センターの3機関一体の</p> <p>うんえい ちいき 運営により、地域のあらゆる</p> <p>しゃかいしげん ゆうきてき 社会資源を有機的につなぐ</p> <p>ネットワーク型の拠点機能を ネットワーク型の拠点機能を</p> <p>せいび ちいき きょじゅうしえん 整備し、地域での居住支援</p> <p>きのう じゅうじつ はか 機能の充実を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>くいき けいぞく そうだん きんきゅうじ 区域では、継続して「相談」「緊急時の</p> <p>うけい たいおう たいけん きかい ば ていきょう 受入れ・対応」「体験の機会・場の提供」</p> <p>せんもんてきじんざい いくせい かくほ ちいき たい 「専門的人材の育成・確保」「地域の体</p> <p>せい かくきのう じゅうじつ む 制づくり」の各機能の充実に向けた</p> <p>とりくみ すす しいき 取組を進めました。また市域では、</p> <p>ちいきせいかつしえん きよてんけんどうぶかい かい 「地域生活支援拠点検討部会」を2回</p> <p>かいさい しょうらいぞう たっせい 開催し、将来像を達成するための</p> <p>くたいてき かつどうないよう きょうゆう おこな 具体的な活動内容の共有を行いました。</p>	<p>きかんそうだんしえん せいかつ 基幹相談支援センター・生活</p> <p>しえん くやくしょ 支援センター・区役所の3</p> <p>きかん ちゅうしん ちいきせいかつ 機関を中心に、地域生活</p> <p>しえんきよてん かん しゅうち おこな 支援拠点に関する周知を行</p> <p>います。また、ちいき います。また、地域ケアプラ</p> <p>ザとのれんけい きょうか そうだん ザとの連携を強化し、相談し</p> <p>やすいちいき やすい地域のネットワークを</p> <p>ととの きよてんきのう さら ととの整備、拠点機能の更なる</p> <p>じゅうじつ はか 充実を図ります。</p>

せいしんしょうがい
精神障害にも
たいおう ちいき
対応した地域
ほうかつ
包括ケアシステ
ムこうちくの構築

せいしんしょうがい かた せいかつ
精神障害のある方の生活の
ちいき ささ
しづらさを地域で支えていく
いりよう ほけん ふくし れんけい
ため、医療・保健・福祉の連携
もと かくくふくしほけん
の下、各区福祉保健センタ
せいかつしえん きかん
一、生活支援センター、基幹
そうだんしえん かく
相談支援センターを核とした
きょうぎ ば かんけいしゃ
「協議の場」において関係者・
かんけいきかん きょうつう にんしき なか
関係機関が共通の認識の中
かだいかいけつ む とりくみ
で課題解決に向けた取組の
けんとう じっし
検討と実施をしていきます。
ちいき かだい たい
また、地域ごとの課題に対し
とくせい ふ たいおう
て特性を踏まえた対応がで
きるよう、これまでの社会
しげん じゅうぶん かつよう
資源を十分に活用しながら、

ひきつづ かくくふくしほけん せいかつ
引続き、各区福祉保健センター、生活
しえん およ きかんそうだんしえん
支援センター及び基幹相談支援センタ
かく きょうぎ ば く
一を核とした「協議の場」において、区
ちいきかだい せいり かだい たい
ごとの地域課題を整理し、課題に対す
とりくみけいかく せってい ふきゅうけいはつ しえん
る取組計画を設定し、普及啓発や支援
しゃ む けんしゅう おこな
者向け研修などを行っています。
しいき とりくみ れいわ ねんど
また、市域の取組として令和5年度か
ちいきせいかつしえん しょくいんとう
ら地域生活支援センターの職員等を
たいしょう せいしんしょうがいしゃ
対象とした「精神障害者ピアスタッフ
すいしんじぎょう じっし れいわ
推進事業」を実施しています。令和6
ねんど かながわけんとう きょうどう しょうがい
年度からは神奈川県等と共同で障害
ふくし じぎょうじよ しょぞく
福祉サービス事業所に所属しているピ
あさぽーターや管理者等を対象に「ピ

これまでの区域、市域の
とりくみ こうかけんしょう
取組について、効果検証を
おこな とりくみ すす
行いながら取組を進めてい
きます。
せいしんほけんふくしほうかいせい
また、精神保健福祉法改正
ともな せいしんかびょういん
に伴い、精神科病院に
にゅういん かんじゃ けんりょうご
入院する患者の権利擁護、
い しひょうめいしえん もくてき
意思表示支援などを目的と
にゅういんしゃほうもんしえんじぎょう
する入院者訪問支援事業を
あら かいし じっし
新たに開始します。実施にあ
たっては、「精神障害者ピア
すいしん にゅういんしゃほうもん
スタッフ推進・入院者訪問
しえんじぎょう いったいてき
支援事業」として一体的に
じぎょう じっし
事業を実施することでピア
スタッフらの活躍かつやくの場の

		<p>ネットワーク機能の見直しや <small>あら</small>新たなつながりを構築してい <small>きのう みなお</small>きます。 <small>とりにくみ</small>※この取組のため、<small>せいしん</small>精神 <small>しょうがいしゃ しょうがいふくし</small>障害者の障害福祉サービス <small>りょうじょうきょう はあく きばん</small>の利用状況を把握し、基盤 <small>せいび かふそくとう</small>整備の過不足等について <small>はあく</small>把握するため、<small>いか じこう</small>以下の事項に <small>かつどうしひょう</small>ついて、活動指標として設定 <small>せってい</small>します。</p>		<p>アサポート研修」を実施するなど取組 <small>すす</small>を進めています。</p>	<p>拡大、入院患者の孤独感の <small>ていげん</small>低減などに繋がるよう取組 <small>とりにく</small>みます。</p>
--	--	--	--	---	---

●せいしんしょうがい精神障害にも対応したたいおう地域包括ケアシステムちいきほうかつの構築こうちく

<small>さっし</small> 冊子ページ <small>すう</small> 数	<small>しひょうめい</small> 指標名	<small>れいわ ねんど</small> 令和3年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和4年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和5年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和6年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和7年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和8年度
82	<small>きょうどうせいかつえんじょ りようしゃすう</small> 共同生活援助の利用者数 <small>せいしんしょうがい</small> (精神障害)	959人 <small>じっせき</small> (実績1,018人)	997人 <small>じっせき</small> (実績1,061人)	1,035人 <small>じっせき</small> (実績1,100人)	1,129人 <small>じっせき</small> (実績1,257人)	1,168人	1,207人
82	<small>ちいきいこうしえん りようしゃすう</small> 地域移行支援の利用者数 <small>せいしんしょうがい</small> (精神障害)	108人/年 <small>じっせき</small> (実績63人/年)	120人/年 <small>じっせき</small> (実績89人/年)	132人/年 <small>じっせき</small> (実績95人/年)	132人/年 <small>じっせき</small> (実績90人/年)	132人/年	132人/年
82	<small>ちいきでいちやくしえんりようしゃすう</small> 地域定着支援利用者数 <small>せいしんしょうがい</small> (精神障害)	480人/年 <small>じっせき</small> (実績405人/年)	576人/年 <small>じっせき</small> (実績394人/年)	672人/年 <small>じっせき</small> (実績456人/年)	672人/年 <small>じっせき</small> (実績422人/年)	672人/年	672人/年

82	じりつせいかつえんじよりようしゃすう 自立生活援助利用者数 (せいしんしょうがい 精神障害)	60人/年 (じっせき 実績51人/ 年)	75人/年 (じっせき 実績46人/年)	90人/年 (じっせき 実績39人/年)	90人/年 (じっせき 実績35人/年)	90人/年 (じっせき 実績35人/年)	90人/年
82	じりつくんれん せいかつくんれん 自立訓練(生活訓練) りようしゃすう せいしんしょうがい 利用者数(精神障害)	- (じっせき 実績-)	- (じっせき 実績-)	- (じっせき 実績-)	232人 (じっせき 実績338人)	243人	253人
82	じりつせいかつ 自立生活アシスタント りようしゃすう せいしんしょうがい 利用者数(精神障害)	323人/年 (じっせき 実績376人/ 年)	323人/年 (じっせき 実績355人/ 年)	323人/年 (じっせき 実績355人/ 年)	370人/年 (じっせき 実績380人/ 年)	385人/年	400人/年
82	せいしんしょうがいしゃたいいん じぎょう 精神障害者退院サポート事業 りようしゃ 利用者	180人/年 (じっせき 実績180人/ 年)	180人/年 (じっせき 実績189人/ 年)	180人/年 (じっせき 実績190人/ 年)	190人/年 (じっせき 実績213人/ 年)	200人/年	210人/年

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
83	精神障害者の 家族支援事業	精神障害者とその家族が適切な関係を保つため、緊急滞在場所を準備するとともに、家族が精神疾患について理解を深める機会を提供します。	○	精神障害者とその家族が適切な関係を保てるよう緊急滞在場所を準備しました。また学習会を実施し、家族が精神疾患についての理解を深める機会を提供しました。	引き続き、精神障害者とその家族が適切な関係を保つため、緊急滞在場所を準備するとともに、家族が精神疾患について理解を深める機会を提供します。
83	医療的ケア児・者等の支援のための 関係機関の 協議の場の開催	医療的ケア児・者等への地域における更なる支援の充実に向けて、保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関が連携を図るため、横浜市医療的ケア児・者等	○	横浜市医療的ケア児・者等支援検討委員会を8月及び令和7年2月の2回開催し、情報共有や意見交換を行いました。	横浜市医療的ケア児・者等支援検討委員会について、第1回を8月頃、第2回を令和8年2月頃に開催予定です。

		<p>しえんけんとういんかい 支援検討委員会において、</p> <p>かだいきょうゆう いけんこうかん たいおうさく 課題共有、意見交換、対応策</p> <p>とう けんとう おこな 等の検討を行います。</p>			
83	<p>いりょうてき じ しや 医療的ケア児・者</p> <p>とうしえんしゃようせい 等支援者養成</p>	<p>うけいれたいせい じゅうじつ はか 受入体制の充実を図るた</p> <p>しよぞく しせつ じぎょうしよとう め、所属する施設・事業所等</p> <p>いりょうてき じ しや において、医療的ケア児・者</p> <p>とう うけい せつきよくてき おこな 等の受入れを積極的に行え</p> <p>しえん ひつよう ちしき るよう、支援に必要な知識・</p> <p>ぎじゆつ ふきゆうけいはつ おこな 技術の普及啓発を行う</p> <p>しえんしゃ ようせい 支援者を養成します。</p>	○	<p>がつ がつ いりょうてき じ しやとう 5月から12月まで医療的ケア児・者等</p> <p>しえんしゃようせいけんしゅう じっし にん 支援者養成研修を実施し、64人の</p> <p>よこはまがたいりょうてき じ しやとうしえんしゃ 横浜型医療的ケア児・者等支援者を</p> <p>ようせい 養成しました。</p>	<p>がつ がつ いりょうてき 5月から12月まで医療的ケ</p> <p>じ しやとうしえんしゃようせいけんしゅう ア児・者等支援者養成研修</p> <p>じっし にんていど を実施します。50人程度を</p> <p>ようせいやてい 養成予定です。</p>

<p>83</p>	<p>メディカルショートステイ事業</p>	<p>医療的ケアが必要な重症 心身障害児・者等を、在宅で 介護する家族の負担軽減と 在宅生活の安定を目的とし て、一時的に在宅生活が困難 となった場合などに、病院で の受け入れを実施します。</p>	<p>○</p>	<p>令和6年度は127件の利用がありました。協力医療機関の医療スタッフ向けの研修を8月から11月にかけて3回実施しました。また、医師、看護師及び医療ソーシャルワーカーとの合同会議を7月に実施、看護師及び医療ソーシャルワーカーとの実務者会議を令和7年1月に実施し、利用者の受入に関する情報共有や意見交換を行いました。</p>	<p>引き続き事業を実施していくとともに、協力医療機関との円滑な事業運営を図ります。</p>
-----------	-----------------------	---	----------	--	--

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
84	ちいきせいかつしえんきよてん せいび 地域生活支援拠点の整備	ぜんくじっし 全区実施 じっせきぜんくじっし (実績全区実施)	ぜんくじっし 全区実施 じっせきぜんくじっし (実績全区実施)	ぜんくじっし 全区実施 じっせきぜんくじっし (実績全区実施)	ぜんくじっし 全区実施 じっせきぜんくじっし (実績全区実施)	ぜんくじっし 全区実施	ぜんくじっし 全区実施
84	ちいきせいかつしえんきよてんとう きのう 地域生活支援拠点等の機能 じゅうじつ の充実のためのコーディネー ターのはいちにんずう 配置人数	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	18人 じっせき (実績18人)	18人	18人
84	しえん 支援ネットワーク等による こうかてき しえんたいせい こうちく 効果的な支援体制の構築の うむ 有無	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	こうちくず 構築済み じっせきこうちくず (実績構築済み)	こうちくず 構築済み	こうちくず 構築済み
84	きんきゆうじ れんらくたいせい こうちく 緊急時の連絡体制の構築の うむ 有無	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	こうちくず 構築済み じっせきこうちくず (実績構築済み)	こうちくず 構築済み	こうちくず 構築済み

84	ちいきせいかつしえんきよてん ゆう 地域生活支援拠点が有する きのう じゅうじつ む けんしやうおよ 機能の充実に向けた検証及 けんとう じっしかいすう び検討の実施回数	かい 1回 じっせき かい (実績2回)	かい 1回 じっせき かい (実績2回)	かい 1回 じっせき かい (実績1回)	かい 1回 じっせき かい (実績2回)	かい 1回	かい 1回
85	せいしんしやうがい たいおう ちいき 精神障害にも対応した地域 ほうかつ 包括ケアシステム ほけん いりやうおよ ふくしかんけいしや ・保健、医療及び福祉関係者 きやうぎ ば かいさいかいすう による協議の場の開催回数	かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域) じっせき かい しいき (実績2回(市域)) ていき くいき 定期(区域))	かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域) じっせき かい しいき (実績3回(市域)) ていき くいき 定期(区域))	かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域) じっせき かい しいき (実績2回(市域)) ていき くいき 定期(区域))	かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域) じっせき かい しいき (実績2回(市域)) ていき くいき 定期(区域))	かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域)	かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域)
85	ほけん いりやうおよ ふくしかんけいしや ・保健、医療及び福祉関係者 もくひやうせつていおよ ひやうか による目標設定及び評価の じっしかいすう 実施回数	かい 1回 じっせき かい (実績1回)	かい 1回 じっせき かい (実績1回)	かい 1回 じっせき かい (実績1回)	かい 1回 じっせき かい (実績1回)	かい 1回	かい 1回
85	ほけん いりやうおよ ふくしかんけいしや ・保健、医療及び福祉関係者 きやうぎ ば さんかしゃすう による協議の場への参加者数	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	700人 じっせき (実績849人)	700人	700人

85	せいしんしょうがいしゃ せいしんびょうしょう ・精神障害者の精神病床か たいいんご ねんない ちいき ら退院後1年以内の地域にお へいきんせいかつにつすう ける平均生活日数	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	ちようきか 長期化 じっせきちようきか (実績長期化)	ちようきか 長期化	331.5日 ^{にち}
86	せいしんびょうしょう ・精神病床における1年以上 にゆういんかんじゃ わりあい 入院患者の割合	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	0.536 じっせき (実績0.516)	1	1
86	せいしんびょうしょう ・精神病床における早期 たいいんりつ 退院率	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	0.831 じっせき (実績0.816)	1	1
86	はったつしょうがいしゃしえん およ 発達障害者支援センター及び はったつしょうがいしゃちいきしえん 発達障害者地域支援マネジャ かんけいきかん じよげんけんすう 一の関係機関への助言件数 がくれいこうきしょうがいじしえんじぎょうぶん (学齢後期障害児支援事業分 のぞ を除く)	1,000件 ^{けん} (実績 じっせき 945件) ^{けん}	1,000件 ^{けん} (実績 じっせき 1,149件) ^{けん}	1,000件 ^{けん} (実績 じっせき 1,129件) ^{けん}	1,100件 ^{けん} (実績 じっせき 1,217件) ^{けん}	1,100件 ^{けん}	1,100件 ^{けん}

86	居宅介護(／月)	127,601時間 ぶん (実績135,648 じかんぶん 時間分)	129,642時間分 (実績136,113 じっせき 時間分)	131,716時間分 (実績138,954 じっせき 時間分)	141,612時間分 (実績138,969 じっせき 時間分)	144,444 じかんぶん 時間分	147,333 じかんぶん 時間分
		8,070人 (実績7,781人 じっせき にん)	8,417人 (実績8,048人 じっせき にん)	8,778人 (実績8,226人 じっせき にん)	8,521人 (実績8,446人 じっせき にん)	8,768人 にん	9,023人 にん
87	重度訪問介護(／月)	89,044時間分 (実績110,593 じっせき じかんぶん 時間分)	99,640時間分 (実績121,680 じっせき じかんぶん 時間分)	111,497時間分 (実績138,348 じっせき じかんぶん 時間分)	160,642時間分 (実績164,262 じっせき じかんぶん 時間分)	184,577 じかんぶん 時間分	212,079 じかんぶん 時間分
		544人 (実績578人 じっせき にん)	613人 (実績665人 じっせき にん)	691人 (実績730人 じっせき にん)	858人 (実績827人 じっせき にん)	974人 にん	1,107人 にん
87	同行援護(／月)	16,360時間分 (実績14,030 じっせき じかんぶん 時間分)	17,112時間分 (実績15,020 じっせき じかんぶん 時間分)	17,899時間分 (実績15,609 じっせき じかんぶん 時間分)	15,626時間分 (実績15,434 じっせき じかんぶん 時間分)	15,939 じかんぶん 時間分	16,258 じかんぶん 時間分

		856人 じっせき (実績745人)	894人 じっせき (実績793人)	934人 じっせき (実績816人)	851人 じっせき (実績834人)	881人	913人
88	こどうえんご 行動援護 (／月)	13,544時間分 じっせき (実績10,932 時間分)	15,792時間分 じっせき (実績13,249 時間分)	18,413時間分 じっせき (実績15,352 時間分)	18,447時間分 じっせき (実績18,016 時間分)	21,767 時間分	25,686 時間分
		855人 じっせき (実績586人)	1,072人 じっせき (実績681人)	1,344人 じっせき (実績782人)	976人 じっせき (実績901人)	1,170人	1,401人
88	たんきにゆうしょ ふくしがた 短期入所(福祉型)(／月) ※「重度障害者」とは、強度 こどうしょうがい こうじのうきのうしょうがい 行動障害や高次脳機能障害 ゆう しょうがいしゃ いりようてき を有する障害者、医療的ケア ひつよう ものとう あらわ を必要とする者等を表して います。	1,100人分 じっせき (実績705人分)	1,120人分 じっせき (実績764人分)	1,140人分 じっせき (実績941人分)	1,160人分 じゅうどしょうがいしゃ (うち重度障害者 348人分) じっせき (実績984人分)	1,180人分 じゅうど (うち重度 障害者354 人分)	1,200人分 じゅうど (うち重度 障害者360 人分)
		5,500人日 じっせき (実績4404人 日)	5,600人日 じっせき (実績4,788人 日)	5,700人日 じっせき (実績5,641人 日)	5,800人日 じっせき (実績6,033人 日)	5,900人日	6,000人日

88	短期入所(医療型)(/月)	400人分(実績)	410人分(実績)	420人分(実績)	430人分(実績)	440人分	450人分
		341人分)	358人分)	342人分)	351人分)		
89	日中一時支援(/月)	2,000人日	2,050人日	2,100人日	2,150人日	2,200人日	2,250人日
		(実績1,658人日)	(実績1,570人日)	(実績1,504人日)	(実績1,552人日)		
89	日中一時支援(/月)	240人分	240人分	240人分	470人分	470人分	470人分
		(実績292人分)	(実績316人分)	(実績188人分)	(実績200人分)		
89	日常生活用具給付・貸与(/年)	86,000件	86,000件	86,000件	90,000件	90,000件	90,000件
		(実績93,905件)	(実績90,520件)	(実績100,130件)	(実績102,487件)		
89	地域移行支援(/年)	120人分	132人分	144人分	144人分	144人分	144人分
		(実績69人分)	(実績89人分)	(実績107人分)	(実績115人分)		

89	ちいきていちゃくしえん 地域定着支援(／年)	600人分 じっせき (実績459人分)	720人分 じっせき (実績461人分)	840人分 じっせき (実績582人分)	840人分 じっせき (実績555人分)	840人分	840人分
89	せいしんしょうがいしゃたいいん 精神障害者退院サポート事業 (／年)	180人 じっせき (実績180人)	180人 じっせき (実績189人)	180人 じっせき (実績190人)	190人／年 じっせき (実績213／年)	200人／年	210人／年

(2) 本人の力を引き出す支援の充実

さつし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわねんど 令和6年度 ふかえり 振り返り	れいわねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
91	しょうがいしゃじりつせいかつ 障害者自立生活 アシスタント	ちいき たんしんどう せいかつ 地域で単身等で生活する しょうがいしゃ たいいん じりつせいかつ 障害者に対して、自立生活ア シスタントが、その障害特性 を踏まえて、具体的な生活 場面での社会適応力を高め る助言を中心とした支援を	○	じりつせいかつ しえんりよくこうじょう 自立生活アシスタントの支援力向上を もくてき けんしゅう じっし 目的とした研修を実施するとともに、 パンフレット改訂のためのプロジェクト を立ち上げ、制度周知のための取り組 みも行いました。 また、生活支援課生活困窮者支援担当	れんらくかい けんしゅう とう 連絡会や研修を通して、 じりつせいかつ 自立生活アシスタントの 支援力向上を図ります。 さくねんど た あ 昨年度立ち上げたプロジェ クトを継続し、パンフレット 改訂版を作成します。

		<p>おこな くに じっしじぎょう 行います。国の実施事業と</p> <p>かんけい せいり すいしん の関係を整理しながら推進し ていきます。</p>		<p>きょうどう しえん く と協働し、アウトリーチ支援にもとり組 みました。</p>	<p>ひ つづ かんけいきかん れんけい 引き続き関係機関と連携を</p> <p>はか ほうていじぎょう 図りながら、法定事業では</p> <p>たいおう せいど すきま 対応できない制度の隙間を</p> <p>う しえん おこな 埋める支援を行います。</p>
91	<p>こうけんてきしえんせいど 後見的支援制度</p>	<p>しょうがいしゃほんにん かぞく よ そ 障害者本人や家族に寄り添</p> <p>ぼくぜん しょうらい ふあん い、漠然とした将来の不安や</p> <p>なや いっしょ 悩みを一緒に</p> <p>かんが おや あんしん 考え、親なきあとも安心して</p> <p>く ちいき 暮らすことができる地域での</p> <p>みまも たいせい こうちく 見守り体制を構築します。</p>	○	<p>せいどしゆし しゅうち もくてき こうほうし ねん 制度趣旨の周知を目的に広報誌を年1</p> <p>かいじょうはっこう 回以上発行しました。</p> <p>あんしんキーパーの開拓を目的に、</p> <p>せいどとうろく ほんにん ちいきじゅうみん あつ 制度登録した本人や地域住民らが集</p> <p>まるば かい かいさい まる場としての「つどう会」を開催しま した</p>	<p>しょうがいしゃほんにん かぞく よ そ 障害者本人や家族に寄り添</p> <p>ぼくぜん しょうらい ふあん い、漠然とした将来の不安</p> <p>なや いっしょ かんが おや や悩みを一緒に考え、親な</p> <p>きあとも あんしん く きあとも安心して暮らすこ</p> <p>とが ちいき みまも とができる地域での見守り</p> <p>たいせい こうちく 体制を構築します。</p>
91	<p>しょうひしゃきょういくじぎょう 消費者教育事業</p>	<p>しょうがいしゃ かぞくおよ しえんしゃ 障害者、家族及び支援者が、</p> <p>しょうひん りようおよ 商品・サービスの利用及び</p> <p>けいやく かか どう まな 契約に関わるトラブル等を学</p> <p>あんしん にちじょう ぶことにより、安心した日常</p>	△	<p>じぎょう けいぞくせい がっこうとう ふたん ふ 事業の継続性や学校等の負担も踏ま</p> <p>じぎょうけいぞく かたち いしきけいはつ え、事業継続できる形での意識啓発</p> <p>しゅほう けんとう 手法を検討しました。</p>	<p>わ けいはつぶつ さくせい 分かりやすい啓発物の作成・</p> <p>はいふとう つう いしきけいはつ 配布等を通じた意識啓発な</p> <p>ど こうかてき じっししゅほう ど、効果的な実施手法を</p> <p>けんとう 検討します。</p>

		せいかつ おく いしきけいはつ 生活を送れるよう、意識啓発 はか を図ります。			
--	--	--	--	--	--

さっし 冊子 すす ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
92	じりつせいかつえんじょ 自立生活援助	にんぶん じっせき 80人分(実績) にんぶん 70人分)	にんぶん じっせき 100人分(実績) にんぶん 82人分)	にんぶん じっせき 120人分(実績) にんぶん 65人分)	にんぶん じっせき 120人分(実績) にんぶん 60人分)	にんぶん 120人分)	にんぶん 120人分)
92	じりつせいかつ 自立生活アシスタント	にんぶん 690人分 じっせき にんぶん (実績766人分)	にんぶん 690人分 じっせき にんぶん (実績774人分)	にんぶん 690人分 じっせき にんぶん (実績780人分)	にんぶん 800人分 じっせき にんぶん (実績798人分)	にんぶん 820人分)	にんぶん 840人分)

せいかつ ばめん す く
生活の場面1 住む・暮らす 1-3 移動支援

さっし 冊子 すう ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かえり 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
99	いどうじょうほう 移動情報センタ うんえいとうじぎょう 一運営等事業の すいしん 推進	いどうしえん かん じょうほう 移動支援に関する情報を しゅうやく ひとり 集約し、一人ひとりにあった てきせつ じょうほう ていきょう 適切な情報を提供すること や、いどうしえん ささ じんざい 移動支援を支える人材の はくつ いくせい おこな いどうじょうほう 発掘・育成を行う移動情報 センターをぜんく せっち 全区に設置し、 しな い ちいき いどう 市内のどの地域でも移動 しえん し く こうかてき 支援の仕組みを効果的に りよう 利用できるようにします。 すいしん しょうがいしゅべつ 推進にあたっては、障害種別 にか かりよう し く 関わらず利用しやすい仕組	△	いどうじょうほう しょくいん そうだんたい 移動情報センター職員の相談対 おうりよく 応力・コーディネート能力の向上を図 るためにしんにんしょくいん む けんしゅう たんとうしゃ 新任職員向け研修や担当者 かいぎじっし 会議実施しました。 また、かくく すいしんかいぎ そうだんないよう 各区の推進会議で相談内容の じれいきょうゆう くいき いどう かんれん しゃ 事例共有や区域の移動に関連する社 かいしげん れんけい ふか 会資源との連携を深めました。 そうだんけんすう もくひょうち たっせい 相談件数は目標値を達成することはで きませんでした。いどうじょうほう 移動情報センター しゅうち はか ひろ にんち の周知を図りセンターが広く認知され たため、そうだんけんすう そうか 相談件数は増加しています。	そうだんけんすう けん 相談件数3,600件

		<p>みとなるよう、移動に関連する社会資源との連携を更に進めていきます。</p>		<p>【相談件数】 令和6年度:2,561件</p>	
100	<p>ガイドヘルパー等研修受講料 助成 【再掲】</p>	<p>ガイドヘルパー等の資格取得のための研修受講料の一部を助成します。また、助成制度の積極的な周知にも取り組み、人材確保を図ります。</p>	○	<p>助成人数:129人 総助成額:2,545,000円</p>	<p>推進</p>
100	<p>ガイドヘルパースキルアップ研修 【再掲】</p>	<p>より質の高いサービスが提供できるよう、移動支援事業の従業者を対象に研修を実施します。</p>	○	<p>移動支援事業所の従業者を対象にガイドヘルパーの基礎知識・技術や障害特性に応じた支援方法に関する研修を行いました。 また、サービス提供責任者を対象に、</p>	<p>サービス提供責任者及び従業者の質を更に高めるため、研修テーマを選定し、受講者の増加を目指します。</p>

				サービス提供責任者等の役割とサービス提供の基本視点、プロセス等に関する研修を行いました。	
101	<p>難病患者外出 支援サービス 事業</p>	<p>一般の交通機関を利用した 外出に困難を伴う、車いす 等を利用する難病患者に 福祉車両による送迎サービ スを提供します。</p>	—	<p>(介護タクシーの普及等、難病患者の 移動サービスが充実してきたことなど を踏まえ、令和5年度で事業を終了し ました。)</p>	—
101	<p>在宅重症患者 外出支援事業</p>	<p>車いすによる移動が困難で ストレッチャー対応車を使用 せざるを得ない難病患者 が、通院等の際、所定の患者 等搬送用自動車を利用した</p>	○	<p>受給者証の送付時に事業案内のリー フレットを同封する等、事業周知の取組 を進めました。 【延利用人数(回数)】 245人(527回)</p>	<p>難病患者の外出時の 経済的負担を軽減するた め、引き続き事業の周知に 取り組みます。</p>

		<p>ばあい、その移送費の一部を 助成します。</p>			
101	<p>福祉有償移動サービス事業</p>	<p>移動に介助が必要な身体 障害者等を対象に、登録さ れたNPO法人等による、 自家用自動車を利用した 移動サービスを促進します。</p>	○	<p>福祉有償運送を行うNPO法人等の 登録や福祉有償運送の適正な実施等 について協議する運営協議会を年3回 開催しました。また実施団体を定期 訪問し、担当者向け研修を開催しまし た。</p>	<p>福祉有償運送を行う NPO法人等の登録や福祉 有償運送の適正な実施等に ついて協議する運営協議会 を年3回開催します。また、 安全確保の確認のため、 実施団体を定期訪問しま す。(30団体)</p>

<p>102</p>	<p>じゅうどうしょうがいしゃとう 重度障害者等へ いどうしえんじぎょう の移動支援事業 かくじゅう の拡充</p>	<p>こうきょうこうつうきかん がいしゅつ 公共交通機関での外出が こんなん じゅうどうしょうがいしゃとう たい 困難な重度障害者等に対し いどうしえんじぎょう かくじゅう て、移動支援事業の拡充を はか じゅうどうしょうがいしゃとう 図ります。※「重度障害者等」 しょうがいしゃじどうしゃねんりょうけん とは、障害者自動車燃料券 じゅうどうしょうがいしゃふくし けん と重度障害者福祉タクシー券 たいしょうしゃようけん あらわ での対象者要件を表してい かし たいかん しかく ないが ます。・下肢・体幹・視覚・内部 しょうがい ぶく 障害のいずれかを含む1・2 きゅう しんたいしょうがいしゃてちょう も 級の身体障害者手帳を持つ かた あい てちょう りょういく ている方・愛の手帳(療育 てちょう えー えー も 手帳)A1、A2を持っている かたまた しょうがいしゃこうせいそうだんじょ 方又は、障害者更生相談所・ じどうそうだんじょ ちのうしすう 児童相談所で知能指数35</p>	<p>○</p>	<p>れいわ ねん がつ たいしょうしゃ かくだい 令和3年10月に対象者を拡大した じゅうどうしょうがいしゃ りょうきんじよせいじぎょうおよ 重度障害者タクシー料金助成事業及 しんせつ しょうがいしゃじどうしゃねんりょうひじよせい び、新設した障害者自動車燃料費助成 じぎょう すいしん れいわ ねんどうこうふ 事業を推進しました。【令和6年度交付 さつすう しょうがいしゃじどうしゃねんりょうけん 冊数】障害者自動車燃料券:11,909 さつじゅうどうしょうがいしゃふくし りょうけん 冊重度障害者福祉タクシー利用券: 29,203冊</p>	<p>すいしん 推進</p>
------------	--	---	----------	---	--------------------

		<p>い か はんてい かた か し 以下と判定された方・下肢・</p> <p>たいかん しかく ないぶしょうがい 体幹・視覚・内部障害のいず</p> <p>ふく きゅう しんたい れかを含む3級の身体</p> <p>しょうがいしやてちょう も かた 障害者手帳を持っている方</p> <p>あい てちょう りょういくてちょう のうち、愛の手帳(療育手帳)</p> <p>びー も かたまた B1を持っている方又は、</p> <p>しょうがいしやこうせいそうだんじょ じどう 障害者更生相談所・児童</p> <p>そうだんじょ ちのうしすう い か 相談所で知能指数50以下と</p> <p>はんてい かた せいしんしょうがいしや 判定された方・精神障害者</p> <p>ほけん ふくしてちょう きゅう も 保健福祉手帳1級を持って</p> <p>かた いる方</p>			
--	--	--	--	--	--

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
102	いどうしえんじぎょう いどうかいご 移動支援事業(移動介護・ つうがくつうしよしえん 通学通所支援)	781,554時間 ぶん (実績)	797,185時間分 (実績620,937 じかんぶん 時間分)	813,128時間分 (実績691,606 じかんぶん 時間分)	663,719時間分 (実績718,755 じかんぶん 時間分)	685,622 じかんぶん 時間分	708,248 じかんぶん 時間分
		6,479人分 (実績5,187 にんぶん 人分)	6,673人分 (実績5,583 にんぶん 人分)	6,873人分 (実績6,062 にんぶん 人分)	5,963人分 (実績6,358 にんぶん 人分)	6,213人分 にんぶん	6,474人分 にんぶん

さっし 冊子 すう ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かせ 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
106	ふくし 福祉のまちづく すいしんじぎょう り推進事業	よこはま にかか すべ ひと 「横浜に関わる全ての人がお たが そんちよう たす あ ひと 互いを尊重し、助け合う、人 やさ の優しさにあふれたまちづく り」を実現するため、ハードと じつげん ソフト(環境整備や福祉教育 かんきょうせいび ふくしきょういく など)を一体的に取り組み、 ふくし 福祉のまちづくりを推進しま す。	○	ハードとソフトが一体となった福祉の まちづくりを目的として、横浜市福祉 のまちづくり条例の改正を行ったほ か、同条例施行規則の改正について けんとう おこな 検討を行いました。 また、職員等を対象とした研修の かいさい ふくし じょうれい もと 開催や、福祉のまちづくり条例に基づ じ ぜんきょうぎ せつけいそうだんとう つう ふくし く事前協議や設計相談等を通じて福祉 のまちづくりを推進しました。	よこはましふくし 横浜市福祉のまちづくり じょうれいしこうきそく かいせい 条例施行規則の改正と、そ れに伴う施設整備マニュアル の改訂を行います。 また、令和8年度の横浜市 ふくし すいしんししん 福祉のまちづくり推進指針 かいさい けんとう すず 改訂について検討を進めま す。 しよくいんとう たいしやう けんしゅう 職員等を対象とした研修 かいさい ふくし の開催や、福祉のまちづくり じょうれい もと じ ぜんきょうぎ 条例に基づく事前協議や

					せつけいそうだんとう つう ふくし 設計相談等を通じて福祉の まちづくりをすすみます。
106	こうきょうこうつうきかん 公共交通機関の バリアフリー化	だれ いどう かんきょう 誰もが移動しやすい環境 せいび いっかん てつどうえきしや 整備の一環として、鉄道駅舎 へのエレベーター等の設置及 びノンステップバスの導入 そくしん はか 促進を図ります。	○	けいきゅうか な が わしんまちえき せっち 京急神奈川新町駅のエレベーター設置 について、「横浜市鉄道駅舎多目的トイ レ及びエレベーター設置補助要綱」に基 づき、令和7年度予算を計上しました。 また、国との協調補助であるノンステ ップバス導入促進補助について、国の 導入率の目標値(80%)を下回ってい るバス事業者に対して、補助を実施し ました。令和6年度のノンステップバス の導入率は83%(見込み)となってお	けいきゅうか な が わしんまちえき 京急神奈川新町駅のバリア フリー化に向けて、エレベ ーター2基の設置補助を行 います。 また、ノンステップバス導入 促進補助については、国の 導入率の目標値(80%)を 下回っているバス事業者に 対して、引き続き、補助を 実施します。

				<p>かねんどじっせき ねんど もくひょうたっせい り、過年度実績から8年度の目標達成</p> <p>かのう すい が可能な推移となっています。</p>	
107	<p>バリアフリーの 推進 ・バリアフリー 基本構想の 検討・作成</p>	<p>バリアフリー法に基づき、駅 周辺の重点的かつ一体的な バリアフリー整備を推進する ため、区ごとにバリアフリー 基本構想を作成します。 ・策定済み地区の見直しや、 未策定地区の新規作成等</p>	○	<p>バリアフリー基本構想の広報資料を 改訂すると共に、印刷・配布を行い、 バリアフリー基本構想の広報活動を進 めました。</p>	<p>引き続き、バリアフリー基本 構想の広報活動を続けると 共に、新規バリアフリー基本 構想作成地区の検討を行 います。</p>
107	<p>・バリアフリー 歩行空間の整備</p>	<p>駅周辺のバリアフリー化を 推進するため、バリアフリー 基本構想に基づき、道路のバ リアフリー化を、引き続き、進 めます。</p>	○	<p>バリアフリー基本構想に基づき、 十日市場駅周辺地区等のバリアフリー 整備を実施しました。</p>	<p>バリアフリー基本構想で定 めた重点整備地区におい て、歩道の改修など、道路</p>

					のバリアフリー化 ^か について、 引き続き ^{ひ つづ} 、進 ^{すす} めます。
107	よこはましこうきょう 横浜市公共サイ ンガイドラインの うんようすいしん 運用推進	こうてききかん ^こ せつち ^せ ほ 公的機関により設置される歩 こうしゃようあんない ^こ ゆうどう ^う 行者用案内・誘導サインの きかく ^き ひょうじないようとう ^ひ とういつ ^と 規格や表示内容等の統一を はか ^は 図るためのガイドラインの うんよう ^う すいしん ^す 運用を推進します。 また、こうきょう ^こ のけいさいきじゆん ^け また、公共サインの掲載基準 とう ^と ひつよう ^ひ おう ^お 等について必要に応じて みなお ^み けんとう ^け ほ ^ほ こうしゃ ^こ 見直しを検討し、より歩行者 わか ^わ りやすいサイン整備 ^{せい} を すす ^す 進めていきます。	△	こうきょう ^こ けいさいきじゆんとう ^け 公共サインの掲載基準等について、 みなお ^み ひつようせい ^ひ 見直しの必要性がありませんでした。 ひ ^ひ つづ ^つ き、ガイドラインのうんよう ^う すいしん ^す 引き続き、ガイドラインの運用を推進す るとともに、ほ ^ほ こうしゃ ^こ るとともに、より歩行者にわかりやす いサイン ^{せい} び ^び ゆうどう ^ゆ いサイン整備を誘導していきます。	ガイドラインのうんよう ^う すいしん ^す ガイドラインの運用を推進す るとともに、ほ ^ほ こうしゃ ^こ るとともに、より歩行者にわ かりやすいサイン ^{せい} び ^び かりやすいサイン整備を ゆうどう ^ゆ 誘導していきます。

107	エレベーター 設置事業	エレベーターの整備など、 学校施設のバリアフリー化を 進め、障害児が学びやすい 環境を整備します。	○	エレベーター等の整備では対象児童・ 生徒の在籍や入学情報を取得し、 計画のとおり進めることができました。	引続き、エレベーターが必要 な未設置校に整備していき ます。全中学校に1基ずつエ レベーターの設置が完了 する予定であります。
-----	----------------	--	---	--	---

生活の場面2 安全・安心 2-1 健康・医療

(1) 障害者の健康づくりの推進

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
110	障害者へのスポーツを通じた健康・体力作り支援	障害特性を理解した障害者スポーツ文化センターのスタッフ等が、障害者が体力づくりや余暇活動を身近な場所	○	地域の様々な団体等へ障害理解や障害者スポーツの普及啓発のための研修を実施し、障害のある人が身近	地域の様々な団体等へ障害理解や障害者スポーツの普及啓発のための研修を実施し、障害のある人が

		<p>おこな ちいき じんざい で行えるよう、地域の人材</p> <p>いくせい ふく かんきょうせいび すす 育成も含めた環境整備を進 めます。</p>		<p>ぼしよ と く かんきょうづく な場所でスポーツに取り組める環境作</p> <p>おこな りを行いました。</p>	<p>みちか ぼしよ と 身近な場所でスポーツに取</p> <p>く かんきょうづく すす り組める環境作りを進めま す。</p>
110	<p>しょうがいふくししせつ 障害福祉施設</p> <p>しやくいんとう しえん 職員等への支援</p> <p>さいけい 【再掲】</p>	<p>しょうがいしゅ きゅーおーえる こうじょう 障害者のQOLの向上を</p> <p>め ざ しょうがいとくせい 目指して、障害特性やライフ</p> <p>おう しょうがい ステージに応じた障害の</p> <p>じゅうどか かんわ せいかつしゅうかんびょう 重度化の緩和、生活習慣病</p> <p>よぼうとう ふきゅうけいはつ はか の予防等の普及啓発を図る</p> <p>しょうがいふくししせつ ため、障害福祉施設における</p> <p>えいせいかんり えいようかんり かん 衛生管理、栄養管理に関する</p> <p>けんしゅう れんらくかいとう じっし 研修、連絡会等を実施しま す。</p>	○	<p>しょうがいふくししせつ しょくいん たいしょう 障害福祉施設の職員を対象とした</p> <p>しょくひんえいせいこうしゅうかい どうが せつしよくえんげ 食品衛生講習会(動画)や摂食嚥下</p> <p>けんしゅう えいよう けんしゅう 研修、栄養ケアマネジメント研修を</p> <p>じっし しょうがいふくししせつ 実施しました。また障害福祉施設の</p> <p>かんりえいようし えいようし たいしょう えいようかんり 管理栄養士・栄養士を対象に栄養管理</p> <p>かん れんらくかい かいさい に関する連絡会を開催しました。</p>	<p>しょうがいしゅ きゅーおーえる こうじょう 障害者のQOLの向上を</p> <p>め ざ しょうがいとくせい 目指して、障害特性やライフ</p> <p>おう しょうがい ステージに応じた障害の</p> <p>じゅうどか かんわ せいかつしゅうかんびょう 重度化の緩和、生活習慣病</p> <p>よぼうとう ふきゅうけいはつ はか の予防等の普及啓発を図る</p> <p>しょうがいふくししせつ ため、障害福祉施設におけ</p> <p>えいせいかんり えいようかんり かん る衛生管理、栄養管理に関</p> <p>けんしゅう れんらくかいとう じっし する研修、連絡会等を実施 します。</p>

(2) 医療環境の充実

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
112	難病患者一時入院事業	医療依存度の高い難病患者が介助者の事情により、在宅で介助を受けることが困難になった場合、一時的に入院できるようにします。	○	難病患者の受入を円滑に進めるとともに、入院中の療養生活を安定的に送れるよう、受入医療機関との連絡会を実施しました。 【延利用日数】 401日 【延利用人数】 51人	受入医療機関との連絡会を継続的に実施し、必要時に利用ができるよう患者・家族・支援者への周知に努めます。
113	歯科保健医療推進事業(心身)	通常の歯科診療では対応が困難な心身障害児・者に対する	○	歯科保健医療センターにおける心身障害児・者歯科診療件数(件) 令和6年度:8,763	引き続き歯科保健医療センターで心身障害児・者歯科診療を行うとともに、地域

	しょうがいじ しゃしか 障害児・者歯科 しんりょう 診療)	し か ちりょう かくほ ひ つづ る歯科治療の確保を引き続 はか き図ります。		しんしんしょうがいじしゃし か しんりょうきょうりよくいりょうきかん 心身障害児者歯科診療 協力医療機関 にんていけんしゅうじゅこうしゃすう にん 認定研修受講者数(人) れいわ ねんど 令和6年度:6	し か いりょうきかん の歯科医療機関でも しょうがいじ しゃ あんしん じゅしん 障害児・者が安心して受診で きるよう、歯科医療機関向 けの研修を行います。
113	メディカルショー トステイ事業 【再掲】	いりょうてき ひつよう じゅうしょう 医療的ケアが必要な重症 しんしんしょうがいじ しゃとう ざいたく 心身障害児・者等を、在宅で かいご かぞく ふたんけいげん 介護する家族の負担軽減と ざいたくせいかつ あんてい もくてき 在宅生活の安定を目的とし いちじてき ざいたくせいかつ こんなん て、一時的に在宅生活が困難 ばあい びょういん となった場合などに、病院で う けいれ じっし の受け入れを実施します。	○	れいわ ねんど 令和6年度は127件の利用がありまし た。協力医療機関の医療スタッフ向け けんしゅう がつ がつ かい の研修を8月から11月にかけて3回 じっし 実施しました。また、医師、看護師及び いりょう 医療ソーシャルワーカーとの合同会議 がつ じっし かんごしおよ いりょう を7月に実施、看護師及び医療ソーシ ャルワーカーとの実務者会議を令和7 ねん がつ じっし りようしゃ うけいれ かん 年1月に実施し、利用者の受入に関す しょうほうきょうゆう いけんこうかん おこな る情報共有や意見交換を行いました た。	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施してい くとともに、協力医療機関 えんかつ じぎょううんえい はか との円滑な事業運営を図り ます。

<p>114</p>	<p>なんびょうかんじゃざいたく 難病患者在宅 りょうようけいかくさくてい 療養計画策定・ ひょうかじぎょう 評価事業</p>	<p>ざいたくなんびょうかんじゃ たい ほけん 在宅難病患者に対し、保健・ いりょう ふくし かく 医療・福祉の各サービスを てきせつ ていきょう 適切に提供するために、 かんけいしゃ ごうどう 関係者が合同でサービス ないよう けんとう 内容を検討します。</p>	<p>○</p>	<p>ざいたくりょうようせいかつ ささ 在宅療養生活を支えるケアマネジャー じんざいいくせい もくてき しんけいなんびょうかんじゃ の人材育成を目的に、神経難病患者の ざいたくりょうようけいかく さくてい ひょうか じれいけんとう 在宅療養計画の策定・評価の事例検討 じっし を実施しました。</p>	<p>ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい 在宅難病患者が安定した りょうようせいかつ おく ひ 療養生活を送れるよう、引 つづ ざいたくせいかつ ささ き続き在宅生活を支える せんもんしよく いくせい と く 専門職の育成に取り組みま す。</p>
<p>114</p>	<p>いりょうきかんれんけい 医療機関連携 じぎょう 事業</p>	<p>しょうがいじ しゃ みぢか ちいき 障害児・者が身近な地域で てきせつ いりょう う 適切な医療が受けられる かんきょう すいしん 環境づくりを推進するため、 しょうがいとくせいとう りかい てきせつ 障害特性等を理解し適切な いりょう ていきょう いりょうきかん 医療を提供できる医療機関 ふ を増やします。</p>	<p>○</p>	<p>ちてきしょうがいしゃせんもんがいらいせつちいりょうきかん 知的障害者専門外来設置医療機関を びょういん じっし 5病院で実施しました。</p>	<p>ひ つづ ちてきしょうがいしゃせんもん 引き続き、知的障害者専門 がいらいせつちいりょうきかん びょういん 外来設置医療機関を5病院 じっし で実施します。 また、びょういんめ せっち め ざ 6病院目の設置を目指 びょういん せんもんがいらい せっち して病院へ専門外来の設置 はたら を働きかけます。</p>

<p>115</p>	<p>重度神経難病 患者在宅支援シ ステムの構築</p>	<p>発病から数年で急速に進行 する神経難病患者に対する 在宅支援システムを、専門 医療機関・在宅リハビリテ ーション等の保健・医療関係者 と障害福祉サービス事業等 との連携により、構築します。 ・ALS患者に加え、筋ジスト ロフィー症患者のライフステ ージに合わせた生活障害 支援を目的に、在宅リハビリ テーションを活用する流れを 構築します。</p>	<p>○</p>	<p>地域の診療所に在宅リハビリテーショ ン事業に関する広報を行い連携を始 めました。福祉機器支援センターの 展示施設で支援者向けの福祉機器 展示会及び在宅リハビリテーション 事業の説明会を実施し、述べ32 事業所の参加がありました。 【令和6年度実績】 筋萎縮性側索硬化症患者述べ156件、 進行性筋ジストロフィー症患者66件</p>	<p>福祉機器支援センターの 展示機能を活用し、ケアマネ ージャーや訪問リハスタッフ を中心とした支援者向け 研修を開催し、在宅リハビリ テーション事業の広報やコミ ュニケーション機器等、福祉 機器の活用促進を図りま す。また、文字盤やスマート フォン、タブレットを活用し た広報資料の運用を開始し ます。</p>
------------	--------------------------------------	---	----------	--	---

115	<p>ざいたくりょうようじ 在宅療養児の</p> <p>ちいきせいかつ ささ 地域生活を支え</p> <p>るネットワーク</p> <p>れんらくかい 連絡会</p>	<p>しょうがいじ しゃ いりょう にゅういん 障害児・者の医療(入院・</p> <p>ざいたく かか いりょうかんけいしゃ 在宅)に関わる医療関係者を</p> <p>ちゅうしん ふくし きょういくかんけいしゃ 中心に、福祉・教育関係者を</p> <p>たいしやう ざいたくしえん ひつやう 対象として、在宅支援に必要な</p> <p>じょうほうこうかん じんてきこうりゆう つう な情報交換や人的交流を通</p> <p>じて、しょうがいりかい そくしん 障害理解を促進しま</p> <p>す。</p>	△	<p>さまざま けんしゅう じゅうじつ 様々な研修が充実してきたことを踏</p> <p>まえ、じっしないうち かいさい けんとう まえ、実施内容や開催について検討し、</p> <p>こんねんど かいさい みおく 今年度は開催を見送りました。</p>	<p>こんご れんらくかい あ 今後の連絡会の在り方を</p> <p>せいり ないよう みなお うえ 整理し、内容を見直した上で</p> <p>じっしやてい 実施予定です。</p>
115	<p>じゅうしょうしんしん 重症心身</p> <p>しょうがいじ しゃ 障害児・者の</p> <p>ざいたくせいかつ ささ 在宅生活を支え</p> <p>るための支援</p> <p>たいせい じゅうじつ 体制の充実</p>	<p>じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ ざいたく 重症心身障害児・者の在宅</p> <p>せいかつ ささ いりょう 生活を支えるための医療</p> <p>たいせい けんとう 体制をはじめとする検討を</p> <p>おこな しえんたいせい じゅうじつ はか 行い、支援体制の充実を図</p> <p>ります。</p>	○	<p>かながわけん かわさきし きょうどうかいさい 神奈川県・川崎市との共同開催で</p> <p>しょうにほうもんかんご じゅうしょうしんしんしょうがいじしゃ 「小児訪問看護・重症心身障害児者</p> <p>かんごけんしゅうかい じっし 看護研修会」を実施しました。</p>	<p>ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施し、</p> <p>しょうがいじ しゃ ざいたくしえん 障害児・者の在宅支援に</p> <p>ひつやう じょうほうこうかんとう とお 必要な情報交換等を通し</p> <p>しえんたいせい じゅうじつ はか て、支援体制の充実を図り</p> <p>ます。</p>

116	<p>じゅうどしやうがいしやとう 重度障害者等</p> <p>にゅういんじ 入院時コミュニ</p> <p>ケーション支援</p> <p>じぎやう 事業</p>	<p>にゅういんさきいりやうきかん いし 入院先医療機関の医師・</p> <p>かんごしどう いしそつう 看護師等との意思疎通が</p> <p>じゅうがん はか しょうがいじ しゃ 十分に図れない障害児・者を</p> <p>たいしやう にゅういんさき 対象に、入院先にコミュニケ</p> <p>ーション支援員を派遣しま</p> <p>す。</p>	△	<p>にゅういんさきいりやうきかん いし かんごしどう 入院先医療機関の医師・看護師等との</p> <p>いしそつう はか 意思疎通が図れるよう、コミュニケーシ</p> <p>ョン支援員を派遣しました。一方で、</p> <p>しんがた かんせんしやういこう 新型コロナウイルス感染症以降、</p> <p>かんせんしやうたいさく きやうかどう がいぶ 感染症対策の強化等により、外部</p> <p>しえんしや うけいれこんなん いりやう 支援者の受入困難となっている医療</p> <p>きかん おお けんすう げんしやう 機関も多く、件数が減少している</p> <p>じやうきやう つづ はけんけんすう 状況が続いています。【派遣件数】</p> <p>れいわ ねんど けんれいわ ねんど けん 令和5年度:10件令和6年度:3件</p> <p>そうはけんじかん れいわ ねんど じかん 【総派遣時間】令和5年度:364.5時間</p> <p>れいわ ねんど じかん 令和6年度:31.5時間</p>	<p>にゅういんさきいりやうきかん いし 入院先医療機関の医師・</p> <p>かんごしどう いしそつう はか 看護師等との意思疎通が図</p> <p>れるよう、引き続きコミュニ</p> <p>ケーション支援員を派遣しま</p> <p>す。</p>
116	<p>けんこう 健康ノート</p>	<p>しょうがいじ しゃ じがん す ちいき 障害児・者が自分の住む地域</p> <p>いりやうきかん じゆしん さい の医療機関で受診する際に</p> <p>かつやう けんこう 活用できる「健康ノート」につ</p>	○	<p>まどぐち はいか ほんし 窓口での配架や本市ウェブサイトへの</p> <p>けいさい しゅうち 掲載をし、周知しました。</p>	<p>まどぐち はいか ほんし 窓口での配架や本市ウェブ</p> <p>サイトへの掲載をし、周知し</p> <p>ます。また、活用状況を</p>

		<p>いて、入手しやすくなるよう</p> <p>検討し、より活用できるようにします。</p>			<p>確認しながら、普及につながる方法を引き続き検討します。</p>
117	<p>医療従事者研修事業【再掲】</p>	<p>病気や障害のある小児及び重症心身障害児・者の支援に必要な知識・技術の向上を図り、障害特性を理解した医療従事者を育成するための研修を実施します。</p>	○	<p>医療機関や福祉施設等に勤務する看護師を対象にした「小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会」の研修を実施しました。</p>	<p>研修体系の見直しを図り、更なる研修の充実を図ります。</p>
117	<p>障害福祉施設等で働く看護師の支援・確保【再掲】</p>	<p>障害福祉施設等で働く看護師の定着に向けた支援を行うとともに、人材確保の方策について検討します。</p>	○	<p>障害福祉施設で働く看護師等の職員向けに、口腔機能管理や多職種連携をテーマとした研修を実施しました。また、歯科医師が各施設を訪問し、技術的な助言・指導をしました。併せ</p>	<p>引き続き障害福祉施設で働く看護師等向けに、研修や巡回訪問による助言・指導を継続します。また、施設見学会を実施し、</p>

				<p>て、^{きゅうしよくちゅう かんごし たいしやう しょうがい}求職中の看護師を対象に、障害</p> <p>^{ふくししせつ けんがくかい じっし しせつ はたら}福祉施設の見学会を実施し、施設で働</p> <p>くことの^{みりよく つた}魅力を伝えました。</p>	<p>各^{かくしせつ こやう}施設での雇用につながる</p> <p>よう^{しえん}支援します。</p>
118	<p>せいしんかきゆうきゆう 精神科救急</p> <p>いりやうたいさくじぎやう 医療対策事業</p>	<p>せいしんしつかん きゆうげき はっしやう 精神疾患の急激な発症や</p> <p>せいしんしやうじやう あつか 精神症状の悪化などで、</p> <p>そうきゆう てきせつ せいしんかいりやう 早急に適切な精神科医療を</p> <p>ひつやう ばあい せいしんほけん 必要とする場合に、精神保健</p> <p>ふくしほう もと しんさつ びやういん 福祉法に基づく診察や病院</p> <p>しょうかい おこな の紹介を行うとともに、</p> <p>ひつやう いりやうしせつ かくほ 必要な医療施設を確保する</p> <p>こととう ひ つづ こと等により、引き続き</p> <p>きゆうきゆうかんじや えんかつ いりやうおよ 救急患者の円滑な医療及</p> <p>ほご はか び保護を図ります。</p>	○	<p>せいしんかきゆうきゆうたいせい けんないよんけんし 精神科救急体制は県内四縣市</p> <p>きやうちやう おこな 協調で行っているが、本市において</p> <p>たけんし そうだん しみん いりやう は他県市へも相談し、市民への医療</p> <p>たいおう しないいりやうきかん つと 対応を市内医療機関でできるよう努め</p> <p>ている。</p> <p>しんやとう え しがいりりやうきかん 深夜等、やむを得ず市外医療機関で</p> <p>にゆういん ばあい そくほういさう の入院になった場合は側方移送とし</p> <p>しないいりりやうきかん てんいん しこう おこな て市内医療機関へ転院する試行を行</p> <p>っている。</p> <p>じ きゆうきゆうつうほうとうけんすう 【3次救急通報等件数】</p> <p>れいわ ねんど けん 令和6年度:851件</p>	<p>げんじやう しないびやういん いさう 現状の市内病院への移送</p> <p>わりあい いじ よこはま 割合を維持するため、横浜</p> <p>しみん ちいきしえん こうりよ 市民の地域支援を考慮した</p> <p>しないびやういん だしん けいぞく 市内病院への打診を継続し</p> <p>ていく。また^{しんたいがっぺいしやう}身体合併症</p> <p>かんじや じゃくねんかんじや うけい 患者や若年患者の受入れ</p> <p>かだい とく 課題についても取り組んで</p> <p>いく。</p>

				<p>【3次救急移送先病院の市内病院の わりあい割合】</p> <p>令和6年度:91%</p>	
119	<p>精神疾患を合併 する身体救急 患者の救 急医療体制整備 事業</p>	<p>精神疾患を合併する身体 救急患者を適切な医療機関 へ円滑に搬送できるよう、 救急医療体制を構築しま す。</p>	○	<p>精神疾患のうち、特定症状を有する 身体救急患者に対応する医療機関に よる輪番体制を平日昼間だけでなく、 夜間休日も整備することで、精神疾患 を合併する身体救急患者の受入体制 を確保しました。今後は、体制の検証 を行いながら、より効果的な救 急医療体制の構築を図ります。</p>	<p>これまでの課題を整理し、よ り良い救急医療体制の 構築に向けた検討を継続し ます。また、必要に応じて 特定症状対応病院の参画 を勧奨していきます。</p>

さっし 冊子 すう ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かえり 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
122	さいがい ようえんごしゃ 災害時要援護者 しえんじぎょう 支援事業	さいがいじ じりきひなん こんなん 災害時に自力避難が困難な ようえんごしゃ あんびかくにん ひなん 要援護者の安否確認や避難 しえんとう かつどう えんかつ おこな 支援等の活動が円滑に行わ れるよう、さいがいじ ようえんごしゃ 災害時要援護者 めいぼ ひなんしえん ひつよう 名簿や避難支援に必要な じょうほう ちいき ていきょう ひごる 情報を地域に提供し、日頃 からのちいき じしゆてき 地域の自主的 なささ あ とりくみ しえん な支え合いの取組を支援しま す。	○	さいがいじ ようえんごしゃしえん とりくみ じっし 災害時要援護者支援の取組を実施して いる じちかい ちょうないかい わりあい いぜん 自治会・町内会の割合は依然とし たか おお ちいき せっきよくてき と く て高く、多くの地域で積極的に取り組 まれています。 また、れいわ ねんど たいしやう しな 令和6年度より、対象を市内 ぜんいき かくだい こべつひなんけいかく さくせい 全域に拡大し、個別避難計画の作成を すす 進めています。 ひ つづ ちいき さいがいじ 引き続き、地域における災害時 ようえんごしゃしえん とりくみ しえん 要援護者支援の取組を支援するととも に、こべつひなんけいかく さくせい すす 個別避難計画の作成を進め、 ようえんごしゃしえん こうじやう と く 要援護者支援の向上に取り組めます。	さいがいじ じりきひなん こんなん 災害時に自力避難が困難な ようえんごしゃ あんびかくにん ひなん 要援護者の安否確認や避難 しえんとう かつどう えんかつ おこな 支援等の活動が円滑に行 われるよう、さいがいじ 災害時 ようえんごしゃめいぼ ひなんしえん 要援護者名簿や避難支援に ひつよう じょうほう ちいき ていきょう 必要な情報を地域に提供 し、ひごる ちいき 日頃からの地域における じしゆてき ささ あ とりくみ 自主的な支え合いの取組を しえん 支援します。 また、こべつひなんけいかく さくせい 個別避難計画の作成

					<p>すす ようえんごしやしえん を進め、要援護者支援の こうじょう と く 向上に取り組みます。</p>
122	<p>しょうがいしゃ しえんしゃ 障害者・支援者 によるさいがいじとう 災害時等 のしょうがいりかいそくしん 障害理解促進</p>	<p>セイフティーネットプロジェク よこはま えす ネットよこはま かんけい ト横浜(S-net横浜)や関係 きかんとう れんけい かくく じっし 機関等と連携し、各区で実施 されるちいきぼうさいきよてんくんれんとう 地域防災拠点訓練等 でしょうがいしゃりかい そくしん 障害者理解を促進します。 くわ ひなんせいいかつ 加えて、避難生活における じょうほうほしやう たいおう 情報保障についても、対応 ほうほうとう しゅうち と く 方法等の周知に取り組んで いきます。</p>	○	<p>セイフティーネットプロジェクトよこはま えす 横浜(S-net横浜)等のしょうがいりかい かくく ふうきゆう 障害理解に係る普及・ けいはつかつどう 啓発活動(コミュニケーションボード等 のふうきゆうけいはつ けんしゅうかい ちいきぼうさいきよてん 普及啓発、研修会、地域防災拠点で のとうじしゃ こうえんとう つう しょうがい 当事者による講演等)を通じ、障害 りかい すいしん と く 理解の推進に取り組みました。</p>	<p>セイフティーネットプロジェ よこはま えす ネットよこはま クト横浜(S-net横浜)や かんけいきかんとう れんけい 関係機関等との連携によ り、かくく じっし ちいき 各区で実施される地域 ぼうさいきよてんくんれんとう しょうがいしゃ 防災拠点訓練等で障害者 りかい そくしん 理解を促進します。</p>
122	<p>さいがいじとう 災害時等の じじりよくこうじょう む 自助力向上に向 けたツールの</p>	<p>ふうすいがい ふく さいがいじ そな 風水書を含めた災害時に備 え、じじりよく こうじょう 自助力の向上のためのツ ールのけんとう さくせい ほんし ールの検討・作成と、本市ウエ</p>	○	<p>れいわ ねんど 令和6年度においても引き続きひなん 避難 こうどうけいかく 行動計画「マイ・タイムライン」をしょうがい 障害</p>	<p>ひなんこうどうけいかく 避難行動計画「マイ・タイムラ イン」のふうきゆう けいはつ ひ つづ 普及・啓発を引き続 き、おこな 行います。</p>

	<p>さくせいおよ ぷきゆう 作成及び普及・ 啓発</p>	<p>ぶざいと とう かつよう ぷきゆう ウェブサイト等を活用した普及・ 啓発を行っていきます。</p>		<p>ふくし けいさい ぷきゆう けいはつ 福祉の「あんない」に掲載し、普及・啓発 を行いました。</p>	
122	<p>さいがいじ 災害時における じじょ きょうじよ 自助・共助の じょうほうきょうゆう 情報共有の すいしん 推進</p>	<p>よこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょう 横浜市障害者施策推進協 ぎかい かくだんたい かいぎたい 議会や各団体の会議体にて、 さいがいじ じじよ きょうじよ 災害時における自助・共助に ついて じょうほうきょうゆう おこな 情報共有を行いました。 す。</p>	○	<p>れいわ ねんど 令和6年度においても引き続き、本市 における げんさい ぼうさい とりくみじょうきょう 減災・防災の取組状況を よこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょうぎかい およ 横浜市障害者施策推進協議会及び しょうがいしゃし さくけんとうぶかい ほうこく いただ 障害者施策検討部会に報告し、頂い た御意見を関係課と ぎょうゆう 共有しました。</p>	<p>ひ づつ ほんし 引き続き、本市における げんさい ぼうさい とりくみじょうきょう 減災・防災の取組状況を よこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょう 横浜市障害者施策推進協 ぎかい およ しょうがいしゃし さくけんとう 議会及び障害者施策検討 ぶかい ほうこく いただ 部会に報告し、頂いた ごいけん かんけいか きょうゆう 御意見を関係課と共有して いきます。</p>
123	<p>しょうがいしゅべつおうきゆう 障害種別応急 びちく ぶっしれんけい 備蓄物資連携 じぎょう 事業</p>	<p>しょうがいとくせい おう おうきゆうびちく 障害特性に応じた応急備蓄 ぶっし ひ つづきほかん 物資について、引き続き保管 できるよう、ぷきゆう けいはつ 普及・啓発を じっし 実施します。</p>	○	<p>く ちいきかつどう せっち 18区の地域活動ホームに設置してい る びちくよう りよう さいがいじ 備蓄用ロッカーを利用し、災害時に そな しょうそうぐ ほかん 備えたストーマ用装具の保管ができる よう、せいどしゅうちおよ りようしゃほしゅう けいぞく 制度周知及び利用者募集を継続 しました。</p>	<p>く ちいきかつどう 18区の地域活動ホームに せっち びちくよう 設置している備蓄用ロッカ ーを利用し、さいがいじ そな 災害時に備えた しょうそうぐ ほかん ストーマ用装具の保管がで きるよう、せいどしゅうちおよ 制度周知及び</p>

				<p>また、南海トラフ地震臨時情報が発表されたことに伴い、臨時的に利用者の追加募集を実施しました。</p>	<p>利用者募集を継続していきます。</p>
123	<p>障害福祉サービス事業所等 障害福祉サービス事業所等におけるサービス提供等継続支援</p>	<p>障害福祉サービス事業所等 に対して、平常時から、感染症の流行に備え、衛生物品等の備蓄、事業継続計画の策定など必要な準備について、普及啓発を行います。また、緊急時にはサービス提供等の継続に向けた支援を行います。</p>	○	<p>様々な機会を捉え、業務継続計画策定の状況を確認しました。</p>	<p>障害者施設等に対し、策定している業務継続計画策定の実効性を高めるための、セミナー等を実施します。</p>

<p>123</p>	<p>ようでんげんしょうがいじしゃ 要電源障害児者</p> <p>どうさいがいじ でんげん 等災害時電源</p> <p>かくほしえんじぎょう 確保支援事業</p>	<p>でんげん よう いりよう き き 電源を要する医療機器を</p> <p>ざいたく しょう しょうがいじ しゃどう 在宅で使用する障害児・者等</p> <p>たい さいがいじ せいめい い じ に対し、災害時に生命を維持</p> <p>うえ ひつよう ひじょうよう する上で必要となる非常用</p> <p>でんげんそうちとう かくほ しえん 電源装置等の確保を支援し、</p> <p>じじょ きょうか つな 自助の強化に繋げることを</p> <p>もくてき きゅうふ おこな 目的とした給付を行います。</p> <p>また、しえん もと ひと 支援を求めている人に</p> <p>ひつよう しえん とど 必要な支援が届くように</p> <p>ようでんげんしょうがいじしゃとうとうろくせいど 要電源障害児者等登録制度</p> <p>つう じつたい はあく すす を通じて実態の把握を進め</p> <p>ていきます。</p>	<p>○</p>	<p>れいわ ねんど がつ がつ がつ きゅうふ 令和6年度は7月、10月、1月に給付</p> <p>しんせい うけつけ おこな 申請の受付を行いました。</p> <p>また、ねん つう とうろく うけつけ おこな 1年を通じて、登録の受付を行</p> <p>いました。</p>	<p>さら しえん おこな ひ 更なる支援を行うため、引</p> <p>つづ うけつけ じっしおよ しゅう ち き続き受付の実施及び周知</p> <p>おこな を行います。</p>
------------	---	--	----------	---	--

(1) 地域療育センターを中心とした支援の充実

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
130	地域療育センター 一運営事業	障害がある、またはその疑いのある児童に、専門性の高い評価や支援計画に基づき、集団療育や保育所、幼稚園及び学校への巡回訪問、保護者支援等を行います。 また、区福祉保健センターの療育相談へのスタッフ派遣等を行います。	○	初期支援の充実のため、全てのセンターに保育士及びソーシャルワーカーを配置し、体制を整備しました。また利用申し込み後の児童及び保護者支援として「ひろば事業」を継続して行いました。 きょうだい児預かりを4センターで委託により実施し、保護者支援を充実しました。	巡回訪問について、これまでの保育所・幼稚園・小学校等に加え、地域の児童発達支援事業所等にも範囲を拡大し、試行的に実施します。 また引き続き「ひろば事業」を実施するとともに、相談支援の充実を図るため、ソ

						ーシャルワーカーを増員し、 と取り組みを推進します。
--	--	--	--	--	--	-------------------------------

さつし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
131	じどうはつたつしえん 児童発達支援センターの せっちすう 設置数	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	9 か所 (実績9 か所)	9 か所	9 か所
131	しょうがいじ ちいきしやかい さんか 障害児の地域社会への参加・ ほうよう 包容(インクルージョン)を すいしん たいせい こうちく 推進する体制の構築	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	こうちく 構築する (実績構築する)	こうちく 構築する	こうちく 構築する
131		600人 (実績988人)	650人 (実績1,132人)	700人 (実績1,539人)	1,650人 (実績1,712人)	1,800人	1,950人

	ほいくしよとうほうもんしえん 保育所等訪問支援 (じゆきゆうしやすう つぎ の り ようにつすう 受給者数/月、延べ利用日数 /年)	4,800人 ^{にん ひ} (じっせき 実績6,887人 ひ)	5,200人 ^{にん ひ} (じっせき 実績9,869人 ひ)	5,600人 ^{にん ひ} (じっせき 実績12,695人 ひ)	12,500人 ^{にん ひ} (じっせき 実績14,514人 ひ)	15,800人 ^{にん} ひ	20,000人 ^{にん} ひ
131	じどうはったつしえん 児童発達支援 (ちいきりょういく じっしぶん 地域療育センター実施分を 含む)	190 か所 ^{しよ} (じっせき 実績209 か 所)	200 か所 ^{しよ} (じっせき 実績232 か所 ^{しよ})	210 か所 ^{しよ} (じっせき 実績246 か所 ^{しよ})	300 か所 ^{しよ} (じっせき 実績302 か所 ^{しよ})	320 か所 ^{しよ}	340 か所 ^{しよ}
	じぎょうしよすう/ねん じゆきゆうしやすう つぎ (事業所数/年、受給者数/月、 の り ようにつすう/ねん 延べ利用日数/年)	3,800人 ^{にん} (じっせき 実績4,270 人)	4,000人 ^{にん} (じっせき 実績4,797人 ^{にん})	4,000人 ^{にん} (じっせき 実績5,264人 ^{にん})	5,385人 ^{にん} (じっせき 実績5,740人 ^{にん})	5,585人 ^{にん}	5,785人 ^{にん}
	じどうふくしほうかいせい れいわ ねん ※児童福祉法改正(令和6年 がつしこう じどうはったつ 4月施行)により、児童発達 しえん るいけい ふくしがた いりょうがた 支援の類型(福祉型、医療型) いちげんか れいわ が一元化されたため、令和6 ねんどいこう いりょうがたじどうはったつ 年度以降の「医療型児童発達	297,000人 ^{にん ひ} (じっせき 実績 350,856人 ^{にん} ひ)	314,900人 ^{にん ひ} (じっせき 実績319,684 人 ^{にん ひ})	327,500人 ^{にん ひ} (じっせき 実績461,836 人 ^{にん ひ})	418,000人 ^{にん ひ} (じっせき 実績494,426 人 ^{にん ひ})	427,100人 ^{にん} ひ	436,400 人 ^{にん ひ} 人 ^{にん ひ}

	しえん じどうはつたつしえん ちいき 支援」と「児童発達支援(地域 りょういく じっしばん ふく 療育センター実施分を含む)」 しひょう どうごう の指標を統合しました。						
132	じどうはつたつしえん おも 児童発達支援のうち、主に じゅうしょうしんしんしょうがいじ しえん 重症心身障害児を支援する じぎょうしょ ちいきりょういく 事業所(地域療育センター じっしばん ふく じぎょうしやう 実施分を含む)(事業所数/ ねん じゆきゆうしやう つき の りょう 年、受給者数/月、延べ利用 にっすう/ねん 日数/年)	5か所(実績7か 所)	6か所(実績9か 所)	7か所(実績12 か所)	11か所(実績13 か所)	11か所	12か所
		25人 (実績30人)	30人 (実績33人)	35人 (実績43人)	37人 (実績55人)	39人	42人
		1,500人日 (実績3,079人 日)	1,800人日 (実績4,507人 日)	2,100人日 (実績5,541人 日)	7,600人日 (実績5,521人 日)	8,700人日	10,000人 日

132	<p>いりょうがたじどうはつたつしえん 医療型児童発達支援</p> <p>ちいきりょういく じっしぶん (地域療育センター実施分を 含む)</p> <p>じぎょうしよすう ねん じゆきゆうしやすう つき (事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつすう/ねん 延べ利用日数/年)</p>	9か所 (実績9か所)	9か所 (実績9か所)	9か所 (実績9か所)	<p>じどうふくしほうかいせい 児童福祉法改正</p> <p>れいわ ねん がつ (令和6年4月 施行)により、児童 発達支援の類型 (福祉型、医療型) が一元化されたた め、令和6年度 以降の「医療型 児童発達支援」と 「児童発達支援 (地域療育センタ ー実施分を含む)」 の指標を統合しま した。 (実績見込み)</p>	-	-
-----	--	----------------	----------------	----------------	--	---	---

		185人 じっせき (実績168人)	185人 じっせき (実績162人)	185人 じっせき (実績147人)	-	-	-
		18,000人日 じっせき (実績13,749 人日)	18,000人日 じっせき (実績11,489人 日)	18,000人日 じっせき (実績11,557人 日)	-	-	-
133	きょたくほうもんがたじどうはつたつしえん 居宅訪問型児童発達支援 じぎょうしよすう ねん じゆきゆうしやすう つき (事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつすう/ねん 延べ利用日数/年)	1か所(実績1か 所)	1か所(実績2か 所)	1か所(実績6か 所)	3か所(実績6か 所)	4か所	4か所
		30人 じっせき (実績16人)	30人 じっせき (実績21人)	30人 じっせき (実績28人)	30人 じっせき (実績32人)	35人	35人
		60人日 じっせき (実績737人日)	60人日 じっせき (実績1,149人 日)	60人日 じっせき (実績1,386人 日)	1,700人日 じっせき (実績1,265人 日)	2,500人日	3,500人日

(2)切れ目のない支援体制の充実

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
134	地域訓練会 運営費助成事業	障害児の保護者等が自主的に組織し、地域で機能回復訓練や保育を行う、地域訓練会の運営費を助成します。	○	横浜市社会福祉協議会を通じて41団体へ活動費の助成を行いました。	引き続き横浜市社会福祉協議会を通じて活動費の助成を行うとともに、障害児地域訓練会への参加意義を分かりやすく周知することなどにより、参加促進を図れるよう、横浜市社会福祉協議会や区役所等と協力しながら取組を進めていきます。

134	<p>ペアレントトレーニング実施者の養成</p>	<p>子ども本人への支援と合わせて重要である保護者への支援として、主に障害児通所支援事業所等において、職員に対しペアレントトレーニング実施者養成研修を行います。</p>	○	<p>受講者が即座に保護者支援を実施できる、現場に即した内容で研修を実施しました。</p>	<p>引き続きアンケート結果を考慮しながら研修を実施していきます。</p>
134	<p>障害児入所施設入所児童の地域移行</p>	<p>障害児入所施設からグループホームやひとり暮らしなど、一人ひとりの状況に応じた生活の場へのスムーズな移行を目指し、児童相談所や区福祉保健センター、学校等の関係機関と連携し、早期</p>	○	<p>令和6年度18歳を迎えた障害児20人全員に対して、一人ひとりの状況に応じた生活の場への移行を進めました。</p>	<p>引き続き児童相談所や区福祉保健センター、学校等の関係機関と連携し、早期（概ね15歳頃）からのアセスメントを行い、入所されている障害児本人等と一緒に準備を進めます。</p>

		<p>おおむ さいころ (概ね 15歳頃)からのアセ</p> <p>おこな にゅうしょ スメントを行い、入所されて</p> <p>しょうがいじほんにんとう いっしょ いる障害児本人等と一緒に</p> <p>じゅんび すす 準備を進めます。</p>			
--	--	---	--	--	--

さっし 冊子 ページ数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
135	しょうがいじそうだん 障害児相談	135 か所 (実績108 か 所)	147 か所 (実績115 か所)	160 か所 (実績119 か所)	130 か所 (実績119 か所)	150 か所	170 か所
	じぎょうしよすう ねん じゆきゆうしやすう (事業所数/年、受給者数)	がくれい 6,600 人 (実績学齢 836人)	がくれい 7,275 人 (実績学齢 980 人)	がくれい 8,025 人 (実績学齢 1,037人)	がくれい 1,815 人 (実績学齢 1,178人)	がくれい 学齢 3,525人	がくれい 学齢 4,025人

		みしゅうがく 未就学 2,850 にん じっせきみしゅうがく 人(実績未就学 2,690人)	みしゅうがく 未就学 3,000人 にん じっせきみしゅうがく (実績未就学 2,599人)	みしゅうがく 未就学 3,150人 にん じっせきみしゅうがく (実績未就学 2,575人)	みしゅうがく 未就学 3,275人 にん じっせきみしゅうがく (実績未就学 2,559人)	みしゅうがく 未就学 3,400人 にん	みしゅうがく 未就学 3,535人 にん
135	ペアレントトレーニング実施者 養成研修(事業所数/年)	15 場所 (実績4 場所)	30 場所 (実績6 場所)	30 場所 (実績30 場所)	30 場所 (実績34 場所)	30 場所	30 場所
135	ペアレントトレーニングやペア レントプログラム等の支援プ ログラム等の実施者数、 受講者数	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	実施者数:30 場所 受講者数:450人 (実績実施者数: 121 場所 受講者数:2,099 人)	実施者数: 30 場所 受講者数: 450人	実施者数: 30 場所 受講者数: 450人

135	ペアレントメンターの人数 にんずう	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	けんとう 検討 じっせきぜん かい (実績全3回の けんとうかい じっし 検討会を実施)	じっし 実施	じっし 実施
135	ピアサポートの活動への参加 にんずう 人数	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	けんとう 検討 じっせきぜん かい けん (実績全3回の検 とうかい じっし 討会を実施)	じっし 実施	じっし 実施

(3) 学齢障害児に対する支援充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かえり 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
136	がくれいこうきしょうがいじ 学齢後期障害児 しえんじぎょう 支援事業	がくれいこうき ちゅうがくせい こうこうせい 学齢後期(中学生・高校生 ねんだい はったつしょうがいじどう あんてい 年代)の発達障害児等が安定 せいじんき むか した成人期を迎えられるよ じどう かぞくとう そうだん う、児童や家族等からの相談	○	しない しょ じぎょうしょ がくれいこうき 市内4か所の事業所にて学齢後期 ちゅうがくせい こうこうせいねんだい はったつしょうがいじ (中学生・高校生年代)の発達障害児や かぞくとう そうだん せんもんてき しどう 家族等からの相談に専門的な指導、 じよげん おこな 助言を行いました。また、事業の役割・	じぎょう やくわり きのうとう かか 事業の役割・機能等に係る かだいかけつ たいせいきょうか かか 課題解決や体制強化に係る アイデアを共有する場とし ひ つづ じぎょうしょ て、引き続き4事業所との

		<p>専門的な指導、助言を行います。</p> <p>また、関係機関と連携し、</p> <p>発達障害に起因する問題の</p> <p>解決に向けた支援を行います。</p>		<p>機能等に係る課題解決や体制強化にか</p> <p>かるアイデアを共有する場として</p> <p>事業所との意見交換会を4回実施しました。</p>	<p>意見交換会を実施し、教育</p> <p>機関(主に一般校)をはじめ</p> <p>とする関係機関への支援等</p> <p>の高まる市民ニーズに対応</p> <p>する体制づくりについて</p> <p>検討します。</p>
--	--	--	--	---	---

冊子 ページ数	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
137	子ども・子育て支援等 (保育所、放課後児童健全 育成事業所等)における 障害児の受入れ体制の整備	推進 (実績推進)	推進 (実績推進)	推進 (実績推進)	推進 (実績推進)	推進	推進

137	ほうかごとう 放課後等デイサービス事業 (事業所数/年、受給者数/月、 のりようにつすうねん 延べ利用日数/年)	410 箇所(実績)	460 箇所(実績)	510 箇所(実績)	570 箇所(実績)	640 箇所	710 箇所
		418 箇所)	470 箇所)	489 箇所)	514 箇所)		
		8,800人 (実績8,833人)	9,700人 (実績9,886人)	10,700人 (実績10,870人)	12,100人 (実績11,721人)	13,300人	14,600人
		1,128,000人 日 (実績 1,128,471人 日)	1,274,700人日 (実績 1,258,671人 日)	1,440,500人日 (実績 1,396,783人 日)	1,568,700人日 (実績 1,497,086人 日)	1,740,200人日	1,931,600人日
138	ほうかごとう 放課後等デイサービス事業の おも じゅうしやうしんしんしやうがいじ うち、主に重症心身障害児 しえん じぎやうしよ を支援する事業所	22 箇所 (実績20 箇所)	23 箇所 (実績24 箇所)	24 箇所 (実績33 箇所)	26 箇所 (実績32 箇所)	26 箇所	27 箇所
		396人 (実績341人)	414人 (実績376人)	432人 (実績365人)	460人 (実績385人)	490人	520人

	じぎょうしよすう／ねん じゆきゆうしやすう つき (事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつすう／ねん 延べ利用日数/年)	31,680人日 (実績25,049 人日)	33,120人日 (実績27,756人 日)	34,560人日 (実績38,172人 日)	37,630人日 (実績39,998人 日)	40,970人 日	44,610人 日
138	ほうかごとう 放課後等デイサービス事業の うち、主に重症心身障害児 を支援する事業所のある区 の割合(/年)	1 (実績0.72)	1 (実績0.78)	1 (実績0.78)	1 (実績0.78)	1	1
138	はったつしやうがいしやしえん 発達障害者支援センターによ る相談件数(学齢後期障害児 支援事業分)(延べ相談件数/ 年)	6,000件 (実績7,190件)	6,000件 (実績6,102件)	7,200件 (実績7,080件)	8,000件 (実績6,954件)	8,500件	9,000件
139	はったつしやうがいしやしえん 発達障害者支援センター及び はったつしやうがいしやしえん 発達障害者地域支援マネジャ ーの外部機関や地域住民へ	25件 (実績13件)	25件 (実績9件)	30件 (実績10件)	30件 (実績15件)	35件	35件

けんしゅう けいはつ がくれいこうき の研修、啓発(学齢後期 しょうがいじし えんじぎょうぶん けんすう 障害児支援事業分)(件数/ ねん 年)						
---	--	--	--	--	--	--

せいかつ ばめん はぐく まな 3-2 きょういく
 生活の場面3 育む・学ぶ 3-2 教育

(1) りょういく きょういく れんけい によるき れめ のない しえん
 (1)療育と教育の連携による切れ目のない支援

さつし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かえり 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
142	よこはまがた 横浜型センター てききのう じゅうじつ 的機能の充実	ちいきりょういく とくべつ 地域療育センターや特別 しえんがっこう つうきゅうしどうきょうしつとう 支援学校、通級指導教室等 たんとくしゃ しょう ちゅうがっこう の担当者が、小・中学校や じどうせいと ほごしゃ そうだん 児童生徒、保護者からの相談 たいおう とくべつ しえん に対応するなど、特別な支援 ひつよう じどうせいと しえん が必要な児童生徒を支援しま す。	○	とくべつしえんきょういく こうないしえんたいせい じゅうじつ 特別支援教育の校内支援体制を充実 させるため、センター的機能のパンフレ ットをまとめ、しりつがっこう しゅうち けいはつ 市立学校に周知・啓発を はか 図りました。	とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネー ターのスキルアップと そしきか すす 組織化を進めるため、チーフ コーディネーターを中心と きょうぎかい じゅうじつ した協議会を充実します。

142	しゅうがくせつめいかい 就学説明会	とくべつしえんきょういく きぼう 特別支援教育を希望する ようじ しゅうがく かん せつめいかい 幼児の就学に関する説明会 かいさい を開催します。	○	しゅうごうけんしゅう かい さんかんにんずうやく 集合研修1回(6/19)、参加人数約 にん 90人 ホームページに動画掲載:動画7本、計 かいさいせい 13,739回再生	とくべつしえんきょういく きぼう かと 特別支援教育を希望する方 む しゅうがく かん じょうほう 八向け、就学に関する情報 ていきょう きかい かくじゅう 提供の機会を拡充し、 しゅうごうがた せつめいかいおよ 集合型による説明会及び二 ーズに合わせた 就学説明の かくしゅどうがおよ しりょう 各種動画及び資料をホーム ページに掲載します。
142	しゅうがく きょういくそうだん 就学・教育相談 たいせいきょうか の体制強化	ひとり きょういく 一人ひとりの教育ニーズを てきかく はあく じんそく てきせい 的確に把握し、迅速で適正な しゅうがく きょういくそうだん おこな 就学・教育相談を行うため かんけいきかん そうご れんけい に關係機関が相互に連携し しゅうがくまえ そつぎょうご ながら、就学前から卒業後ま みとお そうだんたいせい で見通した相談体制の きょうか はか 強化を図ります。	○	しゅうがく きょういくそうだんけんすう 就学・教育相談件数 れいわ ねんど けん 令和6年度:5,717件	そうだんしんせいほうほう 相談申請方法については、 これまでの 文書による申請 にかえて、 新たに電子申請 を追加します(要件あり)。ま た、引き続き丁寧かつ こうりつてき そうだん おこな 効率的に相談を行うとともに たいききかん たんしゅくおよ に、待期期間の短縮及び

					えんかつ じぎょう すいしん はか 円滑な事業の推進を図ります。
143	ほごしゃきょうしつかいさい 保護者教室開催 じぎょう 事業	よこはましりつしょう ちゅうがっこう とくべつ 横浜市立小・中学校、特別 しえんがっこう ほごしゃ たいしょう 支援学校の保護者を対象と したしょうがい たい ただ した障害に対する正しい ちしき けいはつ すす 知識の啓発を進めます。	○	ほごしゃきょうしつかいさいかいすう さんかじんずう 【保護者教室開催回数(参加人数)】 れいわ ねんど かい やく にんさんか 令和6年度:7回(約1,900人参加)※ オンライン、ろくがはいしんもうしこみしやうごうけい オンライン、録画配信申込者数合計	ぜん かいじっし オンラインで全8回実施しま す。(かくかいさいだい にんさんか す。(各回最大500人参加)
143	しりつようちえんどう 私立幼稚園等 とくべつしえんきょういくひ 特別支援教育費 ほじよじぎょう 補助事業	しりつようちえんどう ざいえん 私立幼稚園等に在園している しょうがいじ たい きょういく 障害児に対する教育が、 しょうがい しゆるい ていど おう 障害の種類・程度などに応じ てきせつ おこな て適切に行われるよう、その けいひ いちが せっちしゃ ほじよ 経費の一部を設置者に補助 し、しょうがいじ きょういく やくだ し、障害児の教育に役立てま す。	○	しがくじよせいえん げんしょう 私学助成園は減少しているため補助 たいしょうじんずう げんしょう えん あ 対象人数も減少していますが、1園当 たりのたいしょうえんじすう ぞうか たりの対象園児数は増加しています。 れいわ ねんど にん ・令和6年度:480人 115,200せんえん 115,200千円	れいわ ねんど にん ・令和7年度:476人 114,240せんえん みこ 114,240千円(見込み)

(2) 教育環境・教育活動の充実

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
145	ICTを活用した教育環境の充実	個々の児童生徒の障害の状況を十分に踏まえ、学習上、生活上の様々な困難に対し、ICTを活用した指導や支援を充実させるとともに、緊急時におけるオンラインでの学習保障や動画コンテンツ配信などについて、検討、実施します。	○	市立特別支援学校13校に、ICT支援員を派遣し、学習支援等に取り組みました。 【ICT支援員の派遣回数】 令和4年度:62回 令和5年度:62回 令和6年度:62回	引き続き、ICTに関する専門スタッフ支援を進め、オンラインでの学習等を進めます。

<p>145</p>	<p>しょうがいとくせい おう 障害特性に応じ きょういく じゅうじつ た教育の充実</p>	<p>こべつしえんがつきゅう くわ 個別支援学級に加えて、 いっばんがつきゅう とくべつ 一般学級においても、特別 しえん よう じどうせいと な支援を要する児童生徒が ぞうか しえん 増加し、支援のニーズが たようか じょうきょう ふ 多様化している状況を踏ま え、ケーススタディを重視し けんしゅう じゅうじつ すべ た研修を充実させます。全 きょういん しょうがい じょうたい ての教員が障害の状態や とくせい おう しどう しえん 特性に応じた指導・支援が おこな せんもんせい こうじょう 行えるよう専門性の向上を はか 図ります。 しょう ちゅうがっこう きょういん また、小・中学校の教員が とくべつしえんがっこうきょうゆめんきょじょう 特別支援学校教諭免許状を</p>	<p>○</p>	<p>けいけんねんすう べつ けんしゅう 経験年数やテーマ別に応じた研修を おこな とくべつしえんがっこうきょうゆ 行いました。特別支援学校教諭 めんきょじょうしゅとく じゅこうりょうじょせい 免許状取得のための受講料助成を れいわ ねんど かいし しんせいしやすべ 令和2年度から開始し、申請者全てに こうふ 交付しました。 れいわ ねんどほじょけんすう けん 令和6年度補助件数:25件</p>	<p>ひ つづ すべ きょういん 引き続き、全ての教員が しょうがい じょうたい とくせい おう 障害の状態や特性に応じ しどう しえん おこな た指導・支援が行えるよう、 けんしゅう じゅうじつ 研修を充実させます。ま しょう ちゅうがっこう きょういん た、小・中学校の教員が とくべつしえんがっこうきょうゆめんきょじょう 特別支援学校教諭免許状を しゅとく じゅこうりょう 取得するための受講料を じょせい 助成します。</p>
------------	--	--	----------	---	---

		<p>取得<small>しゅどく</small>するための受講料助成<small>じゅこうりょうじょせい</small></p> <p>を新た<small>あら</small>に実施<small>じっし</small>します。</p>			
--	--	---	--	--	--

<p>146</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コ ーディネーター の機能強化とス キルアップ</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネーター 一養成研修を受講して活動 している特別支援教育コ ーディネーター(教員)を対象 に、更なるスキルアップを 目指して、事例研究などを 中心とした研修を進めると ともに、関係機関との連携を 強化し、専門的な資質を高め ます。</p>	<p>○</p>	<p>（【コーディネーター養成研修】(10回 の連続講座に各回約387人受講) 【スキルアップ研修】 (全11回/延べ約109人受講) 【ブラッシュアップ研修】 (全10回/延べ約450人受講) 【リラーニング研修】 (全6回/延べ約96人受講)</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネ ーター養成研修に加え、養成 研修修了者を対象とした スキルアップ研修、ブラッシ ュアップ研修、また、学び直 しの機会としてリラーニング 研修を実施し、専門性と質 の向上を図ります。研修は 集合型とオンラインにより 実施します。 また、各区の代表であるチ ーフコーディネーター会議等 において研修・情報共有・ 事例検討を行い、更なる</p>
------------	---	---	----------	---	---

				<p>せんもんてき ししつ こうじょう め ぎ 専門的な資質の向上を目指 します。</p> <p>じっしよてい 【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター養成研修 (8回の連続講座に各回約3 50人受講) ・スキルアップ研修 (全11回/延べ約100人 受講) ・ブラッシュアップ研修 (全6回/延べ約350人 受講) ・リラーニング研修 (全5回/延べ約75人受講)
--	--	--	--	---

<p>146</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育 しえんいんじぎょう 支援員事業</p>	<p>しょう ちゅう ぎ む きょういくがっこう 小・中・義務教育学校で しょうがい がくしゅうめん せいかつめん 障害により学習面、生活面 あんぜんめん はいりょう ひつよう や安全面への配慮等が必要 じどうせいと とくべつしえんきょういく な児童生徒に特別支援教育 しえんいん はいち こうないしえん 支援員を配置し、校内支援 たいせい じゅうじつ はか 体制の充実を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>しょう ちゅうがっこう しょうがいどう 小・中学校において、障害等により がくしゅうめん せいかつめん あんぜんめん しえん 学習面や生活面、安全面への支援が ひつよう じどうせいと たい とくべつしえんきょういく 必要な児童生徒に対し、特別支援教育 しえんいん はいち 支援員を配置しました。</p>	<p>しょうちゅうがっこうどう 小中学校等において、 しょうがい がくしゅうめん 障害などにより学習面、 せいかつめんどう しえん ひつよう 生活面等への支援が必要な じどうせいと たい とくべつしえん 児童生徒に対し、特別支援 きょういくしえんいん はいち 教育支援員を配置します。</p>
<p>147</p>	<p>ちようかくしょうがいじしえん 聴覚障害児支援 じぎょう 事業</p>	<p>しょう ちゅう ぎ む きょういくがっこう 小・中・義務教育学校に ざいせき ちようかくしょうがい 在籍する聴覚障害のある じどうせいと 児童生徒にノートテイクによ じょうほう ほしょう じっし る情報の保障を実施します。</p>	<p>○</p>	<p>しょう ちゅうがっこう ちようかくしょうがい じゆぎょう 小・中学校で聴覚障害があり、授業 とう ばめん しえん ひつよう じどうせいと 等の場面での支援が必要な児童生徒 たい はけん に対しボランティアを派遣しました。 れいわ ねんどはけんじつせき かい 令和6年度派遣実績:653回</p>	<p>ひ つづ たいしやう じどうせいと 引き続き、対象の児童生徒 にノートテイクボランティア を派遣します。</p>
<p>147</p>	<p>じゆんかいがたしどう 巡回型指導の じっし ふうきゆう 実施による通級 しどう じゅうじつ 指導の充実</p>	<p>じどうせいと ざいせきこう じゆんかい 児童生徒の在籍校を巡回し しどう おこな きょうどうがたじゆんかい て指導を行う「協働型巡回 しどう じっし ふうきゆう 指導」を実施します。通級 しどう たんとうきょういん ざいせきこう 指導の担当教員が在籍校を</p>	<p>○</p>	<p>じょうしよしょうがい えーでいえいちでいつきゆうしどうきょうしつ 情緒障害・ADHD通級指導教室を せっち しょうがっこうぜんこう こう 設置する小学校全校(12校)で、 きょうどうがたじゆんかいしどう かいし 協働型巡回指導を開始しました。</p>	<p>ひ つづ じょうしよしょうがい 引き続き、情緒障害・ えーでいえいちでいつきゆうしどうきょうしつ ADHD通級指導教室を せっち しょうがっこうぜんこう 設置する小学校全校(12 こう じょうどうがたじゆんかいしどう 校)で、協働型巡回指導を</p>

		<p>ほうもん じどうせいと しどう 訪問し、児童生徒の指導や</p> <p>じゆぎょうさんかん おこな 授業参観を行うとともに、</p> <p>がっきゅうたんになんとう にちじょうてき 学級担任等と日常的に</p> <p>じょうほう きょうゆう きょうどう 情報を共有するなど、協働</p> <p>がっこうせいかつ しえん して学校生活を支援します。</p>			<p>じっし れいわ 実施します。また、令和7</p> <p>ねんど つうきゅうしどうきょうしつ 年度に、通級指導教室を</p> <p>しょうがっこう こうしんせつ 小学校に1校新設すること</p> <p>あ きょうどうがたじゆんかい に合わせ、協働型巡回</p> <p>じっしこう こうふ よてい 実施校も1校増える予定。</p> <p>じっさい じゆんかいしどうかいし (実際の巡回指導開始は、</p> <p>れいわ ねん がついこう みこ 令和8年4月以降の見込</p> <p>み。)</p>
148	<p>いりょうてき たいせい 医療的ケア体制</p> <p>じゅうじつ の充実</p>	<p>しょう ちゅう ぎ む きょういくがっこう 小・中・義務教育学校や</p> <p>とくべつしえんがっこう 特別支援学校における</p> <p>いりょうてき じっしさいせい 医療的ケアの実施体制を</p> <p>じゅうじつ 充実させます。</p> <p>とくべつしえんがっこう 特別支援学校においては、</p> <p>じんこうこきゅうきどうこうど いりょうてき 人工呼吸器等高度な医療的</p>	○	<p>しょう ちゅうがっこうとう かんごし 小・中学校等では、看護師によるケア</p> <p>ひつよう じどうせいとすべ たい を必要とする児童生徒全てに対して</p> <p>かんごし はけん 看護師を派遣しました。</p> <p>また、とくべつしえんがっこう したいふじゅう 特別支援学校では、肢体不自由</p> <p>とくべつしえんがっこう こう かんごし はいち 特別支援学校6校に看護師を配置し、</p> <p>いりょうてき ともな じどうせいと あんしん 医療的ケアを 伴う児童生徒が安心・</p>	<p>しょうちゅうがっこうとう 小中学校等において</p> <p>にちじょうてき かくたんきゅういん 日常的に喀痰吸引などの</p> <p>いりょうてき ひつよう じどう 医療的ケアが必要な児童</p> <p>せいと たい かんごし はけん 生徒に対し、看護師を派遣し</p> <p>ます。</p> <p>とくべつしえんがっこう 特別支援学校においては、</p> <p>かんごし はいち 看護師を配置するとともに、</p>

		<p>ケアにも対応できるよう、 体制の強化を図ります。</p>		<p>安全に教育を受けられる環境を整備 しました。 引き続き、人工呼吸器等の高度な 医療的ケアにも対応し、保護者の付き 添い解消に取り組めます。</p>	<p>引き続き、人工呼吸器等の 高度な医療的ケアにモデル 的に取り組めます。</p>
148	<p>とくべつしえんがっこう 特別支援学校の じゅうじつ 充実</p>	<p>在籍児童生徒の障害の 多様化・重度化・重複化を踏 まえ、教育課程の充実、施設 設備の改修や、福祉車両の 活用など通学支援の新たな 方策の検討・試行など教育 環境の充実に取り組ま す。</p>	○	<p>医療的ケアの必要な児童生徒の通学 支援として、肢体不自由校で 24 コー ス分の福祉車両を運行しました。また、 令和6年度からは、新たな制度を導入 し、既存制度で乗車できていない児童 生徒で、利用希望のある 22人のうち 16人が福祉車両を利用できるように しました。</p>	<p>多様な児童生徒一人ひとり のニーズを踏まえ、教育 環境の充実に引き続き取 り組みます。また、医療的ケ アが必要な児童生徒の通学 支援として、福祉車両の 増車に取り組めます。</p>

<p>148</p>	<p>じゆうどほうもんかいご 重度訪問介護</p> <p>りようしゃ だいがく 利用者の大学</p> <p>しゅうがくしえんじぎょう 修学支援事業</p>	<p>じゆうどほうもんかいご りよう 重度訪問介護を利用する</p> <p>じゆうどしょうがいしゃ だいがく しゅうがく 重度障害者が大学で修学す</p> <p>るためのしえん じっし 支援を実施します。</p>	<p>○</p>	<p>めい たい だいがく つうがくちゅう 2名に対して大学への通学中および</p> <p>だいがく しきちない しんたいかいごとう 大学の敷地内における身体介護等を</p> <p>じっし 実施しました。</p> <p>また、しんきりようきぼうしゃ そうだん おう 新規利用希望者の相談に応じ、</p> <p>りよう む ちょうせい おこな 利用に向けての調整を行いました。</p>	<p>だいがくとう じゆうどしょうがいしゃ 大学等において重度障害者</p> <p>しゅうがく ひつよう が修学するために必要な</p> <p>しえんたいせい こうちく 支援体制が構築されるま</p> <p>で、しんがく きぼう ひと 進学を希望する人が</p> <p>ほんせいど りよう あんしん 本制度を利用し安心して</p> <p>しゅうがく ひ つづ 修学ができるよう、引き続</p> <p>えんかつ じぎょううんえい おこな き円滑な事業運営を行って</p> <p>いきます。</p>
------------	---	--	----------	---	---

(3) 教育から就労への支援

冊子 ページ数	事業名	事業内容	令和6年度 評価	令和6年度 振り返り	令和7年度 取組予定
150	特別支援学校 就労支援事業	障害者就労支援センター等 関係機関と連携しながら、 生徒の就労を支援します。 また、実習先開拓や職場 定着支援のため、高等特別 支援学校(若葉台特別支援 学校知的障害教育部門を含 む)に就労支援指導員を配置 します。	○	高等特別支援学校(日野中央、二つ 橋、若葉台知的障害教育部門)の3校 に1人ずつ就労支援指導員を配置し、 各校における実習先開拓や職場定着 支援に寄与しました。	引き続き、高等特別支援 学校(日野中央、二つ橋、 若葉台知的障害教育部門) の3校に1人ずつ就労支援 指導員を配置し、生徒の 就労を支援します。

<p>150</p>	<p>とくべつしえんがっこう 特別支援学校</p> <p>しんろたんとうかん 進路担当間の</p> <p>れんけいきょうか 連携強化</p>	<p>しりつとくべつしえんがっこう しんろ 市立特別支援学校の進路</p> <p>たんとうしゃ しょうがいしゅべつ こ 担当者が障害種別を超えて</p> <p>ていきてき じょうほうこうかん じれい 定期的に情報交換や事例</p> <p>けんきゅう おこな はばひろ しんろ 研究を行い、幅広い進路</p> <p>せんたく たいおう れんけい 選択に対応できるよう連携を</p> <p>きょうか 強化します。</p>	<p>○</p>	<p>しりつとくべつしえんがっこう しんろたんとうしゃ 市立特別支援学校の進路担当者の</p> <p>じょうほうこうかん じれいけんきゅう ねんかん かいていど 情報交換や事例研究を年間3回程度</p> <p>じっし はばひろ しんろせんたく たいおう 実施し、幅広い進路選択に対応できる</p> <p>ようにしました。</p>	<p>しんろたんとうしゃれんらくかいどう じっし 進路担当者連絡会等を実施</p> <p>がっこうかん じょうほうこうかん し、学校間の情報交換や</p> <p>じれいけんしゅうどう つう れんけい 事例研修棟を通じた連携</p> <p>きょうか とく 強化に取り組みます。</p>
------------	--	--	----------	--	---

せいかつ ばめん はたら たの 4-1 しゅうろう
 生活の場面4 働く・楽しむ 4-1 就労

いっばんしゅうろう そくしん こようご ていちゃくし えん じゅうじつ
 (1)一般就労の促進と雇用後の定着支援の充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふりかえり 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
154	しゅうろうしえん 就労支援センタ ーを中心とし た、ちいき 地域におけ るしゅうろうしえん 就労支援ネッ トワークのこうちく 構築	しょうがいしゃ しゅうろう ささ かんけい 障害者の就労を支える関係 きかん とくべつしえんがっこう しゅうろう 機関(特別支援学校、就労 いこうしえんじぎょうしょ 移行支援事業所、ハローワー ーク等)とのれんけい きょうりょくたいせい 連携・協力体制を こうちく しゅうろう けいぞく か 構築します。就労の継続に欠 かせないせいかつめん 生活面でのサポート じゅうじつ ちいき を充実させるため、地域の かんけいきかん れんけい ほんにん 関係機関と連携し、本人への しえん えんかつ すす 支援を円滑に進めます。	○	しょうがいしゃしゅうろうしえん しゅうろういこう 障害者就労支援センターと就労移行 しえんじぎょうしょ れんらくかい こうけんてきしえんしつ 支援事業所との連絡会、後見的支援室 いけんこうかんかい じっし しゅうろうしえん との意見交換会を実施をし、就労支援 およ せいかつしえん すいしん ちいき かんけい 及び生活支援を推進する地域の関係 きかん れんけい ほか 機関との連携を図りました。 そのほか、かく センターがちいき 各センターが地域において ネットワークがこうちく かいぎどう 構築できるよう会議等 へのしゅつせき つう しえん 出席を通じ支援しています。	しょうがいしゃ ちいき しゅうろう 障害者が地域で就労や せいかつ そうだん しゅうしょく 生活の相談ができ、就職や しゅうろうけいぞく 就労継続ができるよう、 しょうがいしゃしゅうろうしえん 障害者就労支援センターと かんけいきかん れんけい 関係機関が連携できるよう しえん 支援します。

<p>154</p>	<p>就労支援センター 一職員の人材育成 【再掲】</p>	<p>多様な就労ニーズに対応できるよう、就労支援スキルを向上させるため、研修の実施など、人材育成を進めます。</p>	<p>○</p>	<p>障害者雇用促進法改正についての集合研修、グループワーク形式を取り入れた事業主支援に関する研修を実施しました。また人事交流を兼ねた事例検討会を実施し、具体的支援を学び合いました。これにより知識と技術の向上を図りました。</p>	<p>多様な就労ニーズに対応できるよう、就労支援の知識をアップデートできる集合研修を行います。また、支援技術の向上を目的に、グループワーク形式を取り入れた研修を実施することにより、人材育成を促進します。</p>
<p>155</p>	<p>就労促進を目的とした事業所 職員向け研修 【再掲】</p>	<p>障害者雇用を行っている企業での「就業体験」の研修を通じて、事業所職員の就労支援スキルの向上、就労に向けた意識付けにつながります。</p>	<p>○</p>	<p>就労支援事業所の支援員及び利用者を対象に、障害者を雇用している企業・団体での体験・見学会を実施しました。支援員には就労支援スキルの向上、利用者には就労に向けた意識づけにつながりました。</p>	<p>就労支援事業所の支援者が、利用者に対し一般就労を促す支援が行えるよう、企業・団体等を利用者と共</p>

					<p>おとず けんがく たいげん じっしゅう に訪れ、見学・体験・実習を</p> <p>おこな きかい ていきょう 行う機会を提供します。</p>
155	<p>こようしさく かくし 雇用施策と福祉</p> <p>しさく れんけい 施策の連携によ</p> <p>じゅうどうがいしゃとう る重度障害者等</p> <p>への就労支援</p> <p>じゅうどうがいしゃとう (重度障害者等</p> <p>しゅうろうしえんとくべつ 就労支援特別</p> <p>じぎょう 事業)</p>	<p>ほうてい たいしょうがい 法定サービスでの対象外と</p> <p>なっている重度障害者の</p> <p>けいざいかつどう じ かんちゅう しえん 経済活動時間中の支援を</p> <p>こようしさく かくししさく れんけい 雇用施策と福祉施策が連携</p> <p>して行う制度を検討し、実施</p> <p>します。</p>	○	<p>めい たい しゅうろう じ かんちゅう しんたいかいご 2名に対して就労時間中の身体介護</p> <p>とう じっし 等を実施しました。</p> <p>また、相談窓口(委託)と連携して新規</p> <p>りようきぼうしゃ そうだん おう りよう む 利用希望者の相談に応じ、利用に向け</p> <p>て調整を行いました。</p>	<p>つうきんまた しゅうろう じ かんちゅう 通勤又は就労時間中の</p> <p>しえん ひつよう じゅうど 支援を必要とする重度</p> <p>しょうがいしゃ ほんせいど りよう 障害者が本制度を利用でき</p> <p>るよう、引き続き円滑な</p> <p>じぎょううんえい おこな 事業運営を行っていきま</p> <p>す。</p>

さっし 冊子ページ すう 数	しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
156	ふくししせつ いっぱんしゅうろう 福祉施設から一般就労への いこうしゃすう 移行者数	460人 (実績675人)	498人 (実績764人)	536人 (実績1,075人)	1,030人 (実績1,056人)	1,079人	1.131人
156	しゅうろういこうしえんじぎょう 就労移行支援事業の りょうしゃすう 利用者数	1,476人分 (実績1,508 人分)	1,547人分 (実績1,561 人分)	1,617人分 (実績1,561 人分)	1,688人分 (実績1,496 人分)	1,759人分	1,830人分
156	しゅうろういこうしえん りょうしゃ 就労移行支援の利用者のう ちしゅうろういこうりつ ち就労移行率が3割以上の じぎょうしょ わりあい 事業所の割合	0.342 (実績0.39)	0.421 (実績0.45)	0.5 (実績0.58)	0.54 (実績0.53)	1	1
156	しゅうろういこうしえんじぎょうりょう 就労移行支援事業利用 しゅうりょうしゃ し 終了者に占める一般就労へ いこう もの わりあい わりいじょう 移行した者の割合が5割以上 のじぎょうしょ わりあい 事業所の割合	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	0.5 (実績0.66)	1	1

156	しゅうろうけいぞくしえんえーがたじぎょう 就労継続支援A型事業にお ける一般就労移行者数	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	46人 じっせき (実績50人)	49人	52人
157	しゅうろうけいぞくしえんびーがたじぎょう 就労継続支援B型事業にお ける一般就労移行者数	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	103人 じっせき (実績169人)	108人	113人
157	しゅうろうていちゃくしえんりようしゃすう 就労定着支援利用者数	1,070人 じっせき (実績672人)	1,190人 じっせき (実績939人)	1,397人 じっせき (実績836人)	1,728人 じっせき (実績912人)	2,028人	2,272人
157	しゅうろうていちゃくりつ わりいじょう しゅうろう 就労定着率7割以上の就労 定着支援事業所の割合	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	- じっせき (実績-)	0.25 じっせき (実績0.88)	0.25	0.25

(2)幅広い仕事や工賃の向上による生活の充実

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かせり 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
158	きょうどうじゅちゆう 共同受注センタ とう 一等による受注 そくしん 促進	きぎょう ぎょうせいきかん から、じぎょうしょ 企業・行政機関から、事業所 とくせい い はばひろ の特性を生かした幅広い しごと じゅちゆう 仕事の受注ができるよう、コ おこな ーディネートを行います。 しな い とう しゅってん 市内イベント等への出店や じしゅせいひん しょうかいとう つう 自主製品の紹介等を通じ、 はんろ かくだい 販路を拡大するとともに、 しょうがいしゃしゅうろう りかいそくしん 障害者就労への理解促進を はか 図ります。	○	きょうどうじゅちゆう じゅちゆうそくしん 共同受注センターによる受注促進に くわ きぎょうとう しゃないはんばい だいがく 加え、企業等での社内販売や大学での はんばいかい かいさいとう つう しょうがいしゃしゅうろう 販売会の開催等を通じて、障害者就労 りかいそくしん すす への理解促進を進めました。 きょうどうじゅちゆう じゅちゆうきんがく 【共同受注センターによる受注金額 (件数)】 れいわ ねんど えん 令和5年度:61,601,034円(365 けん 件) れいわ ねんど えん 令和6年度:88,444,929円(490 けん 件)	じぎょうしょ とくせい い 事業所の特性を生かした はばひろ しごと じゅちゆう 幅広い仕事の受注ができる おこな よう、コーディネートを行う はっちゅうしゃ とともに、発注者となりうる きぎょう ぎょうせいきかんとう たい 企業・行政機関等に対して、 しょうがいしゃしゅうろう りかいそくしん 障害者就労への理解促進 はか を図ります。

158	<p>事業所の受注スキルの向上</p>	<p>発注者側のニーズに応えられる商品の開発や作業の受注ができるよう、研修会やモデルケースとなる事例検討などを実施し、事業所の受注スキルの向上を図り、多くの受注につながります。</p>	○	<p>民間企業等からの多岐にわたる作業依頼や出店依頼を受けることで、事業所の販売力や対応力の向上につながりました。また、研修会の実施により、事業所が受注できる作業範囲を広げることで、今後も需要が見込まれる依頼を安定して受注できるよう技術の習得を推進しました。</p>	<p>多くの受注につながるよう、引き続き発注者からの依頼を調整するほか、研修内容の検討を行い、発注者のニーズに対応できる事業所の増加を促します。</p>
159	<p>優先調達の推進</p>	<p>横浜市役所からの事業所への優先的な発注を更に推進します。また、庁内LANなどを活用し、区局等の発注事例を広く周知し、新たな発注につながります。</p>	○	<p>本市職員専用のポータルサイト上で優先調達事例を掲載したほか、会議等を活用した庁内周知を行い、優先調達の推進を図りました。</p> <p>【優先調達実績】</p>	<p>引続き前年度の調達実績を上回ることを目標に、各区局への庁内啓発を進めていきます。</p>

				れいわ ねんど おく まん えん 令和5年度:4億6,482万685円 れいわ ねんど おく まん えん 令和6年度:5億2,917万4,169円	
--	--	--	--	--	--

(3) 多様な働き方や障害者就労に対する理解促進

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かせり 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
160	しょうがいしゃしゅうろう かん 障害者就労に関 しみんけいはつ する市民啓発	かいさいとう つう シンポジウムの開催等を通 さまざま ぶんや はたら じ、様々な分野で働く しょうがいしゃ しょうがいしゃこよう すす 障害者や障害者雇用を進め きぎょう なま こえ つた ている企業の「生の声」を伝 しょうがいしゃしゅうろう たい え、障害者就労に対する りかい かんしん たか 理解・関心を高めます。	○	おお かた じょうほう とど し より多くの方へ情報が届くよう、市 やくしょ かい およ しみんきょうどうすいしん 役所1階アトリウム及び市民協働推進 センター スペースA Bで開催しまし た。 てん じぎょうしょ じしゅせいひんはんばい パネル展や事業所の自主製品販売、 しゅうろうしえん そうだんまどぐちとう あわ 就労支援センターの相談窓口等を併せ かいさい こうかてき しょう て開催することで、より効果的に障 がいしゃしゅうろう かん ふきゅうけいはつ おこな 害者就労に関する普及啓発を行いま	てんとう シンポジウムやパネル展等 のイベントについて、昨年度 さくねんど までの実績も踏まえ、開催 じっせき ふ かいさい までの実績も踏まえ、開催 ほうほう ないよう けんとう 方法・プログラム内容を検討 こうかてき しょうがいしゃ し、より効果的に障害者 しゅうろうけいはつ お すす 就労啓発を押し進めていき ます。

				<p>した。</p> <p>【シンポジウム参加者数】</p> <p>会場参加:424名</p> <p>当日YouTube視聴回数:67回</p> <p>YouTubeアーカイブ再生回数</p> <p>:約750回</p>	
161	<p>障害者雇用に関する企業啓発</p>	<p>障害者雇用を検討している企業に向けて、雇用に関するセミナー等を実施し、合理的配慮の必要性など企業内で障害理解の促進を図ります。</p>	○	<p>企業等や各種団体からの依頼を受け、出前講座事業を実施しました。</p> <p>また、横浜市のホームページ上に、新規で障害者雇用好事例を紹介しました。</p> <p>【出前講座 令和6年度実績】</p> <p>2回(13社)</p>	<p>出前講座事業については、開催時の参加社数が少ないことから、より効率よく企業等や各種団体に啓発ができるよう、実施方法も含め検討を進めていきます。</p>

<p>161</p>	<p>ふれあいショッ プ等を活用した 障害者就労に関 する理解促進</p>	<p>あら かいぎよう じえーあーる 新たに開業する J R</p> <p>かんないえききたぐちこうかした しゅうろう 関内駅北口高架下の就労</p> <p>けいはつし せつおよ しちようしゃない 啓発施設及び市庁舎内のふ れあいショップをはじめ、 きぞん 既存のふれあいショップ等の うんえい つう しゅうろう かん 運営を通じて、就労に関する りかい そくしん はか 理解の促進を図ります。</p>	<p>△</p>	<p>きぞん 既存のふれあいショップにおいて、 うんえい つう しゅうろうりかい そくしん 運営を通じ就労理解を促進しました。</p> <p>たほう しゅうしふさいさん じえーあーる 他方、収支不採算のために、J R</p> <p>かんないえききたぐちこうかした しゅうろうけいはつし せつ 関内駅北口高架下の就労啓発施設や ふれあいショップの事業者撤退があつ たため、適切な手続きを行いました。</p>	<p>きぞん 既存のふれあいショップに おいて、運営を通じ就労 りかい はか じえーあーる 理解を図りつつ、J R</p> <p>かんないえききたぐちこうかした しゅうろう 関内駅北口高架下の就労 けいはつし せつ かつようおよ 啓発施設の活用及びふれあ いショップの今後の方向性 について、様々な可能性を ふ けんとう おこな 踏まえ検討を行います。</p>
------------	--	---	----------	---	---

生活の場面4 働く・楽しむ 4-2 日中活動

(1) 日中活動場所の選択肢の充実

冊子 ページ数	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
165	生活介護(／月)	7,732人分 (実績8,362人分)	7,982人分 (実績8,526人分)	8,232人分 (実績8,659人分)	8,482人分 (実績8,861人分)	8,732人分	8,982人分
		128,853人日 (実績139,854人日)	133,022人日 (実績140,753人日)	137,192人日 (実績143,385人日)	141,361人日 (実績144,919人日)	145,531人日	149,700人日
165	生活介護(重度障害者)(／月) ※「重度障害者」とは、強度 行動障害や高次脳機能障害	- (実績-)	- (実績-)	- (実績-)	3,749人分 (実績3,698人分)	3,887人分	4,025人分

	ゆうしょうがいしゃ いりようてき を有する障害者、医療的ケア ひつよう ものとう あらわ を必要とする者等を表して います。						
165	じりつくんれん きのうくんれん 自立訓練(機能訓練)(／月)	42人分 (実績30人分)	42人分 (実績30人分)	42人分 (実績42人分)	42人分 (実績33人分)	42人分	42人分
		826人日 (実績428人日)	826人日 (実績456人日)	826人日 (実績604人日)	826人日 (実績452人日)	826人日	826人日
166	じりつくんれん せいかつくんれん 自立訓練(生活訓練)(／月)	359人分 (実績405人分)	376人分 (実績488人分)	393人分 (実績539人分)	410人分 (実績613人分)	427人分	444人分
		5,812人日 (実績6,666人日)	6,088人日 (実績8,011人日)	6,363人日 (実績8,622人日)	6,638人日 (実績9,154人日)	6,913人日	7,189人日

166	就労移行支援事業(／月)	1,476人分 (実績1,508人分)	1,547人分 (実績1,561人分)	1,617人分 (実績1,561人分)	1,688人分 (実績1,496人分)	1,759人分	1,830人分
	【再掲】	25,099人日 (実績26,726人日)	26,303人日 (実績27,339人日)	27,507人日 (実績27,210人日)	28,711人日 (実績25,915人日)	29,915人日	31,119人日
166	就労継続支援事業(A型)(／月)	880人分 (実績719人分)	919人分 (実績654人分)	958人分 (実績692人分)	997人分 (実績725人分)	1,035人分	1,074人分
		17,203人日 (実績13,674人日)	17,962人日 (実績12,156人日)	18,721人日 (実績12,904人日)	19,480人日 (実績13,394人日)	20,239人日	20,999人日
167	就労継続支援事業(B型)(／月)	4,605人分 (実績4,691人分)	4,857人分 (実績5,145人分)	5,109人分 (実績5,645人分)	5,361人分 (実績6,192人分)	5,613人分	5,866人分

		79,012人 ^{にん} 日 ^ひ (実績 ^{じっせき} 77,897人 ^{にん} 日 ^ひ)	83,339人 ^{にん} 日 ^ひ (実績 ^{じっせき} 83,354人 ^{にん} 日 ^ひ)	87,666人 ^{にん} 日 ^ひ (実績 ^{じっせき} 91,330人 ^{にん} 日 ^ひ)	91,993人 ^{にん} 日 ^ひ (実績 ^{じっせき} 98,538人 ^{にん} 日 ^ひ)	96,320人 ^{にん} 日 ^ひ	100,647人 ^{にん} 日 ^ひ
167	就労選択支援 ^{しゅうろうせんたくしえん}	- (実績 ^{じっせき} -)	- (実績 ^{じっせき} -)	- (実績 ^{じっせき} -)	- (実績 ^{じっせき} -)	250人 ^{にん}	500人 ^{にん}
167	地域活動支援センター ^{ちいきかつどうしえんせんたー} 作業所型 ^{さぎょうじょがた}	130か所 ^{しょ} (実績 ^{じっせき} 138か所 ^{しょ})	130か所 ^{しょ} (実績 ^{じっせき} 137か所 ^{しょ})	130か所 ^{しょ} (実績 ^{じっせき} 137か所 ^{しょ})	145か所 ^{しょ} (実績 ^{じっせき} 133か所 ^{しょ})	146か所 ^{しょ}	147か所 ^{しょ}
		2,600人 ^{にん} (^{ねん} 年) (実績 ^{じっせき} 2,894人 ^{にん} (^{ねん} 年))	2,600人 ^{にん} (^{ねん} 年) (実績 ^{じっせき} 2,868人 ^{にん} (^{ねん} 年))	2,600人 ^{にん} (^{ねん} 年) (実績 ^{じっせき} 2,863人 ^{にん} (^{ねん} 年))	2,600人 ^{にん} (^{ねん} 年) (実績 ^{じっせき} 2,726人 ^{にん} (^{ねん} 年))	2,600人 ^{にん} (^{ねん} 年) (実績 ^{じっせき} 2,726人 ^{にん} (^{ねん} 年))	2,600人 ^{にん} (^{ねん} 年)
167	中途障害者地域活動センター ^{ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう}	18か所 ^{しょ} (実績 ^{じっせき} 18か所 ^{しょ})	18か所 ^{しょ} (実績 ^{じっせき} 18か所 ^{しょ})	18か所 ^{しょ} (実績 ^{じっせき} 18か所 ^{しょ})	18か所 ^{しょ} (実績 ^{じっせき} 18か所 ^{しょ})	18か所 ^{しょ}	18か所 ^{しょ}

		517人(／年) <small>じっせき</small> (実績479人(／ <small>ねん</small> 年))	517人(／年) <small>じっせき</small> (実績455人(／ <small>ねん</small> 年))	517人(／年) <small>じっせき</small> (実績443人(／ <small>ねん</small> 年))	517人(／年) <small>じっせき</small> (実績444人(／ <small>ねん</small> 年))	517人(／ <small>ねん</small> 年)	517人(／ <small>ねん</small> 年)
--	--	--	--	--	--	-----------------------------------	-----------------------------------

(1)スポーツ活動の推進

さっし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふりかえり 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
171	しょうがいしゃ 障害者スポーツ けいはつ りかい の啓発と理解の そくしん 促進	とうきょう 東京2020パラリンピック たか かんしん しょうがいしゃ により高まる関心を障害者 ふきゅうけいはつ スポーツの普及啓発につなげ しょうがいしゃ ぶんか るため、障害者スポーツ文化 よこはまし センターや横浜市スポーツ きょうかい ちいき さまざま だんたいとう 協会、地域の様々な団体等 れんけい しょうがいしゃ と連携し、障害者スポーツの すその ひろ とりくみ おこな 裾野を広げる取組を行うと しょうがいしゃ つう ともに、障害者スポーツを通	○	しょうがいしゃ ぶんか よこはま 障害者スポーツ文化センター(横浜ラ ポール・ラポール かもおおか しょうがいしゃ ポール・ラポール上大岡)で、障害者ス たいけんかい きょうしつとう じっし ポーツの体験会や教室等を実施しまし た。	しょうがいしゃ ぶんか 障害者スポーツ文化センタ よこはま ー(横浜ラポール・ラポール かもおおか さまざま きかい とら 上大岡)で、様々な機会を捉 しょうがいしゃ え、障害者スポーツの たいけんかい きょうしつとう じっし 体験会や教室等を実施して いきます。

		<p>しょうがい りかいそくしん はか じた障害への理解促進を図 ります。</p>			
171	<p>みちか ちいき 身近な地域にお ける障害者スポ ーツの推進</p>	<p>ひ つづ しょうがいしゃ みちか 引き続き、障害者が身近な ちいき とう く 地域でスポーツに取り組める よう、各区のスポーツセンタ ーや中途障害者地域活動セ ンター等と連携し、地域の じんざいいくせい すす 人材育成を進めながら、 しょうがいしゃ すいしん はか 障害者スポーツの推進を図 ります。</p>	○	<p>よこはまし きょうかい ちゅうしょうがいしゃ 横浜市スポーツ協会や中途障害者 ちいきかつどう とう れんけい しょうがい 地域活動センター等と連携し、障害の ある人の身近な地域での障害者スポ ーツの取組を行いました。また、 しょうがいしゃ しゅうちかつどう 障害者スポーツの周知活動、スポーツ ボランティア養成講座や初級パラスポ ーツ指導員研修会等の実施を通して、 しえんしゃ しどうしゃ じんざいいくせい と く 支援者・指導者の人材育成に取り組み ました。</p>	<p>ちゅうしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動センタ ー、横浜市スポーツ協会等 と連携し、障害のある人の 身近な地域での障害者スポ ーツの取組を推進してい ます。また、障害者スポー ツの周知活動、スポーツボラ ンティア養成講座や初級パラ スポーツ指導員研修会等の 実施を通して、支援者・ 指導者の人材育成を進めて いきます。</p>

<p>172</p>	<p>インクルーシブスポーツ等の推進</p>	<p>市スポーツ協会と社会福祉 法人横浜市リハビリテーション事業団(ラポール)との連携 協定に基づき、地域で誰もが楽しめるインクルーシブスポーツを推進します。</p>	<p>○</p>	<p>・YOKOHAMAスポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催 ・18区におけるインクルーシブスポーツの体験会・交流会の実施 ・さわやかスポーツの普及 ・モルックの大会・体験会の開催 ・市内6つの競技団体に補助金を交付</p>	<p>・18区でのインクルーシブなスポーツ体験会・交流会の実施やYOKOHAMA スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催等を通じて、年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが共にスポーツを楽しめる機会を創出します。 ・横浜市スポーツ協会、横浜市リハビリテーション事業団が伴走型支援を行い、各競技団体が主体となって行うパラスポーツ</p>
------------	------------------------	---	----------	---	--

					きょうぎりよくこうじょう とりくみ すいしん 競技力向上の取組を推進し ていきます。
172	しょうがい こ 障害のある子どもがスポーツを たの きかい ば 楽しむ機会・場の じゅうじつ 充実	しょうがい こ にゅうようじ 障害のある子どもが乳幼児 がくれいき きめ から学齢期まで切れ目なくス ぽーつ たの きかい ていきょう ーツを楽しむ機会を提供 します。	○	よ こ は ま ・YOKOHAMAスポーツ・レクリエーシ ョンフェスティバルの開催 ・18区におけるインクルーシブスポー ツの体験会・交流会の実施 ・さわやかスポーツの普及 ・モルックの大会・体験会の開催 ・市内6つの競技団体に補助金を交付	・18区でのインクルーシブ なスポーツ体験会・交流会 の実施やYOKOHAMA ス ーツ・レクリエーションフェ スティバルの開催等を通じ て、年齢や障害の有無など にかかわらず、誰もが共にス ーツを楽しめる機会を 創出します。 ・横浜市スポーツ協会、 横浜市リハビリテーション 事業団が伴走型支援を行 い、各競技団体が主体とな

					<p>おこな って行うパラスポーツ</p> <p>きょうぎりょくこうじょう とりくみ すいしん 競技力向上の取組を推進し ていきます。</p>
--	--	--	--	--	---

(2)文化芸術活動の推進

さつし 冊子 ページ数	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんど 令和6年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和6年度 ふ かけ 振り返り	れいわ ねんど 令和7年度 とりくみよてい 取組予定
177	しょうがいしゃ ぶんか 障害者の文化 げいじゅつかつどう しえん 芸術活動の支援	かいさい かつどう アートイベントの開催や、活動 ささ じんざい いくせい さまざま を支える人材の育成、様々な だんたいどう れんけい ぶん かけいじゅつ 団体等と連携した文化芸術 かつどう ば そうしゅつ と く 活動の場の創出に取り組み ます。	○	しょうがいしゃ ぶんか 障害者スポーツ文化センターによる げいじゅつさい てんらんかいどう かいさい つう 芸術祭や展覧会等の開催を通じて、 かつどう ささ じんざい いくせい ぶん かけいじゅつ 活動を支える人材の育成や文化芸術 かつどう ば そうしゅつ と く 活動の場の創出に取り組みました。	ひ つづ しょうがいしゃ 引き続き、障害者スポーツ ぶんか 文化センターによる芸術祭 てんらんかいどう かいさい つう や展覧会等の開催を通じ かつどう ささ じんざい て、活動を支える人材の いくせい ぶん かけいじゅつかつどう ば 育成や文化芸術活動の場 そうしゅつ と く の創出に取り組みます。

<p>177</p>	<p>障害者の文化 芸術鑑賞の 支援</p>	<p>さまざまな団体等と連携し、障害 の特性に応じた鑑賞の機会 の充実、円滑な施設利用の ための環境整備、活動を支 える人材の育成等に取り組み ます。</p>	<p>○</p>	<p>障害の特性に応じた鑑賞の機会充実 をはかるために、施設利用に向けた 環境整備や活動を支える人材の育成 等に取り組みました。</p>	<p>横浜能楽堂において、「バリ アフリー能」及び関連企画の 実施にあたり、合理的配慮 等に係る施設内研修を実施 します。</p>
<p>177</p>	<p>文化芸術による 地域共生社会 実現に向けた 取組の推進</p>	<p>関係機関との連携を深め、 文化芸術体験や公演・展示 等鑑賞の文化芸術活動を通 して、障害のあるなしにかか わらず誰もが互いに対等な 立場で関わり合うことを進め る活動を促進します。</p>	<p>○</p>	<p>市民ギャラリーあざみ野の 「フェローア ートギャラリー」を実施したことに加 え、本事業について青葉区民文化セン ターなどの他施設と連携しました。</p>	<p>市民ギャラリーあざみ野の 「フェローアートギャラリー」 を継続して実施するととも に、他施設と連携した出張 展示についても継続して行 います。</p>

<p>178</p>	<p>(仮称)読書バリアフリー法に基づく横浜市計画の策定、推進</p>	<p>読書バリアフリー法に基づく、地方公共団体の計画として策定し、計画に基づく取組を推進します。</p>	<p>○</p>	<p>令和7年3月に「第三次横浜市民読書活動推進計画」を策定しました。計画の柱3「読書バリアフリーの推進」には、「バリアフリー図書製作」や「効果的な広報・啓発戦略」など、社会教育委員会議の提言に基づいた施策を盛り込んでいます。また、中央図書館と連携し、横浜国立大学で読書バリアフリーの普及啓発授業を実施したほか、読書イベントでは、鶴見大学元木章博教授とNPO法人ピープルデザイン研究所りんごプロジェクト様による読書と情報のバリアフリーについての講演会を開催しました。</p>	<p>読書バリアフリーの普及・啓発のため、学校と保護者との連絡ツールである「すぐやる」を活用した広報や、大学での普及啓発授業、読書イベントでのバリアフリー図書の展示など、広報活動に取り組みます。</p>
------------	-------------------------------------	--	----------	---	---